臺灣日日新報

總督府圖書館主催「全島讀書週間」記念

大百科事典

計畫を立て、十年、案を改むること五たび、資を投ずること七十萬、學界の代表的諸權威壹千餘氏の好意ある指導と執筆によつて、將た百人の常任編輯者、五十人の製圖者、五百人の製版印刷製本工場員の晝夜兼行的努力によつて、玆に『大百科事典』の編纂刊行成る！採錄項目十八萬、總字數五千萬、挿圖別刷二萬五千、横に全世界に亙り、縦に人類史を貫き、凡そ求めて得ざる事項なく、繙いて詳かならぬ問題はない。然り本『百科大事典』は實に現代文明が有つ萬有知識一切の巨然たる一大寶藏であり、萬人の日常生活に一日も缺き得ざる心の糧であり、坐ながら學び得る一大綜合大學である！

全廿四卷
豫約特價
三圓八十錢

太陽出づ！
『大百科』出でて
類書みな光を失ふ！

十萬普及の確信に立つ！

「執筆者は悉く學界を代表する專門大家揃ひ」
「內容豐富完璧、校正嚴密、十分信賴に値する」
「一冊の大いさ重さが手頃で扱よい」
「初卷發行から完結までの期間が短い」
「用紙は純白で光過ぎず、印刷は鮮明」
「製本堅牢無比、裝幀は斬新高雅を極む」
「それで一價が圓本より五割廉い」

總てに於て世界第一！

「世界的に見て代表的な百科事典を獨のマイエル、佛のラルース、英のブリタニカが擧げられる。本『大百科』はこの三書の長所を悉く取入れ『大いさ』に於て世界最大の百科事典ブリタニカに匹敵し、マイエル、ラルースより五割大きく『體裁』に於ても世界のあらゆる百科事典より優秀である。特にその內容の新らしさ、解說の周到さに到つては斷然群を拔いてをる。要するに平凡社版『大百科事典』は世界のあらゆる百科事典中その第一位に位する！」

毎月配本二ケ年責任完結

一千名の執筆者に百人の常任編輯者の全能力を發現して毎月一冊配本は必ず斷行します。

第一卷目下發賣中！

全廿四卷特價一冊三圓八十錢

四六判二倍大判七ポ四段組一頁約三千字別刷圖版三色七色一色等百五十頁總頁數每卷約八百頁

總擬革裝背革張金文字華麗堅牢美本

A　定價　一冊　五圓五十錢　特價三圓八十錢

背革角革天金背金文字金模樣堅牢超豪華本

B　定價　一冊　七　圓　特價四圓八十錢

內容見本贈呈

はがきで本社へ御申込み下さればすぐに御送り申します

內容見本實物全國各書店にあり

百科事典の大衆性

學者藝術家の書齋になくてならぬ研究資料！

教育家の圖書室に一日も缺き得ない教材原據！

政治家、實業家にとつて博識限りなき最高秘書役！

官吏會社員にとつて最も調法な事務參考書！

男女學生の豫習復習課題研究には絶好の手引

主婦の居間では家庭寶典として氣の置けぬ相談相手！

[illegible]學校圖書館役所研究所事務所[illegible]病院倶樂部到るところ歡迎せられ到るところ感謝されている。然り一家にあつては一[illegible]にあつては[illegible]に從ひ[illegible]じて限りなき價値と安心を與へるは實に大百科の大きな社會的任務なのである。

東京麹町區下六番町
平凡社
振替東京[illegible]

全島圖書館週間の設定
「心の糧」を得ろ歡びを思へ

一

本島で始めての催しなる圖書館週間が、この十一日から一週間に亙り全島的に行はれることは全くひに慶べき所で、精神的側面から此の事實を端的に[illegible]するならば、沙漠の中でオアシスに逢うた感じが多分にするのである。また[illegible]だけこの[illegible]の精神界[illegible]讀書界などは荒れ果てた儘で見棄てられてゐたのだ。吾人は内地等において十數年前から既に毎年行はれて來てゐる「圖書館週間」が、遲れたりと雖も今年から將來永く年中行事として設けらるるに至る端緒を作つたことを、大衆と共に愉快に思はねばならぬものである。

二

こんどの圖書館週間は、各州圖書館協會や各州教育會の主催であり、地方の公私七十の圖書館や學校、地方公共團體、青年團その他教育教化團體、諸團體の參加協力があり、之に依て讀書趣味の喚起と讀書をする習慣を養成しやうといふのが其の目的で、同時に良書の普及、圖書館といふものの使命とその利用とを周知させ、この機運に乗じて更に大いに圖書館や學校文庫の新設を促かさうといふのである。而して此の目的を果すために主催側では「圖書館利用習慣の涵養」を初めとしてラヂオ放送による講演に、映畫に、展覽會に其の他いろ〳〵の催しをして圖書館といふ「知識の庫」或は「精神の泉」を如何に利用する事が自分の向上發展のため利益で且つ愉快であるかを端的に體驗させやうとするにある。今の機會に取つて此の位ヒツタリと來てゐる適宜の企ては多くあり得ない。

三

人間は喰はねば活きない。喰ひ換へると吾々は喰うてさへゐれば最少限度の生活はできるのである。さりながら單に喰うて子供を産んで年をとつて死んで行くといふのでは一般の動物と餘り多く異ならない。人間が人間たる爲めには、最少限度の物質生活の外に精神生活を營まねばならぬ。而して人間としての無上にして最高の幸福は實に此の精神生活の中に存在するものであつて、この意味に於て人間たる以上衣食の外に「心の糧」を常にとらねばならぬ。西洋の哲人が「我れ考ふるが故に我あり」と言つたのも、人間が思考するといふ精神活動を持つが故に我といふ存在を認識するものであつて、思考せざる人間は人間にして人間にあらずとする所以である。

四

この[illegible]、この精神活動に[illegible]を培ふものは現代の社會に於ては一に「讀むこと」の賜物であらねばならぬ。讀み物には新聞あり雜誌あり新刊書あり古書あり、是等はその内容として夫々として盡きざる精神的活動力を持ち心の糧を多分に藏してゐる。試みに忙しい間にも少閑を得て有益なる書を播いて見るが宜しい、その中に心の琴線に觸るるの文字が現はれ、高尚な精神的感興を感じ、或は全然未知の新世界に飛び込んだり、その人の未だ知らぬ新知識を得たなどの瞬間の[illegible]嬉しさ、是等の味は讀書人でないと到底味ひ得られぬ精神境であつて、その幸福感は決して俗の物質上の歡びの比ではない。

五

従来の批評では、我國はよく書物を買ふ割に之を讀みこなしてゐないとの說が高い。その誤解の程は固より僅かに判斷はつかぬが、斯りいふ傾向は獨り新刊だけに限つた事ではなく到る處に多いのではないかと思ふ。中には新刊圖書を應接間や書齋の裝飾品と心得、その中に「無聊の欲望」が知識の[illegible]となつて迫へてゐることに氣が付かない。誠に勿體ない話である。而して讀書も一種の良い習慣であつて家庭等においては夕食後等は或る一定時間、家族の間に談笑の時間を作ると共に其の後は[illegible]讀書を務めて讀書する時間を設くべきである。食後よく語り話し笑ふ以外に、よく讀みよく考へる習慣も亦た人間生活の良い一部であることを知らねばならぬ。凡そ人間の精神的欲求の中で、讀書く[illegible]得難いものはない、この[illegible]を萬人に與へんとする圖書館週間の設定については、何人も自分自身の問題として深く考へ味ふて欲しいと思ふ。

松尾少尉の指揮する輜重兵の一隊全滅か
錦州に歸還の途錦西の東方で
三百の兵匪に襲撃さる

【錦州十一日發聯合】錦西の我部隊に糧秣を供給すべく九日午前七時錦州に歸還の途についた松尾輜重兵少尉指揮の○○名は錦西東方三里の地點で兵匪三百より待ち伏せられ激戰中なるも其後消息なく全滅したものと案ぜられてゐる

十一日一齊に討伐開始

【奉天十二日發電通】滿鐵北寧兩線の匪賊、敗殘兵依然横行し各地に慘虐行爲絕えざる爲め關東軍は十二日より徹底的討伐を行ふこととなり今朝左の區所に依り一齊に討伐を開始した

一、奉天以南　多門師團○○聯隊及び○○聯隊
二、北寧線一帶　多門師團○○聯隊
三、奉天以北　鈴木旅團○○聯隊及び○○聯隊

錦州一帶は再び不安
匪賊は窮鼠猫を嚙む勢

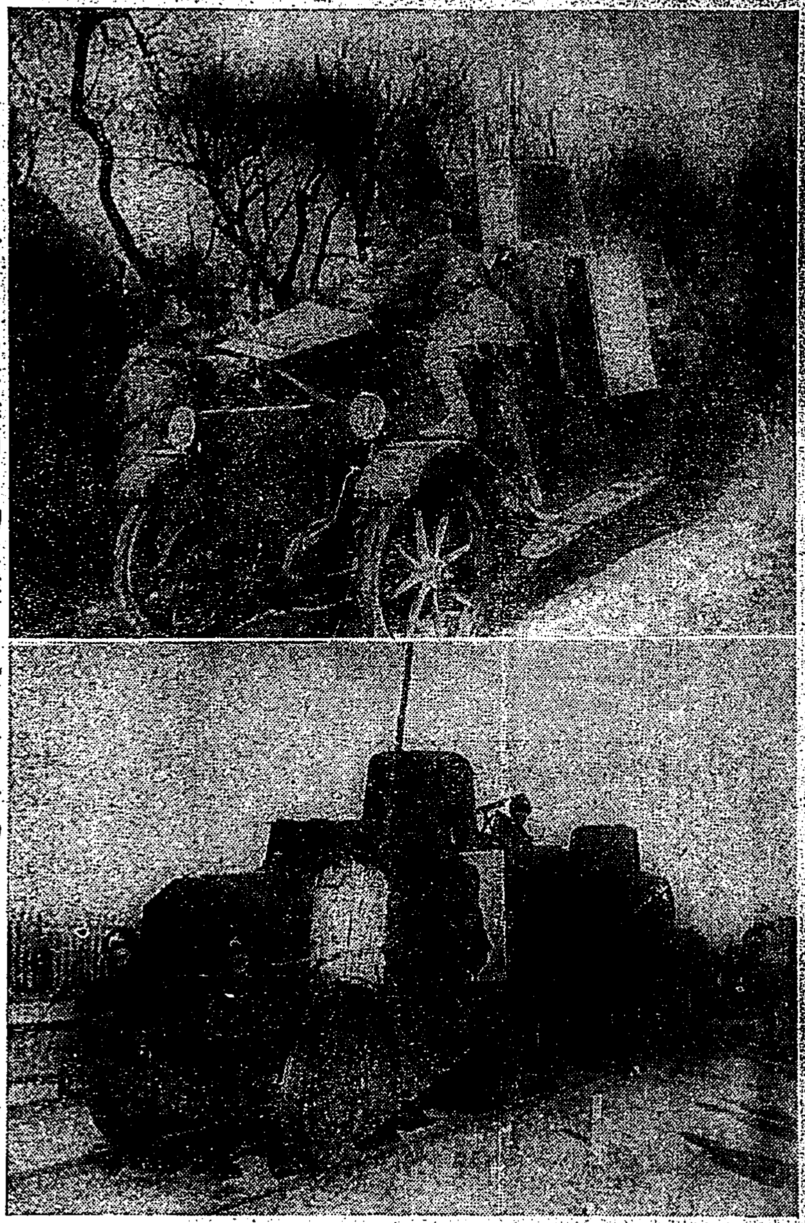
【奉天十二日發電通】錦西、北票から我軍を逆襲した學良別働隊義勇軍は熱河省に逃入せんとして湯玉麟の拒絕に遭つたものであるが退路を塞がれた之等軍隊は窮鼠却つて猫を嚙む勢で錦州一帶は再び不安に襲はれてゐる

關東軍司令部への入電

【奉天十一日發電通】關東軍司令部入電、九日夕刻より十一日朝にかけ古賀枝隊は學良別働隊三千と衝突、激戰の結果[illegible]將校四名下士兵十五名戰死、[illegible]二十名を出せり、綏中に在る○○旅團主力は救援のため十日夕刻錦州に急行した

關東軍司令部の發表

【奉天十一日發聯合】軍司令部發表、十日午後在綏中部隊は突如約二千の匪賊に襲撃を受け詳細不明なるも將校、名[illegible]死傷者一名を出した模樣である



雙陽甸に於けるわが裝甲自動車裝甲軌道車の活動

高橋曹長操縱のわが偵察機が不時著
敵に襲撃されたが辛くも避難

【奉天十一日發電通】高橋曹長操縱奉天飛行隊偵察機は十日午前七時頃石佛寺の敵情偵察中機體に故障を生じたため遼河河畔白砂坨子に不時著するや匪賊三百に襲撃され曹長はピストル一挺を賴りに應戰し敵三名を斃し辛くも八里庄に避難し鐵嶺守備隊に急報守備隊は早速救援隊を現地に急行せしめたが機體は無事である

倉茂大尉の一隊
五百の匪賊と激戰
敵は死體を遺棄して逃走

【安東十一日發電通】安東守備隊倉茂大尉の一隊は[illegible]第○大隊の[illegible]部隊と協力し九日夜來[illegible]縣内を横行する兵匪[illegible]一味の根據地に向つてゐるが十日朝白旗附近で五百の兵匪と遭遇戰を演じ數時間激戰後敵は死體十餘個を遺棄して逃走した、我守備兵一名負傷し我軍は捕虜七名、馬匹十五頭を鹵獲して引揚げた

わが守備隊
四百の匪賊を撃退
兵器馬匹を捕獲

【奉天十一日發電通】十日午後五時頃安奉線鳳凰城の北、王家堡子で守備隊[illegible]四十一名[illegible]名は匪賊約四百名と遭遇し約四時間に亙り大激戰後敵に多大の損害を與へ兵器馬匹等多數を捕獲撃退した我兵二名負傷を負つた

か十一日午前一時奉天經由錦州へ向つた

多數の兵匪から四方責に遭ふ
古賀中佐の部隊

【奉天十一日發電通】古賀中佐の引率した部隊は僅か百名足らずの騎兵が先遣の一隊として支那民家に宿營中[illegible]多數の兵匪から四方[illegible]めに遭つた模樣判明した

嵯峨○隊
錦州に向ふ

【奉天十一日發電通】嵯峨○隊は新民府から四平街に移駐してゐた[illegible]

飛行隊
錦西向け出發

【奉天十一日發電通】古賀○隊救援のため奉天飛行隊では錦州、錦西方面に出動すべく○○機は今朝七時半奉天を出發した

愛國機
けふ立川出發

【立川十一日發電通】我國航空界の新銳愛國號第一、第二兩號機は十二日午前十時愈々立川飛行場を出發滿洲へ向ふこととなつた、第一日は大阪に泊る豫定

鐵道電信電話を匪賊が破壞
我軍は交戰中

【錦州十一日發電通】錦西方面より逆襲して來た兵匪約一千は十日夜十時[illegible]鐵道[illegible]を襲ひ電信、電話を破壞し目下我軍と交戰中である

宮崎大隊
匪賊討伐に急行
巨流河東北方の

【新民府十一日發電通】十日未明巨流河東北方部落に約五百の馬賊が來襲し掠奪、暴行を開始したので宮崎大隊は午前七時其の一隊を急派討伐に當らしめた

參謀總長宮殿下に視察の結果御報告
南前陸相拜謁して

【東京十一日發電通】滿洲視察より歸京した南前陸相は十一日午前十時半參謀本部に出頭、閑院宮殿下に拜謁し、視察の結果を御報告申上げ、今後の對滿政策諸般に付き意見を具申した後、午後二時半荒木陸相と會見、午後三時五十分より非公式軍事參議官會議に於いて同じく報告を爲した

貴院交友倶樂部の例會

【東京十一日發電通】貴族院交友倶樂部は十一日例會を開き滿[illegible]を協議したが現内閣が[illegible]に付き政府の[illegible]に促せんとする如き飛躍は嚴に監視する必要ありと言ふに意見一致した

板垣參謀に謁を賜ふ

【東京十一日發電通】關東軍高級參謀板垣大佐は十一日午前十時參内天皇陛下に拜謁仰せ付けられ退下後一木宮相、鈴木侍從長其他側近奉仕者に[illegible]滿蒙大勢及び事變後の關東軍の行動及び今後の方針に付き說明した

閑院宮殿下參内

【東京十一日發電通】閑院參謀總長宮殿下には十一日午後二時二十五分參内滿蒙最近の事情、關東軍の行動を委曲上奏申上げた

戰死した將校
朝鮮軍司令部で發表

【京城十一日發電通】古賀騎兵隊の錦西の戰鬪に於て名譽の戰死を遂げた將校は左の如く朝鮮軍司令部から發表された

騎兵第○○聯隊長　騎兵中佐　古賀傳太郎
騎兵大尉　米井三郎
同　風野一夫
騎兵中尉　野口茂三

芳澤大使と滿洲側要人會見

【奉天十日發電通】奉天省長臧式毅、奉天市長趙欣伯等は十日午後四時芳澤大使を訪ひ懇談を遂げた

國民政府は學良問責に決定

【南京十一日發電通】國民政府監察院は張學良が錦州防衛を爲し得ざりし事情に命に叛き錦州撤退を爲したる事實につき學良を彈劾するに決したが院長于右任が香港より歸來するを待つて手段を執る筈

獨逸に對する佛の報復手段
高率な關稅賦課

【パリ十一日發電通】ドイツが拔打的に賠償金不拂宣言を爲したるに激昂したフランス政府はヤング案の破棄されることを防止するためドイツに對する財政上の[illegible]を取消しドイツ商品に對し高率な關稅を賦課する等の報復手段を斷行するに決した模樣である

遞信省の人事異動

【東京十一日發電通】十一日の閣議で遞信省の人事異動を左の如く決定した

郵務局長兼電務局長　山本直太郎
任電務局長（一等）
廣島遞信局長　久孝　茂
任郵務局長（二等）
大阪遞信局長　香西俊雄
任簡易保險局長（二等）
元仙臺遞信局長　岡田直造
任遞信局長（二等）兼地方海員審判所長、補大阪遞信局長
熊本遞信局長　園　正雄
補廣島遞信局長
札幌遞信局長　吉及耕一
補熊本遞信局長
[illegible]　山崎　晃
任遞信局長（二等）補札幌遞信局長
官房保險課長　豬熊貞治
任簡易保險局理事（二等）
簡易保險局業務課長を命す
工務局電信課長　米澤與三七
任工務局長（一等）
經理局[illegible]課長　新藤誠一
官房保險課長を命す
兼任遞信省監察官（二等）
工務局長　岡田三之助
簡易保險局長　隈田榮五郎
簡易保險局理事　加藤[illegible]
依願免本官（各通）

大藏省も人事異動

【東京十一日發電通】大藏省人事異動は十一日の閣議で左の如く決定發令された

任銀行檢查官（二等）
大阪稅關長　加藤榮一郎
任專賣局長官（二等）
專賣局部長　佐々木謙一郎
名古屋稅務監督局長
任專賣局部長（二等）　佐野正次
任專賣局部長
專賣局參事　岡　權枝
任同參事（二等）
專賣局參事　山下博毅
稅務監督局事務官　賀來龜四郎
任同參事（二等）
大藏書記官　金子隆三
任橫濱稅關長（二等）
熊本稅務監督局長　淸寺　[illegible]
任神戶稅關長（二等）
專賣局部長　末次政一
任大阪稅關長（二等）
函館稅關長　元尾光郎
任仙臺稅務監督局長（二等）
仙臺稅務監督局長　西森秋太郎
任熊本稅務監督局長（二等）
長崎稅關長　[illegible]
任名古屋稅務監督局長（二等）
神戶稅關長　篠崎　昇
專賣局長官　平野孫平
依願免本官（各通）
東京地方專賣局長　宮澤　[illegible]
廣島地方專賣局長　[illegible]
依願免本官（各通）

社會事業講習會發會式

第五回社會事業講習會發會式は十二日午前九時總督府で開催木下總務長官の訓辭を大山局長代讀し次いで直に講師の講習に移つた

シナチク

◇錦州の事件で同地の東方日報は日本に對し侮辱した記事を掲げた、同地の清朝新聞は日本の去る八日の櫻田門外大不敬事件につき不都合なる記事をなしたといふので日本側居留民は憤慨し領事館も問題なので棄ておけず文字通り嚴重な抗議をした▲新州省政府も先の非もあり且つ日本側が強硬なのに斷然たる處置をとる事となり、清朝新聞の主筆を逮捕すると共に東方日報と一緒に發行禁止の處分を執つたさうだ▲[illegible]からの情報によると同地では日貨を深山に持つてゐる商人が新正月を前に悲鳴をあげ何とかしてくれと支那側へ言ひ出したので反日會でも我を折り右の日貨を賣つて得た利益、[illegible]をはねるといふ條件で探出しを許したさうだ。但し新[illegible]人の日貨は此の限りに非ずといふ事になつてゐるまづ此の邊で日貨も次第に動いて行く模だが、それにしても反日會は其の稅に依て旨い金儲けが公然できるわけで如何さま支那でないと見られぬ光景ではある。

産科・婦人科・乳兒科
千歳醫院
台北市千歳町三ノ[illegible]
電話[illegible]

淋病梅毒外科
婦人性病科
田和皮膚科
電話[illegible]

內科・小兒科・呼吸器科
松井醫院
台北市[illegible]

耳鼻咽喉・隆鼻術科
須小醫院
入院・手術
台北市[illegible]

齒科・口腔科
杉山醫院
台北市京町二ノ二
電話[illegible]

國産新高風船チウインガム

本日店員慰勞會ニ付休業仕候
京町會聯合賣出店

効力本位にして絕對有効なる
皮膚病新良劑 タ[illegible]
各藥店にあり

タンタンは風の妙藥
發賣元 信生堂藥房

臺灣大阪商船
近海郵船
[illegible]

蝶印名刺抽籤發表
壹等 B15800
貳等 B 10163 15089 15210
參等 B10009 15149 15293 18662
[illegible]

東台灣連絡自動車

蘇澳發（リ下）
◇一號便 午前八時
◇二號便 午後[illegible]

花蓮港發（リ上）
◇一號便 午前八時
◇二號便 午後[illegible]

東海自動車運輸株式會社

竣功近き臺南市大南門外の大野球場

宜蘭濁水溪の假橋今月中に起工

工事費の割當決定す

【宜蘭電話】十一日午後一時半より宜蘭郡守公室において宜蘭濁水溪の假橋架設に關し工事費一萬八千六百圓の三分之二に當る一萬二千四百圓は州費をもつて支辨し殘り六千二百圓を關係三郡下の地元民にて負擔する事となつてゐるので之が割當につき打合會をとげた、（列席）羅東郡守、[illegible]、蘇澳郡[illegible]、北他三郡下の各街庄長助役ら全部臨席し先づ楠山宜蘭郡守より負擔金割當の提案があり夫によれば宜蘭郡下街庄負擔は三千二百二十四圓で總額の六割を占め羅東蘇澳兩郡下街庄負擔は二千四百八十四圓で總額の四割に當りこれに關係自動車會社と昭和製腦會社の寄附金も加算される事になつてをり席上種々の意見もあつたなれど結局原案通り可決して三時半散會した因みに右假橋は愈々正月中に工事に着手される筈である

船主から注目さるる花蓮港直航航路

花蓮港築港工事に伴ふ官給品に[illegible]工事は夫々[illegible]入札[illegible]で昨年[illegible]請負者は工事[illegible]であるが之等の工事に要する木材其他の材料は花蓮港に於て供給する契約が成立した模樣である工事用の木材は主として紀州材で[illegible]花蓮港直揚といふ意味に於て[illegible]本島航路に[illegible]しはじめた辰馬汽船の如きは將來花蓮港に地盤を築く用意があるらしく[illegible]さへあれば本線の花蓮港寄港を[illegible]する意氣込であつたらしいが多年東海岸地方を地盤とせる大阪商船では基隆蘇澳花蓮港間の定期又[illegible]船を運航してゐる位であるから辰馬汽船の割込寄港は非常な[illegible]威となるのみでなく將來の地盤を危うくする恐れもあるので此の際花蓮港の工事用材料に限らず特に本船の花蓮港寄港を斷行することになつた模樣でその第一船として紀州材を滿載して本月下旬花蓮港に寄港し直揚することになつたさうである、辰馬汽船も陸揚次第で寄港することになつた模樣である、從つて之を皮切りとして將來は內地からの貨物が蘇澳港で陸揚へといふ面倒な手數を廢止して花蓮港直揚といふ事になれば花蓮港實業界に取つては運賃安の利益か

今年の獻穀田畑

臺南州下に決定

【嘉義電話】本年獻穀田畑は臺南州に選定され畑は嘉義郡阿里山タツパン社方面の[illegible]地を田は虎尾郡內[illegible]街內[illegible]を選擇することに決定[illegible]州[illegible]長は十二日午前七時十五分嘉義北門驛發[illegible]山現地視察[illegible]上決定することとなつた

屏東農業學校查閱

【屏東電話】屏東農業學校軍事教練は著るしい進捗成績を示してゐるが十二日午前十時臺南聯隊より查閱官來屏第一回查閱を受けると

北港郡聯合學藝會

臺南州北港郡教育係主催郡下小公學校の兒童聯合學藝會は來る十七日午前八時より北港公會堂に於て舉行するが當日出席兒童は約五百名であると

臺中鄉軍の山豚狩り

二頭を射止む

【臺中電話】臺中在鄉軍人會[illegible]では士氣を鼓舞するため十日大甲郡追分の裏山に於て山豚狩を催したが勢子は[illegible]現役五十餘名で外に[illegible]分會長、伊藤第三大隊長、名和市尹等の參加もあり午前五時半迄に市役所前に勢揃ひして出發七時から追分公學校裏手の山から狩立て午前中に百斤餘と八十餘斤の大山豚二頭を射止め追分の一本[illegible]人宅で豚汁に煮き[illegible]に一同舌鼓を打つた後途中に引揚げたが同山にはまだ數頭の山豚が居り同地方民は農作物を荒す山豚狩を在鄉軍人がしてくれたとて大喜びであつた

木賃宿に同宿の客の金を盜む

中壢郡警察課で御用

新竹州中壢郡中壢街木賃宿[illegible]林[illegible]方に於て九日午後十一時頃新竹郡[illegible]庄[illegible]新社二六八番地[illegible]法（三〇）が投宿中所持金四十七圓中四十四圓を同宿した同郡同庄二八八番地[illegible]金[illegible]（二〇）が竊取し逃走した、急報に接した郡警察課では金田司法主任指揮の下に廟口、松尾刑事及び外勤巡查は各所に於て非常線を張つて警戒中十日午前三時頃[illegible]派出所の小林及[illegible]巡查に逮捕されたが餘罪ある見込で目下取調べ中

高雄鄉軍分會の兵器獻納金蒐集

役員總動員で當る

高雄州下における在鄉軍人分會の兵器獻納金蒐集割當額は一萬二千圓の標準となつてゐるが其內高雄分會の割當額は二千二百餘圓で同分會では之が蒐集の具體方法を決する爲八日午後七時から山下町交友會事務所で役員會を開催協議の結果大體左の如く決定し、清水分會長以下役員總動員の下に直ちに實行に着手し二月十五日迄に締切つて[illegible]に送達する事になつた

蒐集方法

◇一般民間側に對しては分會役員總動員で戶別訪問を爲す一方市役所を通して各町委員に其趣旨の徹底を計る事

◇各官衙、會社銀行等は分會長自ら出動して勸誘に努むる事

員林の椪柑

今年は不況

員林椪柑は昨年に比し四割減收と見積つて居たが今度の調査に依ると既に內地移出の百五十萬と[illegible]行に島內消費高に在庫品等總合して實に見積以上の減產で而も[illegible]恐慌から相場は[illegible]に內地相場は島內消費の價格よりも安く百斤當り四、五圓位なので椪柑業者は移出を見合せて居るが員林より內地移出し得る數はまだ百二十萬籠あると

甘蔗の霜害

嘉義郡の打合

【嘉義電話】嘉義郡にては十一日午前十時より佐藤郡守、長谷川庶務課長及び勸業課[illegible]各係主任[illegible]に南靖、蒜頭、北港各製糖所[illegible]係

衛生苦力に國語講習

【嘉義電話】嘉義市主催衛生苦力國語夜學講習會は來る十五日より向ふ二ヶ月間北社尾分教所に於て開催講習員四十名講師は同所分教所主任[illegible]訓導外一名である

高雄市協議會

第一日開く

【高雄電話】高雄市協議會は十一日午前九時二十分市會議室で開催今井市尹の開會の辭に次で參與員指名協議會員[illegible]其他諸般の報告あつて今井議長は市尹として市政の概要豫算編成方針並に內容について說明後議事に入り七年度歲入出豫算を議題となし[illegible]川參與より豫算の各款項につき詳細の理由を說明後第一讀會に入り

清水氏　青年訓練所教育費市區改正事項等につき數々の希望を述べ

高木氏　傳染病院の位置を問ひ更に水道會寄附金の減額其他について質問

飯田氏　から入船町方面における下水溝の完成與分幼稚園設置傳染病院の位置選定大下水溝排除方其他二三の希望的質問があり

[illegible]參與　[illegible]川參與より答へ

宮川氏　市區改正計畫に伴ふ商工業地帶住宅地帶の設定に關する意見下附[illegible]の一策としての小住宅の建設市內に散在する所有地の賃下分讓等による基本財產の造成、商業補習學校の內容改善高雄神社の昇格其他希望意見交々の質問をなし

今井市尹　は高木飯田宮川氏らの質問中避病院の位置水道會寄附金の減額に關する經緯幹線下水の主なる事項について答弁をなし最後に高雄神社の昇格は目下手續中で御同樣速に實現する事を望んでゐると答へ休憩を宣す時に十二時十五分

花蓮港廳の退官者

【花蓮港電話】花蓮港廳整理による退官者は十一日左の如く發表された

臨技手　得永　孫藏

任交通局技手（三級）依願免本官

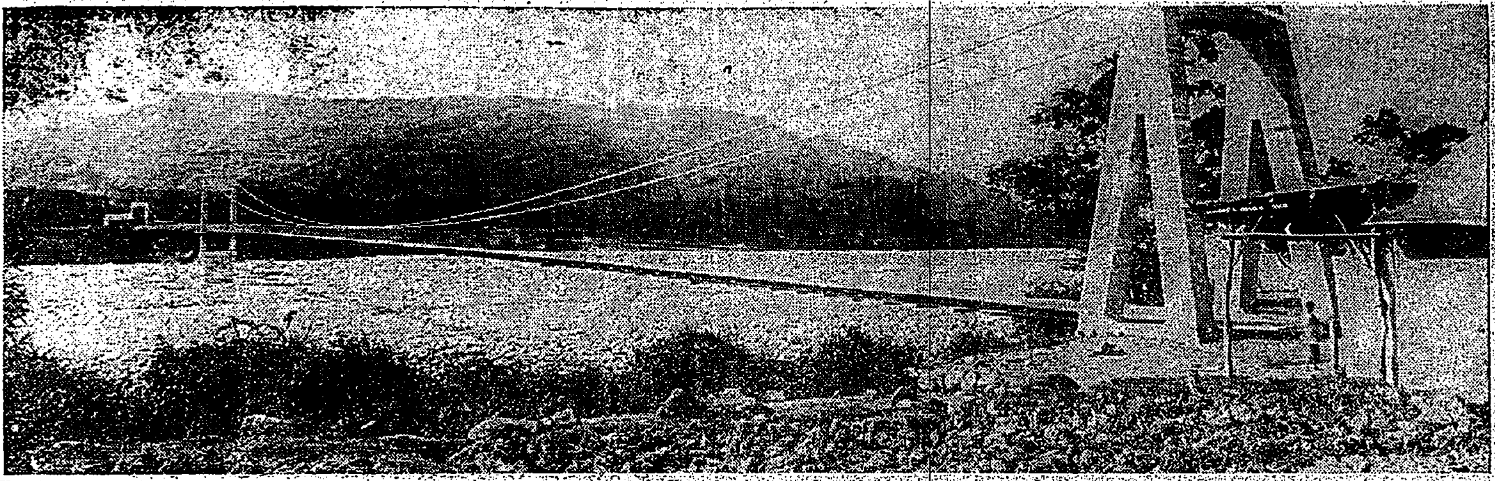
屬　本吉　貞英

同　大山　祭

任總督府屬給依願免本官

員林郡業佃記念

昭和四年一月八日に呱々の聲を上げた員林郡業佃會では八日を以て第三回創立記念日に相當するので本部では勿論各街庄支部では[illegible]の催しを以て盛大に祝賀を行つた



大甲溪上の鐵線橋

過般二十七日に落成式を行つた臺中州東勢郡石岡圳と石岡間大甲溪上に架設された鐵線橋で工費二萬五千餘圓、橋の長さ二百二十八間餘、高さ二十二尺八寸に及ぶものである

霧社の櫻

今年は遲れる

霧社の櫻、櫻の霧社、霧の深い霧社等々、どうでも好いが一昨秋の忌はしい事件以來すつかり世界的になつた霧社は今や[illegible]の爲內地人三百、本島人百に餘る物靜かな者の爲に此の新年は頗る賑やかな……と想像したのは飛んでもないお正月を迎へたことであつたらう、何しろ、高井前主任が退官してしまひ後任の背古主任がまだ赴任しない間のことゝて佐々木警部補以下の緊張振で「主任の居ない時に若ものことがあつては」とばかり居酒氣分に浸る暇にも行かず[illegible]なりや否やに神經を尖らして居た、この氣分など平地の人などに到底想ひも及ばない[illegible]であつた、名だたる霧社の緋櫻も例年元日を盛りに咲き誇ると云ふが本年はまだ三分通りより咲かず霧社人士は勿論のこと正月の休みを利用しての觀光客を淋しがらせてゐる、觀光客と云へば事件當時の「公學校上の霧社事件殉難殉職遭難者の碑」の前には線香、手向草の絕ゆることなく正月の空の陽光に一入淋しさを漂はせてゐる、何人の作か知らぬが觀光の一人が小笠原前郡守遭難の碑の袂に半紙に一首をものして曰く

心して君に告げばやそのかみのあらしのときに守りきしを

と今通の[illegible]警察官など今更に感慨無量の思ひありと合掌する正月の霧社一帶の[illegible]に三十二三度、水を引く[illegible]が[illegible]つて了ひ[illegible]も洗へず風呂もわかせず[illegible]ロしたとか云ふ話もある

東部信組總會

【花蓮港電話】東部信用組合第十五回通常總會は十日午前十時から花蓮港公學校講堂に開催、出席組合員七十二名委任狀三十一名それぞれ着席の後阪谷庶務部長、和泉相木兩理事、古賀花蓮港[illegible]理事席につき昭和六年度事業報告并剩餘金處分其他數項を附議し原案通り可決次いで理事辭任に伴ふ改選を行ひ午後五時終了したが本期の組合配當金は年八分である

古藤東勢郡守

霧社殉職者慰弔

霧社事件の犧牲となつた小笠原前能高郡守の前任者現東勢郡守古藤氏は東勢郡の一部水長流を能高郡[illegible]地に區劃編入調査の爲[illegible]視察を爲し九日埔里を訪れ各方面に挨拶廻りを爲したが同夜唯一人[illegible]に赴き佐藤[illegible]に[illegible]を依託し霧社事件殉職者の位牌を前に一々名を呼んで丁寧に合掌禮拜その靈を弔つた

【美談集】

去る七日の夜北風吹きすさぶ中にオヂチヤン、オヂチヤンと花蓮港支局の扉を叩く聲がするので支局員がこれを迎へると「このお金お正月のお年玉に貰つたんだけれど使ひたくないから滿洲の兵隊さんにあげて下さい」といたいけな姉妹らしい二人が一圓二十錢の銀貨を玄關の敷居に置いて行かうとするのでどこの誰かと聞へば稻[illegible]新港街二番戶岡山コウ子九歲同フミ子七歲の姉妹と判つたので支局ではとりあへず國防費の一分にもと街役場まで送り分方をお願ひしておいた

新竹聯合分會評議員會

【新竹電話】在鄉軍人新竹聯合分會にては十日午前九時から倶樂部休憩室にて評議員會を開催一、昭和五年度講演會收支決算承認の件二、昭和七年度講演豫算審議の件三、昭和五年度聯合分會收支決算承認の件四、昭和七年度聯合分會收支豫算審議の件五、昭和七年度事業豫定承認の件六、打合事項その他を附議して正午すぎ散會した

學校園實地品評會

【花蓮港電話】花蓮港廳では十一日から十四日まで管內地域に學校園實地品評會を開催することとなり永尾視學等は審查のため臨席したが十一日は大庄小學校十二日玉里第一、二公學校十三日[illegible]公學校十四日[illegible]公學校の日程であるが又近く猫公、太巴塱、鳳林、月眉の各公學校の外吉野小學校に於ても行ふ豫定である

花蓮港婦人會新年交禮會

【花蓮港電話】花蓮港婦人會新年交禮會は十一日午前十時から昭和記念館で盛大に催された

筆不精をたしなめる郵便局長の名案

遊學子女と父兄をつなぐサービス

【花蓮港電話】花蓮港郵便局では十一日から家庭通信なるものを一ヶ月に一日、十一日、二十一日の三日間每月左の要領で實施することとなつたがこれは家庭を離れて遠く學窓にある子女のため家庭との通信によつて情操上の危險を少なからしめる目的で極めて簡單な[illegible]文位を以て兩者の間の通信を頻繁ならしめやうとする試みで些細なことであるが遞信事業創始以來初めての試みであるが加入者には前記の通月三回郵便物を集めにくるやうになつてゐる右につき安田局長は語る

遠く家庭と離れてゐる子女が遂に家の溫みから離れて淋しくなつて厭世的な氣分になり或は學業の[illegible]に陷り易いものでこれを救ふ一定の方法ともなれば幸ひと思ふ一定の期間の外には手紙を出かぬ休暇から休暇までの間家庭から僅程の用件の外音信しないことは子女のためよくないと思ふので今回試みたわけであります

覺悟の自殺か

內地人妻の入水

【花蓮港電話】花蓮港入船通代書業大石[illegible]內妻木村シカヲ（五三）は十日午後二時頃家出したが同日午後四時半頃北濱海岸北方約八丁の所に溺死體となつて漂着してゐるのを發見され花蓮支廳の檢屍を得て死體は夫大石に引渡された覺悟の入水自殺であるらしく懷中には家族全部を撮影した寫眞を所持してゐた外遺書もなく死因は判明しないが多分家庭の不和から生じた厭世自殺であらうと

屏東飛行隊へ百四十名入營

屏東驛着は十五日

【屏東電話】屏東飛行聯隊の新入營兵約百四十名は十五日午前九時十分屏東驛着入隊するが例により多數來迎者を希望してゐることはいふまでもない

淡水郡下街庄協議會

淡水郡下各街庄に於ける本年度通常協議會は左記日割に依つて行はれ郡守郡庶務主任列席の筈

▲石門庄十一日▲三芝庄十二日▲八里庄十三日▲淡水街十九日

潮州

▲[illegible]氏結婚　潮州郡[illegible]技手[illegible]氏は[illegible]吉氏長女好枝孃と八日阿緱神社で神前結婚式を擧げたが新婦の[illegible]南住吉組[illegible]に寨內[illegible]大[illegible]郎兩氏夫妻の列席[illegible]の如く[illegible]かに終了同夜潮州で披露宴を張り席上南松郡守の祝辭其他があつた

▲麻病防遏　潮州庄は[illegible]蕃地接續地で方面への通路であり[illegible]地でには逐年發病を見つつあるが同地には今以てマラリヤ病が[illegible]せぬのを遺憾とした南松郡守は新登早潮州衛生關係職員其他街庄吏員をも督して徹底的に防遏事務を施行する事となり差當り從事人員の觀念養成に始まり郡守自ら第一線に立つて同病の根絕を期する方針であると

埔里點滴

△埔里製糖所は[illegible]二十七日から愈々製糖を開始、今日迄既に一千[illegible]を越ゆる製糖を見深山所長、瀨口工場長他全員大努力である例年になく步留も良く良質のものを作り出し瀨口工場長など「今に糖業界を驚倒させる樣なことを發表してみせますから見てゐて下さい」と新方法の製糖に勵む埔里地方は甘蔗の產額は他の何れに比して劣つてゐたが本年製造の分は三菱店製糖所の分よりも優秀なものが出來つつあると

△同製糖所の甘蔗は新年早々の降霜に四百五十萬斤からの被害があつた模樣、十日州農會山口技手など心配して視察に來た

△製糖會社ある爲埔里街民は大分經濟的に救はれてゐるのだが深山所長は悲鳴を擧げてゐる[illegible]の茶碗の中に飛込んで來るのだから弱る、深山所長曰く『人間は勝手なもので雨が續いても文句を云ふし天氣が續けば旱が立つとぼやく……まあ我慢して貰ひたい』なんまいだく

△魚市場もせつかく認可になつたものの[illegible]から一向さかなもやつて來ず正月の間にも會はなかつた、永井助役…では南部から送つて貰はう」と目下高雄、臺南に出張交涉中、近日中に開いて鮮魚にありつけやうカツキン

桃園

△婦人交驩會　桃園婦人會では十日午前九時から公會堂で賑やかに婦人交驩[illegible]を催したが會員の[illegible]、三味線の合奏、仕舞、舞踊等あり正午公園で摸擬店開かれどこも滿員の盛況を呈し午後三時目出度閉會した

▲街庄協議會　郡下に於ける各街庄協議會は次の日割によつて開催

△十一日八塊庄△十二日蘆竹庄△十三日龜山庄△十四日大園庄△十五日桃園街

竹山

▲竹山郡竹山庄本年度の大工事は何んと云つても先づ十萬圓豫算の社寮集集間の鐵線橋で次は一萬二千圓の公會堂建設であるが來る二十七、八日の庄協議會で相當賑ふであらう

▲勅六等前竹山庄長林月汀氏は舊臘二十九日臺中の寓居で逝去したが竹山自宅にて六日盛大な葬儀を執行、この日太田知事代理、坂本中部支配人、林獻堂氏が來弔し山下大湖郡守、[illegible]郡守外無慮五百餘名の會葬者が集り街地に於ける葬式としては空前絕後の盛況であつた、因みに故人の遺志に依り三千圓を庄の社會事業基金として寄付した

屏東

△奈良大尉送別　飛行八聯隊附航空兵奈良[illegible]大尉は十日市內各方面へ赴任の挨拶廻りをした

△將校婦人人會　飛行聯隊將校婦人有志は十日郡下カウ社[illegible]地を視察すると

△自殺未遂三人　屏東街宮[illegible]二十三[illegible]氏來治（二〇）は[illegible]に迫つて苦性[illegible]を嚥下し自殺を圖つたが屏東醫院で治療七日全快した同町內には此の外には[illegible]其他を飲んで自殺を圖つたもの二人ありこれ

臺東話題

◇…四日午前十時、在鄉軍人會臺東聯合分會主催の創設五十年記念式は公會堂に催された、會員を始め街內有志參集するもの[illegible]先づ岩花聯合分會長[illegible]んで勅諭奉讀、了はつて分[illegible]代理の祭辭、[illegible]

◇…式は嚴だが[illegible]に近い[illegible]各國空軍の現在に關する[illegible]は時局的講演[illegible]の說明だが此間[illegible]又は[illegible]の[illegible]を比較し國防の重要を[illegible]最後に「斯の如く我兵は實に優れたりといへども國防は國民として[illegible]務なり、外的に將た內に於て足らざる所は國民の精神的と物[illegible]以て補足すべき緊情こそ……」と國民の中堅たる會員に[illegible]して[illegible]んだ

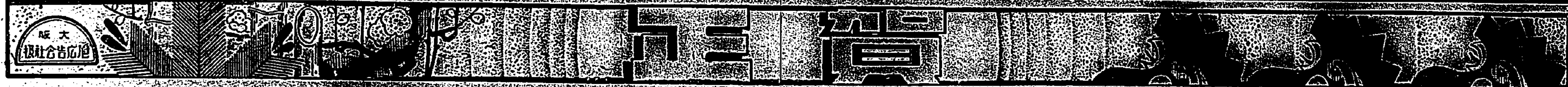
◇…終りに後藤臺東分會長は飛行機獻納資金募成に關する後援を懇囑して閉式に移り[illegible]を擧げて一同大元帥陛下の萬歲を三唱解散したが、聯合分會の行事[illegible]は昨冬押し迫つた頃から熱心に進められて居り一般も非常に感激するもの少なからず

◇…臺東消防組の如きも恒例による四日夜の新年宴を特に本年だけは公會堂にて中止して其費利して得た百餘圓を右獻金中に納める意向と傳へられるので氣受けはよく分會幹部[illegible]大に感激し益々達成に邁進[illegible]に油が乘つて來たやうである『支出も多からうが國の爲だ臺東の爲にならぬやう』は幹部だけの氣持ではあるまい

父梶塚茂七儀[illegible]
昭和七年一月[illegible]
男　梶塚[illegible]
親戚　近藤[illegible]
友人　[illegible]

痔疾　ぢの藥
嘉義市驛前通り
本舖　ナニハ藥局

血の淚
前科者異聞集
▲愛すればこその呪ひ　變相燒け[illegible]
▲田園の小町娘
▲愛慾三重奏
▲惡因緣從兄妹同志
▲覗つた大金庫
▲五十五圓の罪
▲十三犯・老女囚の淚
本朝三十六花禪　長田秀雄
「さあ、皆な裸になつて遊びませう」
▲河內山直侍　遊俠時世粧　岡鬼太郎
孝行娘　何が實か殺さ[illegible]
▲明暗二人女　戶川貞雄
▲延命院女犯經　中內蝶二
老嬢論
◉朦朧圓タクに戀を乘せて
繪入賣色巷談
▲七曲戀路
新版女給イソツト集
講談雜誌　二月號　價三十錢
博文館



字一百一[illegible]

開明墨

墨の元

元祖　東京 大阪　田口商會謹製

一手特約
亀岡忠弘商店
大阪市南區[illegible]四丁目

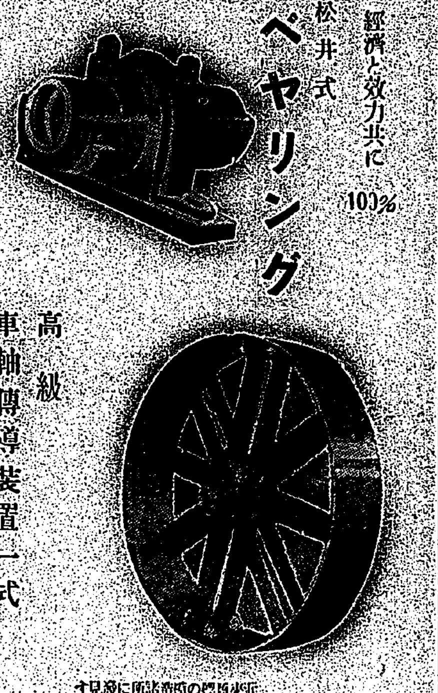
理想的　**床敷物**　旅館・應接所・洋室・浴場脱衣場・其他一般御家庭の玄關・應接間・臺所・廊下等に敷いて格好です。

東洋リノリユーム

全國室内裝飾店、疊物店、家具店にお問合せの上御用命下さい

東洋リノリユーム株式會社

營業所　大阪市東區北濱二丁目山口ビル　電話本局二〇六〇・三九一〇番
工場　兵庫縣川邊郡伊丹町　電話伊丹一・六九番
出張所　東京市銀座四丁目山口ビル　電話京橋二五六四番



經濟と效力共に100%

松井式

ベヤリング

最近の新案特許

高級　車軸傳導裝置一式

東洋唯一專門工場

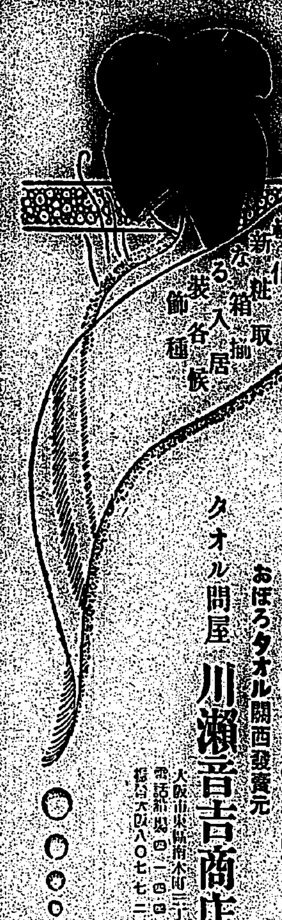
近來商標の類似品諸所に發見す

意注御に標商　〔K.T.〕　商標に御注意

大阪市西淀川區佃町（神崎大橋西詰）

松井鐵工株式會社

電話土佐堀三七七〇・七九〇・七〇番



特許

おぼろガーゼタオル

（二面ガーゼ二面タオルの二重織）

新化粧箱入取揃へ居候
新なる裝飾各種

おぼろタオル關西發賣元

タオル問屋　**川瀬音吉商店**

大阪市東區南本町三丁目
電話船場四一四〇番
振替大阪八〇七七二

TRADE MARK

日本軟球聯盟指定球！

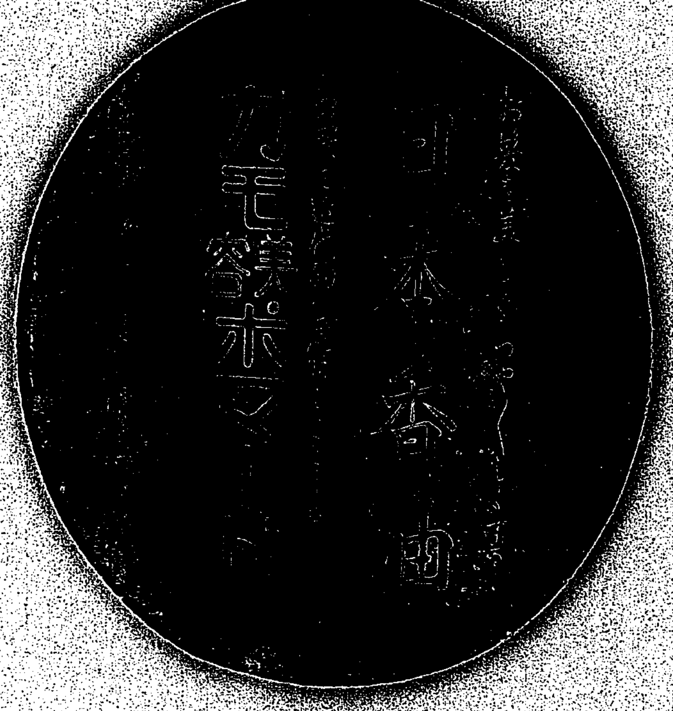
マルビシ標準テニスボール

製造元　東京　桑澤ゴム工業所

發賣店　大阪　文運堂大阪支店
臺北　臺日運動用品部

マルビシ軟式野球ボール

日本軟式野球聯盟公認球！



大阪　石津號

全運動器具製造販賣元

永久ノ信用ヲ得ントセバ
常ニ正確ニシテ廉價ナレ

大阪市浪速區勘助町一

シワグ運動具製作所

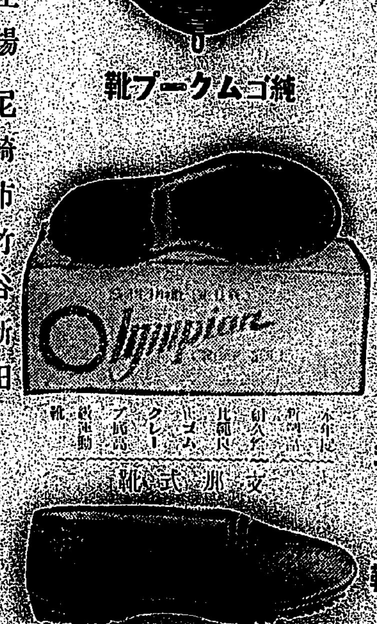
電話戎二三二四番・振替大阪六七八六七番

本年度新型錄進呈

旅館　若狹屋

阪神沿線甲子園野球場東側

電話西宮二〇八一番



謹賀新年

コマ印　TRADE MARK　OLYMPIAN

純ゴムクープ靴

運動靴ハコマ印特選運動靴及クレープ底運動靴ニ限ル

白ズック運動靴　モダンシューズ
特選運動靴　輕便運動靴
特選踵付靴　バスケットクレープ底
衿出運動靴　レーデーシューズ
オーバシューズ　長靴・小供靴
純ゴムクレープ底　支那式靴

大量製產
優良品
廉價販賣

工場　尼崎市竹谷新田

武川護謨株式會社

電話尼崎七番

臺灣代理店　臺日社運動用品部

糖業の善處すべき金輸出禁止の對策（完）

過剩糖處分と糖業基調整理

砂糖經濟主幹　山下久四郎

五

金輸出禁止によつて一般物價は騰貴し、農產物も之と軌を一にした、而して之に關聯して原料代買收價格問題を想起するのである。我糖界にかて大過剩糖を擁するに至りその清算の大部分を占むる當業者、即ち糖業聯合會は茲に不況對策と過剩糖の抑壓策、生產制限等に關聯して、去る昭和六年の下期と併せて昭和七、八年期原料買收價格決定に際し、平均二圓三十錢方引下げを斷行した。之は製糖會社の經營に於ける、又一般物價の低落の趨勢から見るも當然の處置である。更に世界の大勢並に過剩糖の結果から見れば、昭和七―八年期の引下以前、即ち昭和六―七年期の原料を決定に際しても、引下げねばならなかつたのであるが、それは實行されなかつたのである。此の爲め此の後に來つた物價の大暴落に置かれて有利な甘蔗作が增大し、大過剩糖の原因となり、農民は甚だしく利益を享受せんとするのであるが、此の反對に製糖會社は非常な犧牲を拂はねばならないのである。一期の如き事情を經て昭和七―八年期の原料價格は引下げられたが、植付狀態は豫定以上の收面積を擁せられつゝ、本年は昭和八―九年期の原料買收價格決定が、來るべき重要なる問題とせられるのは金輸出禁止によつて農產物、即ち甘蔗の競作物の價格騰貴である。競作物の騰貴は從つて原料買收價格の騰貴を要求することとなるが、糖界の情勢及び前述の如き昭和五―六年期以降の原料價格の推移並に甲當り收穫率の增加等を綜合して考へて見るに、昭和八―九年期の原料價格引上げは大いに考慮を要する所である

六

糖界の不況、大增產、巨額なる過剩糖等は、我糖業に取つて幾多の試練問題を提供した。而して金輸出禁止は之等の問題を解決する絕好の機會を與へた。金輸出禁止は糖價の久しい低迷に強壯劑を服用せしめたるもので、過剩糖の處分即ち糖界不況の活路の切開に對するメスを與へ、輸入國から過剩糖國となつて更に將來への飛躍の試練たらしめんとするものである。若し夫れ原料買收價格の低下を更に更に圖つて過剩糖處分を除にせしむるは、原料買收價格の引下げが將來の段階に我糖業の發展に資せしむるために、不況對策、過剩糖回避策たるが如き消極的對策たらしめず、積極的な將來糖業の一大飛躍に一步を進むるものである。糖價の騰貴によつて手持糖の值上りを見、之が利益を過剩糖處分への原動力として實行するならば、茲に需給の改善は行はれ、輸入採算點の向上に從ひ內地糖價も充分之に追隨することであらうし、原料買收價格の引下げはたとへ一時的に植付面積の減少となつても、過剩糖の巨塊を擁する現狀に於て方策觀念の要はなからう

更に之より進んで蔗作農民經濟の根本を極めるならば、之等に依つて日本糖界が輸入國より過剩糖國輸出國たらんとするに當り其の根本方策を指示するものであらう。之即ち糖界不況より金輸出禁止に善處すべき糖業基調整理の根本義となす所以である（七・一・九）

獨逸の賠償金

不拂聲明と世界經濟界へ

米國、佛國の打擊甚大

年額二億弗が米國に入らない

昭和七年の賠償に當つて獨逸政府は賠償金支拂不能の聲明を發した事によつて世界經濟に一大センセイションを捲起した、殊に

米國は 昨年六月フーバー大統領の名によつて獨逸賠償金支拂猶豫令を發し一ケ年間の延期を聲明した事によつて世界的フーバー景氣を放送した、即ち約六十ケ年間に米國政府が各國より受取るべき戰債元利金總額二百二十二億六百萬弗の內五百十一萬弗（日本金にして約四億九千餘萬圓）を猶豫する事となつた、然るにこの支拂猶豫は本年

六月末 日をもつて期限となつてゐるのに對し獨逸はこの賠償金を支拂不能なりとして世界に聲明した、之によつて見るに米國戰債債務國は一ケ年米國に對し左の如く返濟してゐる（單位千弗）

債務國	猶豫期間中
英國	一五九、五二〇
佛國	五〇、〇〇〇
伊太利	一四、七〇五
ベルギー	七、九五〇
ポーランド	六、二二八
チエツコ	三、〇〇〇
其の他を合算總計	二四五、一一〇

以上にして二億四千五百萬弗が米國に入らない、尤も右戰債全部ではないが

獨逸の 賠償を受けて各國が米國に支拂ふ戰債は約四分の三であるから結局二億弗即ち日本金四億圓と云ふ金が米國に入らない事となる事によつて將來米國の受くる打擊は實に甚大なるものである、この支拂不能によつて一番打擊を受けるのが米國であるが、次は佛國である、佛國は獨逸から賠償金一ケ年八億三千八百萬マルクを受け、而して米國に對する戰債及對英戰債として四億二千二百マルクを支拂ふので結局

佛國は 約四億マルクを受取る事となるから之を日本金にすると二億餘萬圓の受取勘定となる、之等全部各國共に棒引となる譯であるが各國に及ぼす影響は大きい、而してこの支拂不能によつて**日本の受くる影響如何**と云ふに日本は獨逸から約六百萬圓を受取る勘定になるが米國戰債がないのだから結局獨逸から受くる所の約六百萬圓が受取れぬ事となる、之を各國に比較すると

日本の 受くる打擊は極めて少ないと云ふ事になつたが全部

棒引と 云ふ事になつた時の各國の態度如何も大に注目されてゐる、然し獨逸としてもこの重大聲明を發するまでには相當調査もし又研究もしたことゝ思ふし又事實上支拂不能となれば如何にしても支拂ひ出來ない、この打擊とこの影響は世界的であつてどう變動があるかと云ふ事は豫想出來ないが兎に角米國が一ケ年間支拂猶豫を聲明した當時に於て反對議論の起つた事を見ても變化し行くかと云ふ事は今後大に注目される重要問題である

臺銀發行高

越年後漸次收縮

最高から五百萬圓減

臺灣銀行券は昭和六年十二月二十六日の

發行高 四千六百四十萬七千圓であつたが大晦の卅日卅一日は減少して四千五百萬圓臺に下り一月に入つて七日には四千二百萬圓臺に減少し更に八、九日は四千百萬圓臺となつて一時四千六百萬圓を突破した臺銀券も約五百萬圓回收され今日では常態に復した所は二月五日が舊正月の大晦日であるので臺銀では昨年十二月認可を受けてゐる一千二百萬圓をそのまゝとして舊正月に備へてゐるが

舊歲末 の發行高は先づ四千五百萬圓臺を豫想されてゐる然し新歲末にかて豫想以上の發行增加を見たのも農村關係の生產物騰貴によるものであるからこの舊歲末も相當增發を示すだらうと觀測されてゐる

爪哇糖五割減產說

一九三三年度の

【大阪十一日發本社特電】アムステルダムからの情報によれば爪哇は一九三三年度糖を五割減產することにならうとの電報が九日各製糖會社に入つた

爪哇糖賣值

中双六盾五十仙

【大阪十一日發本社特電】九日各製糖會社に入つた電報によれば爪哇トラストの賣値並向は左の通り

中双五千噸以上地元賣六盾五十仙▲五千噸以下地元賣六盾七十五仙▲五千噸以下輸出向六盾五十仙白双は右中双賣値より各二十五仙高

玖馬の製糖開始

一月十五日より

【大阪十一日發本社特電】玖馬で

彰化第二工場

製糖開始

新高製糖彰化第一工場は十日午後四時製糖を開始した、之により未開始の工場は鹽水港州の一工場のみとなつた

島內の新糖上向

內地は新高値

再禁止に伴ふ爲替安と協定成立の爲め越年後更に一段高を告げたる糖價は最近一九三三年度爪哇糖の五割減產說を傳へ買氣又煽り十一日大阪長期の先限九圓四十錢と新高値を現出したので島內市場人氣硬化し越年後消費稅低下の爲めに稅込十三圓二十錢まで低下したものが十一日は十三圓四十錢唱と約二十錢高を告げ白糖は消費稅が六十錢方下つた關係上砂糖より安くエメオー十六圓九十錢を唱へ砂糖の新製品イーエスは小粒の上級品だけに十八圓五十錢で弗々賣れてゐる、精糖は標準物內地で十八圓九十錢を唱へ臺北相場は十八圓七十錢を唱へてゐる

（米界漫言）

期米もどうやら材料の出盡しで一服の商狀を呈してゐるが蓬萊丸糯も同樣漸く見送りとなつてゐる▲此の矢先き十一日夜には突如として內地實收百五十萬石減少說が傳はり、某商店が買向つたので强味を示し內地市場は時ならぬ賑ひを呈した▲然しそれも事實でないことが漸次判明するにつれて十一日朝には既に常態に復した▲何れはさうしたことも材料とはならうが實收は例年二十日迄に發表されることになつてゐるやうである▲あまり騷ぐことはないと考へれば考へる程今年は材料出盡、前年にも增して多事多端な年ではないか。

分蜜糖三期分割案

石川氏を中心に審議

【大阪十一日發本社特電】直消分蜜糖の分割供給案については昨年末一時下火となつたが最近再び盛り返し石川氏を中心に各社間に三期分割供給案が審議されてゐる

日本生命保險

新年宴會

日本生命保險臺北支店では十日午後五時關係官民、代理店、各加社員等を梅屋敷に招き盛大なる新年宴會を催した、富田支店長の挨拶に對し中田商工課長は來賓を代表して謝辭を述べ盛況裡に九時頃散會したが富田支店長の挨拶要領は次の如くである

日本生命は去大正七年臺北に出張所、十四年臺南にその後臺中にも出張所を開設して漸次本島に發展し昭和五年臺北に臺灣支部を置き大に新契約の獲得に努力した結果同年中本島に於ける契約成立高五百萬圓に達し支部を支店に陞格したのであるが六年は財界不況なりしに拘らず前年同樣契約高五百萬圓に上つた本年は大阪本社の方針に基き七百萬圓の責任額を引受け一層努力邁進するツモリであるから此上とも官民各位の御援助御指導を願ふ次第である因に同社全島の契約高は昨年末現在約十一億圓に達し依然各社中第一位を占めてゐる

兵庫縣見本市

十六、七日臺北で

兵庫縣では昨年一月臺灣巡回見本市を開催し頗る好成績をあげたが今回これが繼續事業として來る十六、十七兩日臺北市日の丸會館、二十二、二十三兩日臺中市公會堂、二十八、二十九兩日臺南市公會堂において第二回見本市を開催するが本年の出品物は前回開催の經驗に鑑み本島の市場に適すると認めたものゝみを選び[illegible]

月桂冠追加納入

一等酒として知られてゐる京都の銘酒月桂冠は酒井商會が取次納入人として專賣局へ納入してゐるが本年度の納入契約高は一千七百箱のところ需要增加の爲め尙八百箱の追加註文を受け結局三月迄の納入高合計二千五百箱に上ることになつてゐる

臺灣噸稅規則の改正反對の陳情

十一日長官及財務局長へ

臺灣噸稅規則の改正につき基隆公會社の代表顏國年、石坂莊作の兩氏は十一日午前木下長官及び池田財務局長を夫々訪問反對中止の陳情をなしたが、池田財務局長は右噸稅改正による增收は既に豫算に計上しある旨を答へ夫々當局側の說明をなした由而その陳情書は次の如きものである

臺灣噸稅規則改正中止に關する陳情書

我が基隆港は南支南洋と內地諸港との中心に位し各航洋船舶の寄港に最も適したる地位を占め且つ近郊には著名なる

石炭產出地 を控へ臨時に良質炭の供給をなし又良質の飲用水を補給し得らるるに依り從來貨物呑吐港としては勿論一面炭水及食糧の補給港として廣く海運界に認識せられつゝあるを以て此等船舶寄港の多寡は實に本港の盛衰に重大なる關係を有し候事は申すまでも無之儀に御座候、然るに最近仄聞する所に依れば臺灣噸稅規則は

內地同樣の 制度に改正せらるるやにて既に拓務省に廻付せられあるとの趣特に船舶に對し至大の關係を有する炭業者其他港灣關係業者は素より一般市民に至るまで誠に驚天の非常に知らざる有樣に有之候、抑々世界何れの商港に於ても外國貿易船に對し噸稅を賦課するは當然の事なりと雖も我が基隆港は大商港を形成すべき道程にある特殊の關係に依り從來

登簿噸每噸 に付金五錢の低率を課し炭料炭飲料水又は食料品を搭取る爲め入港する外貿船に限り噸稅免除の特典を認められ居たる結果著しく國外の船舶特に世界周遊船の如き本港乃至本島を世界的に紹介する有效なる大船巨船の寄港を誘致し之れに關聯する各種の商取引隨つて殷賑し市況漸く活氣を呈しつゝありて當市の繁榮は一に是に起因すると迄稱せられたる次第に有之候、然るに近時[illegible]の結果を見るとせば炭水等補給の外貿船は漸次其影を潜め將來を期待せる

港勢の旺盛 は一場の夢と化すべく斯くては啻に關係業者の死活問題なるのみならず當市の被る損害は亦た頗る甚大にして延て市勢の消長に關し誠に憂慮すべき結果に立至るべくと被存候、而かも基隆港は從來他港に比し炭價低廉にして良質の飲料水を得られ且つ噸稅免除の特典により出入港手續簡易にして自然入出港容易となり諸經費を輕減し得るを以て大に利用せられ居るに拘はらず新たに

噸稅を賦課 せらるれば炭價低廉の計算は金五十五錢餘の負擔を見たると同樣の計算となり從前の基隆炭と內地又は南支炭との値開き殆んど無之一方從來單に入港手續のみを爲せば容易に物資を補給し得られたる各船が唯噸稅納付の一事に於て稅關の手續煩瑣となり稅外の手數と日時及費用を要するに至り萬一其

入港が土曜 日午後乃至休祭日なるときは規定料金を支拂ひて臨時開廳の申請を要し閉廳時間經過後の入港船は翌日稅關手續終了後ならでは炭水其他を補給することを得ず爲めに無駄に兩三日を空過せしむる等の不便なきに至る場合にて此等炭水等補給の爲め寄港せんとする船舶は遂に絕滅するの結果を招來せざる哉を懸念する次第に有之候、上述の如く現行噸稅規則の改正が單に歲入增加を計らるる目的にありとすれば其結果は却て減收と相成るべく好し假りに豫期の成績を收め得らるゝとするも之れに依りて其港は忽ち年間凡そ六七十萬圓に上れる

商取引を減 殺せらるるは勿論全島的にも將又國家的にも其損失は莫大にして我臺灣の主要產業及港灣都市の繁榮を阻害することゝ相成全く時勢に逆行するの惡例と遺憾に不堪存候就ては何卒市情御賢察の上右改正中止方御詮議相成度此段陳情仕候也

昭和七年一月十一日

財團法人基隆公會社
理事長　近江時五郎

臺灣總督　太田政弘殿

試驗船照南丸

歸途につく

目下南洋における各種漁業調査中の總督府水產試驗船照南丸は目下歸航の途にあり、去る五日バタビヤを出帆し目下新嘉坡に碇泊各種の調査中で本月二十日前後には基隆に歸港の豫定であるが試驗の結果に就ては南洋出漁業者の非常に注目されてゐる

丸糯反落

期米安と在荷增

二期丸糯米も十日迄に九十五萬三千袋餘の移出を見漸く內地側も買見送り一服の商狀を呈してゐる際に十日夜には市內某米商が內地實收高豫想より更に百五十萬石減收說に人氣をあふり九州臺灣共に買向つた爲に相場の昂騰を來して丸糯九、九八錢蓬萊七、二八錢の高値を示したが商次未だ不明なるも眞相判明するにつれて低落し十一日前場では蓬萊七、一〇錢と寄付五、と低落し中先限も同樣低落丸糯も其際在荷九萬三千袋と增加を入れ期米安旁々九、六六錢と寄付六〇錢と暴落商狀を呈してゐる併し一般には政界も安定し材料の既に出盡した以上は見送となつてゐるが來る二十日過實收米の發表と舊正月手當旁解散等の材料により一段と高値を現出するだらうと期待してゐる向が多い

砂糖出廻激增

貨收著增で鐵道ホク〳〵

三月迄に今迄の減を取返さう

本島鐵道の十二月中に於ける總收入は百七十八萬九千三圓で前年同月に比較して實に二十三萬九千八百二十九圓の增收となつてゐるが此の中

客收は 五十八萬三千三十四圓で前年に比して四萬五千七百十四圓の減收となつてゐるが貨收は百二十萬五千九百七十二圓で二十七萬五千五百三十九圓と云ふ膨大な增加を示した、尙十二月迄の

累計は 千三百九十六萬二千七百二十一圓で前年に比し六十三萬一千六百四十三圓の減少となつてゐるが新年になつてからも砂糖米の出廻りは激增してゐるから一ケ月二十三、三萬圓の增收と見て三月迄に今迄の減收は取返し結局本年は前年と同程度の收入と見られてゐる、尙一月に入つてからの砂糖出廻狀況並に昨年との比較增減を示せば次の通りで如何に

激增し てゐるかが判る（單位噸）

	本年	前年比較
一日	四、七五六	一、四八七
二日	五、二七四	一、七五一
三日	四、四五〇	九八九
四日	五、〇四二	一、三七八
五日	五、九一八	二、〇三三
六日	五、五四六	一、一八六
七日	五、七七四	一、三一六

移出米閑散

丸糯移出一段落

その後の移出米通に之れ北向地別は左の通りであるが、昨今入荷も極めて少く丸糯の移出は一段落の形である、然し其餘川期米は尙增加の傾向にあり一日二萬袋以上を算してゐる

二期蓬萊米	四八二、九六八袋
同　在來米	二五五、九二一
同　丸糯米	九五三、五九八
同　長糯米	一四六、九二三

▲港別蓬萊米（二期蓬萊米）東京揚三、九六二〇、大阪揚三〇〇袋、神戶揚一、三〇〇袋、九州米名古屋揚一、一七八袋、大阪揚一五〇〇袋、神戶揚二、七〇〇袋、門司揚二、〇〇〇袋

東西南北

日糖支社の福地理事、歸京約一ケ月、九日歸臺した、如何に臺灣生活とは云へ準獨身では不便であり家族にも氣の毒だとあつて今度東京から夫人と末の令息を連れて來た、家庭の團欒振りうらやまし▲茶會が解散となれば藤山御大も貴族院へ顏を出さなくとも好いから二月には久し振り來臺することが出來るとの事▲米商取引所社の決算期に入り此頃重役の會合が頻りに行はれてゐるが、臺南米穀界の元老で同社の監査役たる越智寅一老は臺北支店の決算と米穀取引所社の決算用務を兼ね八日來北したが、近頃老もなか〳〵元氣だ、睡眠を充分に取り每月便通さへあれば風邪も引かず病氣には絕對に罹らぬものだと老臨時の養生談一席▲本島に於ける日本生命の代理店は臺南の越智商店が元祖三十年前には本島の契約高が僅々百萬圓程度であつたが今は支店、出張所があつて代理店と相協力し年に五百萬圓に達してゐる今年は七百萬圓の責任額を引受けた富田支店長、例の旺盛な努力と熱を以て之を仕遂げてみせると非常な意氣込み▲京町組合長の士原老もなか〳〵の大元氣、老いて益々盛んなりである正月の休みを利用し例の健康法の山獵に出掛け[illegible]と云ふ話しが小さいが[illegible]に出かけた山又山を追ひ廻した所一時に三頭の大猪が猛然として出現したので士原老もこゝぞとばかりに十連發の銃を取り直して發砲に及ぶ土より猪の方が早かつたか見事に逃れたので殘る二頭に向つて發砲に及ぶと確かに命中した▲見ると實に大きい但し逃げた方の猪はマダ大きかつたかも知れぬ、兎に角正月の初獵でもあり獲物を擔り上げて十一日臺北に歸つて斤量をはかると百五十斤と云ふ大物流石の士原老も自分ながら驚く▲サアかうなると益々自慢の鼻をウゴめかして早速料理人を呼んで料理して各方面の知己に配達すると云ふ騷ぎ、兎に角正月早々士原老大に元氣のある所は仍て如件。

商況

十一日

米況

臺北米相場

正米市場

基隆在庫米

高雄在庫米

正米市況

[illegible]

大阪期米

東京期米

神戶期米

堂島米況

[illegible]

昨日の市況

株式強調　綿絲堅り　期米低落　砂糖強い

株況

東京短期

東京長期

東京國債

大阪長期

大阪短期

[illegible]

大阪現物

大阪定期

銀塊

大連

絲況

大阪綿絲

大阪綿花

神戶豆粕

穀肥

神戶市中相場

大連取引所

神戶豆粕

魚類卸相場表（十一日）

臺北市公設魚市場

[illegible]

神經疾患のフイチン
根元的治療劑
神經系疾患に根元的治療作用を旁む又身體虛弱、精力衰退、病後回復期等に適用し短時日の應用により障害なる作用を自覺し得る副作用なし（錠劑・粉末）
7—9

月經催進劑
月經アゴメンシン
チバ
月經不順・無月經・月經困難
生殖器發育不全・生殖機能
障碍等の合理的治療劑
月經過多・月經痛には ンストメンジン
月經閉止期の予防には プロクリマシ
＝副作用なき錠劑及注射液＝

東亞の謎 (172)

作者　國枝史郎
畫家　伊藤順三

三角の戀（三）

默つてゐたダツトが眼をさました。

「お目ざめ。」

と、手で頭を抱へ込んだ。

「[illegible]」

とダツトは弱々しく云つたが、

「次郎の行方、わかりませんかな」

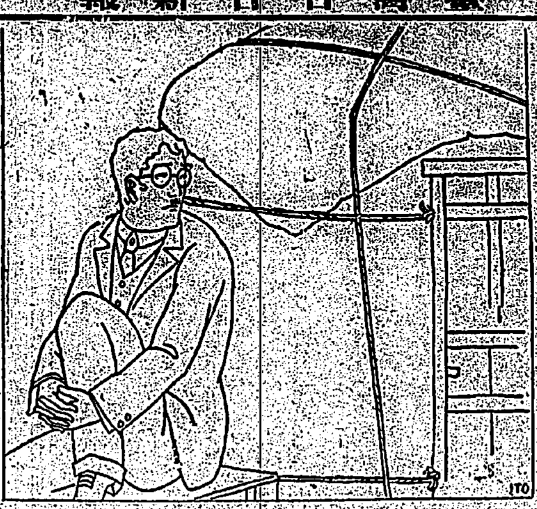
「今も次郎さんと話したんですけれど、兄さん達の行方わかりませんわ。」

「さうでせうな、遠いですから、[illegible]は遠いですから。」

さう云ふと又眼を閉ぢた。

何の窓から射してゐる日光が、ダツトの顔を照らしてゐた。眼鏡が浮んで濃い影をつくり、憔悴の影を示してゐた。顔にもほとんど血の氣は無かつた。

室の中を蠅が飛び廻つてゐた。家畜の臭ひがたちてゐた。巾の所々の乞食きの道具だの、食物を入れた袋だの、さういつたものが雜然と、部屋の隅などに置いてあつた。



入口から犬が鼻づらを出して、狂暴さうに三人を見廻したりした。外では人聲が聞えてゐた。

「私は可いです、大丈夫です。」不意にダツトがはつきりした聲で云つた。

「さうです私は粟六人ですから、此處にゐたつて大丈夫です。……じかし皆さんは不可ません。こんな汚い處なんかに何時までもゐては……せめて[illegible]でも……」

「ちやア一緒に參りませうよ。」洋子が泣き出しさうな聲で云つた。

「私達ばかりで歸るなんて……ねえ次郎さん不可ないわね。」

「不可ませんな、そりやア不可ないさ。……勇士を見棄てて歸られるものか。」

次郎の云ひ方には熱があつた。

「洋子さんとしては御迷惑でせう。」

「大丈夫さうですとも、その通りだわ。妾達もお助けされたんですもの。」

（そこで戀愛となりにけりさ）

次郎はこんなやうに云ひたかつたが、さすがに口へは出さなかつた。

次郎は腰かけてゐる椅子をゆすりながら、クソ面白くもないといふやうに、やがて口笛を吹き出した。

（これで理窟と洋子はとだけで、小說的で終なんだが、次山の騎士が付いてゐるんだから、とんとアキすヘンといふことになる）

次郎は口笛を吹きつづけた。

又ダツトが勸めるやうに云つた。

「私も行つてもよいのですが、それより私は庫倫の方へ、這入り込んだ方がよささうなのです……庫倫へ行つた方が仕事が出來ますさうです、私の企ててゐる仕事が。」

「ちやア私達も參りますわ、庫倫へでも何處へでも。」

「庫倫へは迚も日本の人は、入り込むことは出來ませんよ。ソビエットが完全に支配してゐて、日本人排斥をしてゐるのですから。」

「でも行けば行けますわ。强い決心を持つて行けば……ねえ次郎さん然うでせう。」

「どうも然うちやアなささうですね。」

次郎は意地の惡い聲で云つた。

「庫倫の日本人排斥は、徹底を極めてゐるさうです……但し女は行けるさうですよ。が、それは[illegible]としてですね……洋子さん[illegible]だけ行くといいや。」

「厭だわ、次郎も行きませうよ。」

「おことわりしませう、ご免かうむらう。」

そこで又口笛を吹き出した。

滿蒙時局論

最後の覺悟が必要

法學博士　大川周明

滿蒙問題がここ數ヶ月の間に日本國民の非常な關心事となつてきたことは、從來あまりに冷淡であつた滿洲に對する國民の認識が改められてきた一つの證據として喜ぶべき現象である

今滿洲に

は零下三十度の骨をつく風雪を浴びて、我が忠勇なる將兵が一身を賭して生命線の死守に當つてゐる。日本の生命である滿洲を守ることは、等しく我々日本人の義務でもあり、今日の危急の場合に我々がこの問題に絶大なる關心を持つ所以も、またその義務を痛感するが故である

滿洲問題の解決は、國際聯盟の態度如何によつて決せらるるものの如く思はれて、聯盟理事會の動きには多大の期待がかけられてゐるやうだ。けれども聯盟理事會は何をしたのだらう。朝に夕に猫の眼の如く態度を變へ、却つて日支

直接交渉

の機會を遷延しなるが如き結果をしかもたらしてはゐない。滿洲に對する認識を缺き、全く極東の事情に通じてゐない國際聯盟の理事會が、遠くジュネーブでこの問題を論議して決定しやうなどといふ考へが先づ間違つてゐるのである。事は極東の問題である。殊に既に古い過去に日本の特殊權益と絶對優越性が國際的に認められてゐる滿洲においてである。しかもそれは條約上の權利行使の範圍內で、自衛上當然の處置として已むなきに出でた行動に過ぎぬ。しかるに聯盟理事會がこの問題を取上げるについての態度にはいろいろ許し難い點が多かつた。まるで日本が戰爭でもしかけたやうにヨーロッパ政治家の[illegible]ず、狼狽して何でもかでも

日本を抑

へつけやうとした態度である。支那の巧みな宣傳にのせられて、後日滿洲の事情が判明するまで國際聯盟は今回の日支紛爭の眞の原因や滿洲と日本の關係等について知るところが少なかつた。我々は國際聯盟に對してもつと極東の事情に——特に今回の如き時には支那滿蒙の事情に精通せよとは言はぬ。それは地域的に遠く距離に分れて居るからであり、事情に通ぜんと欲しても出來ぬ問題だからである。唯、極東の知識について甚だ不充分にしか持たぬ事情不通の身を以て、極東での出來事にまで一々口ばしを入れることを

控へよ

といひたいのである。その結果はどうか。滿蒙の事情がその後次第に判明してくるにつれ、支那の宣傳が不眞なる捏造であり、事實の甚だしい誇張であつたことが分るにつれて、聯盟理事會は當初日本を抑へ、支那に多大の同情をよせてゐた關係からのつぴきならぬ破綻を演じ、遂に[illegible]問題を惹き起すといふ不面目をさらけ出すに至つた。我々としても國際聯盟の使命は充分理解してゐるし、國際聯盟がかかる國際機關が今回のやうな紛爭勃發に對して充分なる研究と一派の指針を與へられることを希望して止まぬ。しかしながら聯盟理事會の事態に對する態度と、あまりにも不充分な對支認識の

認識缺如

をもつて、徒にこれらの重大な問題につき、黒白を決するやうな態度に出でんとした聯盟の態度は改むべきである。東洋の平和保全のためには、日本は從來幾多の犧牲を拂つて全人類の幸福の增進のためつくしてきてゐる。少くとも東亞の保全は、日本の雙肩にかかる義務としてこれが遂行のために努力してきてゐる。國際聯盟の日本に對する態度の硬化は、さうした過去に於ける日本の果してきた役割及び現在の東洋に於ける地位を全く知らぬものの如くである

×

發言權を

有してゐる國は今日に於て日本は世界何れの國よりも多く、滿洲問題に關する限り[illegible]なつて、滿洲のことが問題にされるといふことが不思議である。我は滿洲を敢て支那の領土でないとは言はぬ。滿蒙は支那本土とは劃然と區別さるべき地域であるが、しかしそこには日露滿蒙漢鮮の六つの民族が雜居してゐるところである。滿蒙はこれらの民族の相互の利益のため、平等に居住する權利が認められなければならぬ。しかるに滿蒙を見ても、そこには我々の未だに[illegible]新たなるものがいくつもある。ロシアの南下による滿洲への侵入、これに對する支那の陰謀と無力、そこから必然に發してきたところの日露戰爭、この

極東全局

の破壞の危機に直面して我が日本が拂つた犧牲は實に巨大なものである。以來殆ど二十五年の努力は、試みんとして永久に消さぬ結晶を殘してゐる。これらの事情を我々が目前に正視する時、果して滿洲に對する我々の考へは如何なる點に到達するであらうか。先住民族たる滿蒙民族の從食に對し、日本民族は將來を考へて著々と滿洲を住みよい樂土たらしむべく努力してきたのである。そしてそれは今日報いられてゐる。我が國が支那以上に滿蒙に對して發言權を主張する所以がここにある。またさう言つたからとて誰かこれを否む者があらう。しかし先づ自らこの

斷案を下

さずして他の國がさう認つてくれる筈がない。故に我々は斷乎として、日本の滿洲に於ける地位を機會ある每に表明し、日本と滿洲との關係を明らかにしておかなければならぬ。而して自分の持つ當然の權利を驅使し得ないものを保護してくれる國際公法などはまだ世界のどこにも出來てゐない。自己の權利は、よくこれを驅使し得るもののみが、また保護を受けるのである。かくの如く世界の大勢から見て滿蒙に對し、日本民族の步むべき道は自らきまつてくる。常に我々日本人のみを除れよと主張するのではない。世界の全人類のために、滿蒙の完全なる解放をこそ願はしく、またそのために努力しなければならぬのである

支那は今

尚、日本が支那に對して野心を抱いてゐるが如く他の國に宣傳して第三國の同情をひくことに努めてゐる。そして實際この宣傳を歐米あたりでは一再ならず信じてひそかに日本を敵視した。けれども少くとも今日では、かかる支那の宣傳をその儘信ずるものはなくなつた。そのことは既に機會ある每に我が國が聲明してゐる通り、條約の履行以外には何もないし、また從來の行動が何よりもそれを雄辯に物語つてゐる。アメリカのこの點に關する誤解も今日では一掃されてゐる。

支那自身

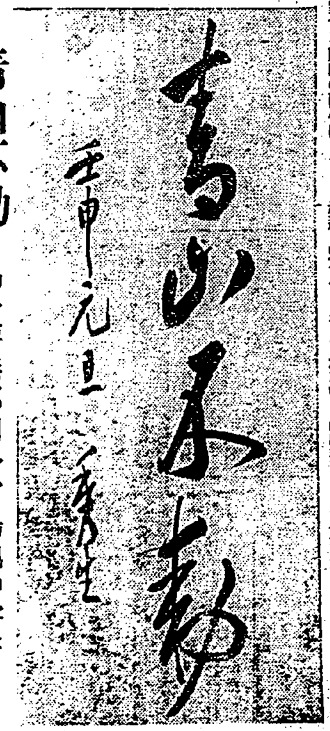
のあくどい宣傳か、却つて第三國との間に不安な空氣を孕む場合があるのは遺憾だ。今日の滿蒙はひとり漢民族のみの獨占に委ぬべきところではない。それは史實が否認してゐる。却つて過去四十年來漢民族のとり來つた行動そのものが明白にこれを拒否してゐる。かつて滿洲へは支那人（漢民族）の移住を絕對に禁止してゐた。この滿洲移住の禁令は今から二十六年前に全部の撤廢を見たのである。一定の地域に、自國人の移住を許さぬ領土といふものがあるだらうか。現在滿蒙にある日本人二十萬を移民とすれば、二千數百萬の漢民族もまた移民でなければならぬ。しかもその漢民族の三分の二は、日本が

滿蒙經營

をするやうになつて市街を建設し、鐵道を開き、工場を建て等しく開發に盡くし治安の維持を保ち得たからこそ滿洲へ滿洲へと移住してきたのである。かかる歷史に照らして見ても、日本人は滿洲に於て主人公たる地位にあるものであり却つて漢民族こそ、日本の恩惠によつて今日あるを得た喜びを感謝せねばならぬのだ。しかしながら事態はいつまでも日支兩國を睨み合ひの儘放置させておくことを許さない。國際聯盟の方針も大體最後の解決方針に向つて進むやうであり、支那が日本と爭ふことの——そして從來の

對日態度

の非なるを悟つてくれるに於いては、圓滿解決を告げることは必定であるが、何れにしても國民の發奮次第で、たとひ非常な苦境に日本が立つとも、最後の決意があればこの重大なる時機に處して行くことが出來るのである（終り）



青山不動……馬公要港部司令官湯地中將書

ＪＦＡＫ　十二日

▲午前六時三十分　朝の挨拶△ラヂオ體操△今日のお天氣のお知らせ臺北測候所發表

▲午前八時　全國[illegible]

▲午前九時三十分　家庭百科問答△事務米價とは

▲午前十時　今日の家庭料理獻立△コロモカケ魚のすまし汁△豚肉つけ燒みぞれかけ

▲午前十一時　日用品小賣値段　臺北市公設西門市場發表

▲午前十一時五十九分　正午の時報▲氣象通報臺北測候所發表

▲午後零時二十一分　食間娛樂時間　放送局編輯ニュース（レコード演奏）滿洲時局レコード、ジヤズソング『滿洲行進曲の唄』（二村定一）二、民謠『四季の滿洲』（[illegible]）三、小唄『山田一郎』（オリオンコール）四、流行歌『滿洲のラツパさん』（[illegible]）五、流行歌『滿洲娘』（[illegible]光子）六、流行歌『ニヤンニヤン祭』（平井英子）七、獨唱『トロイカ』（[illegible]美津子）

▲午後五時　子供の時間（東京）旅路

▲午後五時三十分　公民教育講座（大阪）『法律刑法』（第一講　片山通夫）

▲午後六時　讀書の夕（一）開會ニュース『國語國字問題』上森大[illegible]（二）讀者談話會主催『自作發表』[illegible]

▲午後六時三十分　[illegible]（大阪）

▲午後七時　[illegible]竹本[illegible]

▲午後七時五十分　放送映畫劇（東京）金色夜叉（尾崎紅葉作）配役　林長二郎、田中絹代[illegible]

▲午後八時四十分　▲ラヂオ・コメディー『女房の位置』（吉谷五十一作）一幕　配役（放送順）[illegible]

▲午後九時二十分　時報、氣象通報漁業氣象臺北測候所發表、日日ニュース△放送局編輯ニュース△公示事項告知事項△明日のプログラム發表

廣告なかだち
求職一件一回 貳拾錢
其他一回 壹圓七拾錢
匿名 倍額

女給數名募集 榮町天地北側電一八二六 たつみ

自動車讓渡 目下營業中の自動車一切 電話二二五五 大丸自動車部

內地人小店員 拾名募集 本人來談 臺北南門[illegible]

社員採用 有給 履歷書携帶本人來談の事 壽町[illegible] 保全社

書生入用 本島人二三名 至急雇入度し（大正町三條通）荒川齒科醫院

結婚 媒介 [illegible] 臺北市錦町一二六 公認 和合

貸家 大正町二條入口[illegible]

貸家 [illegible]

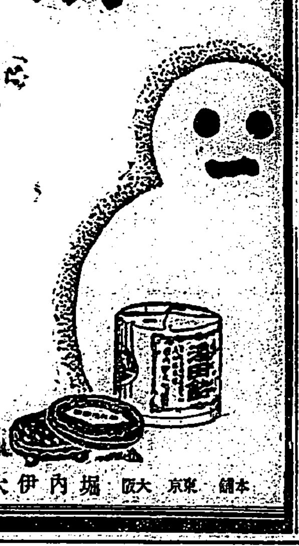
貸住宅 [illegible]

高校專門學校 受驗生 [illegible]

專檢受驗生 [illegible]

一滴素敵
金鶴香水
丹頂ポマード

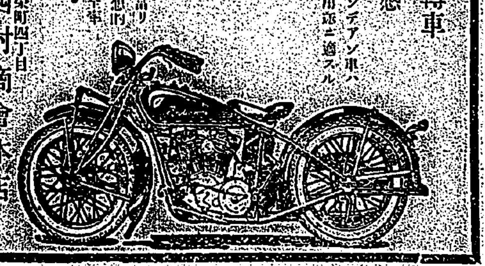
從四位淺田宗伯先生直傳
淺田飴
たんせき一切
感冒、百日咳
喘息よわき人
咽喉の惡き人
聲の出ぬ人
老人小兒の
補血强壯劑
本舖　東京　大阪　堀內伊太郎（全國各藥店にあり）



各種蓄音器レコード
電氣擴大發聲蓄音器
ラヂオ兼用電氣蓄音器
蓄音器及ラヂオ製作大卸元
（全國時計店、蓄音器店、樂器店、自轉車店ラヂオ店、電氣店、百貨店に販賣す）
蓄音器、電氣蓄音器、ラヂオ、全般大卸元
日本トランス蓄音器商會
營業所　大阪市東成區今福町一八一
電話鶴江八一三番（營業用）全六三六番（工場用）
振替大阪七一三一五番　鶴江局私書函第五號
發送部　大阪市東成區今福町一八四
月刊新報御希望者に限り發送致します

美味・榮養の王者
たつた二錢!!
一皿二錢で
味よく
榮養價よく
三拍子揃つた
ハウスカレー!!
おいしくて滋養になる
ライスカレーの素
ハウスカレー
發賣元　浦上靖介商店　大阪

Indian
スピードー界の王者
インデアン自動自轉車
乘用の誇り!操縱の快感
◎純正部分品在庫豐富
フェデラル三輪運搬車
榮と活動の鍵
型錄　代理店
送呈
臺北市榮町四丁目
西村商會本店
電話一〇八・二二〇番



大懸賞
夏川靜江孃のお齡は幾つ?
實用者御優待
興味百パーセント
「愛用者御優待」
銀幕の女王にして「風鳥メール」の愛用家である夏川靜江孃は一體幾つなのでせうか?之は恐らく私達ファンにとつて未だ解答を興へられない非常に興味深い問題でありませう。然し次の夏川孃と小杉勇君とのユーモラスな對話によつて容易に解決を下されました。
夏川「マアおごるわね。小杉さんは相變らずお口がお上手ね、笑、もうおばあさんのつもりなのよ」
小杉「靜ちやん!君はいつも若くて美しいネ、萬年娘だネ」
小杉「たいへんお美しいおばあさんだナ」
夏川「婦人なんてお化粧一つよ、今大評判の『風鳥メール』を愛用してゐるお蔭だワ」
小杉「なる程!ちや靜ちやんは一たい幾つなの?」
夏川「女の年を聞くなんて野暮ね、では明治四十二年生れにしておきませうか!」
素晴らしい「賞品の豪華版」
一等 上等タンス
二等 助間着
三等 プラチナ腕時計
四等 寶石入金指輪
五等 大型姿見
右の內お望みの品一點 [illegible]
【解答規定】
用紙「風鳥メール」の外箱の表面に左の順序で書いて下さい
答案の書き方 1、夏川靜江孃の歲の數（年何歲（但し昭和七年二月現在））2、夏川靜江孃の愛用してゐるホーザンクリームの名 3、アナタの御住所と御姓名
答案の送り先 御近所の風鳥化粧品販賣店へお屆け下さるか或は閉ぢ封として（三十錢まで二錢切手貼用）左記宛お送り下さい
大阪市東區南久寶寺町三丁目　宇野達商店懸賞係宛
締切 昭和七年二月末限り
發表 昭和七年四月上旬本紙上に發表
抽籤 正解者多數の場合は新聞社員立會の上嚴正抽籤にて當籤者を決めます
注意 一人で何枚でも應募出來、多い程當る率がよくなります。お買求めになつた商品、販賣店名及其住所を附記して下さい（他の用紙でもよろしい）
ホーザンクリーム
風鳥メール
出先　醫學博士前坊勝　實驗御推奬
¥.30 ¥.50 ¥.70

もう本年も
仁丹
健胃整腸に卓効ある常備の救命防身藥　懷中藥　仁丹
齒の爲めに一番良い理想の藥効的齒磨　仁丹ハミガキ
化學的に齒を美化し然かも大衆向廉價　仁丹の練齒磨
政府撿定、實に外品を凌ぐ國產優秀品　仁丹の體溫計
烟草の味を良くするニコチン緩和劑　仁丹香錠
ベームオイル製にて子供の肌も荒さぬ　仁丹石鹸
本舖　大阪市　森下博藥房
御愛用を

アレ止めに　粉白粉下に
クラブ美身クリーム
白薔薇よりも香はしく
ビロウドよりも滑かに
肌に溶けゆくこころよさ
このクリームは
美のエッセンス!
・クラブ美身クリーム・
クラブ美身クリーム　CREAM

皇室祭祀令により不敬事件を御報告

賢所に出御遊ばされて

伊勢神宮、神武天皇御陵　多摩御陵には勅使御差遣

【東京十一日發電通】畏き邊りでは不敬事件に關し近く伊勢神宮、神武天皇御陵及び多摩御陵に勅使を御差遣御奉告遊ばされ特に賢所には陛下出御の上大祭式御奉告を遊ばされるが右は皇室祭祀令第十九條に依る皇室又は國家重大事の御條例に準ぜられての御祭典である

御警備方針の改正につき研究

十一日の閣議に於て

【東京十一日發電通】十一日の閣議は午前十時より首相官邸に開會、荒木陸相を除く各閣僚出席、不穩事件の責任者處分に關し小山法相より意見の開陳あり、各閣僚間に斯かる不穩事件を再び起さざる樣要望し、手段方法に付き意見交換の結果御警衛方針を從來の形式を廢し實質を擧げることを主眼に研究するに意見一致し、[illegible]官長をして研究せしむることとなつた、次で荒木陸相より熱河事件の[illegible]を報告し諸般の政務を決定して十二時四十五分散會

湯地要港部司令官軍令部出仕となる

後任は後藤章少將

【馬公特電十一日發】既定の通り湯地馬公要港部司令官は本日附で軍令部出仕となりその後任は後藤章少將と決定發表された（寫眞は湯地司令官）

海軍に賴りすぎて却つて困る事がある

居留民代表者を懇々諭した

湯地司令官視察談

【馬公特電十一日發】福州方面警備状況の視察を終へ十日歸任した馬公要港部司令官を訪へば大要左の如くである

七月馬尾について二十七驅逐隊の巡邏をなし更に八月南臺にある驅逐艦[illegible]の巡邏を終へて福州に上陸して領事館に入り後今回事件のあつた西湖公園の實地を[illegible]し、又支那要人や

居留民　等に會つて九日[illegible]到り十日同地から歸つて來た、今回の事件の內容等を詳細に調べて來たと語り今度の事件について新聞では一方の言分を聞いてやたらに誇大に報じてゐる樣であるがこんな事件については大いに愼重な態度をもつて各方面の立場をよく認識し又國際上から見ても大いに愼んでもらひたい、事件は二日居留民會館での催しが終つて

反日會　の排日遊行があると云ふので田村總領事と杉野艦長は杉野砲術長を團へその狀況視察に出かけた所、日本軍艦旗を侮辱するポスターがあるので艦長はこれを破つた所が群衆が艦長に突當る等の無謀な暴行に出たのである、この事件と水戶訓導夫妻殺害事件とを混同して思ふ樣である同一事件の樣に思つてゐる樣であるが事件は全然別である、かかる反日抗日會の非人道的無謀な行爲に對しては禍を以て福となすと言つた

愼重な　態度で國策遂行の上に領事館と居留民及び艦船部隊と打つて一丸として强硬な態度に出づべき筈なるに、居留民に於て此の點が缺けてゐたやうに思はれて遺憾である、領事に對する平素からの居留民の感情があまり面白くないと聞いてゐる、斯る場合に互ひに疾き感情で事を論する如きは最も忌むべきである、併し今回の事件に對して田村總領事がとるべき强硬の態度[illegible]について

非難な　く寧ろ稱揚すべきであると思ふ、又陸戰隊上陸について兎や角云はれてゐるがその結果について小笠原總領事で海軍としては寸毫も遺憾ないことをやつてゐる、居留民等は徒らに自己の利害を講ぜず陶介に大事ある海軍に賴り過ぎて却つて困ることがある、故に此の點については今回居留民代表に對して懇々と諭して來た、更に今回の事件が何れにあつても結束を强調して[illegible]せしむべきである、警備の各部隊は大いに活[illegible]してやつて居ると大いに決心あるが如く語つた

海軍辭令

【東京十一日發電通】

馬公要港部司令官　海軍少將　湯地秀生
補海軍軍令部出仕

軍令部出仕　海軍少將　後藤章
補馬公要港部司令官

三内親王さま葉山へお成

【東京十一日發電通】照宮、孝宮、順宮三內親王殿下には十一日午前十時五十二分東京驛發葉山へ成らせられた

眞崎中將

十一日門司著同夜東上

【十一日發電通】參謀次長眞崎[illegible]中將[illegible]官は扶桑丸で十一日門司著同夜東上した

山岡關東長官の親任式擧行

【東京十一日發電通】山岡新關東長官親任式は十一日午後四時宮中に於て天皇陛下出御の上犬養首相侍立して左の如く執行せられた

正四位勳三等　山岡萬之助
任關東長官

同時に塚本氏に對して左の如く發令あつた

關東長官　塚本清治
依願免本官

阿部軍司令官

二十二日神戸發赴任

【東京十一日發電通】阿部臺灣軍司令官は十三日東京發大阪に赴き赴任準備を行つて二十二日神戸發臺北に向ふこととなつた

臺北鐵道會社の臨時株主總會

法院の命令に依り

臺北鐵道會社の臨時株主總會は十一日臺北地方法院の命令によつて午後二時から臺北市[illegible]に於て開催され出席株主百一名五百八十五株（委任狀共）にして此株數一萬五千[illegible]一致をもつて議長に推し後宮氏議長席に着き後宮議長は法院の決定全文を讀み上げ、且つ杉山不吉外五名の提出せる全文を讀み上げ一、二、三項の議事に入るに先立つて反對株主は自派の少數なるを悟り[illegible]を叫び席を離れ採決に至らず故に他の一萬株以上の株主によつて滿場一致をもつて左記法院[illegible]によつて同社事業の[illegible]指摘の事實は之を認めず現重役に[illegible]すと決議し午後四時半無事終了した、尙法院より指摘されたる事項左の如し

議決事項（法院指摘事項）

一、本社が借入金五十一萬圓を擁し取締役は業務執行上誠實を缺き監査役其の職責を盡さず[illegible]認めらるるや否や

二、本社の事業經營は缺損を重ねつつある所株主各位は會社を維持し難しと認めらるるや否や

三、木社が株主名簿を備へず諸帳[illegible]

前記事項として不當搾取しの點は株主各位に於て如何に認めらるるや

（杉山不吉外五氏の提出事項）

四、取締役[illegible]、同[illegible]、監査役[illegible]不信任に付[illegible]

五、定款第二十二條に依り大正十二年一月三十一日の臨時株主總會に於て取締役及監査役の報酬を年額三千圓と決議したる所當分の間無報酬と改むるの件

解任並に不當支出金弁償請求の件

臺北新竹臺南の豫算審議を急ぐ

臺中高雄は後廻し月末ごろに著手か

各州の明年度豫算はすでに督府に提出され目下內務局で審議中であるが、五州のうち臺北、新竹、臺南の三州は特に急速に進行諒可しておく

必要あ　るらしく新竹州豫算は去る九日までに終了、十一日からは臺南州豫算に移り同州の分は十二日で終る見込で右終了と同時に早速臺北州豫算にとりかかり臺北州は十三、十四兩日で審議を終了させ十五日木下長官が上京する以前に右三州の分のみは諒可の運びに至るものと見られる、臺中、高雄兩州の分はズッと後廻しにして月末ごろにやうやく審議に著手する由で、その間に地方課では

某問題　に全力を注ぎ總督が上京するまでに同問題をも決裁さすべく小濱局長はじめ全局力をかけて局面を督勵してゐる、從つて豫算の方は月末までに著手することは困難であると內務局では語つてゐる

全臺中團に明大悠々大勝す

二十二A對五のスコア

【臺中電話】明大對臺中野球戰の行はれる十一日の臺中は快晴[illegible]の[illegible]さだ、午後零時十四分臺中驛についた明大選手一行は旅館千代の家で旅裝をとき午後一時半ファンの拍手に迎へられて水源地球場に入場、輕い練習を終へ二時四十五分天知球審のプレーボールに試合は開始された、[illegible]角田の[illegible]氏、明大は山脇をプレートに送つての對戰であつたが二十二對五で明大悠々大勝す、時に午後五時五分試合時間二時間二十分

試合經過

第一回（中）二死後森下三振後に三壘打したが百合三振、（明）岩瀨遊飛に失し二盜、野の中飛に三壘に進み[illegible]の右飛に生還[illegible]四球に出て[illegible]

第二回（中）一死後鈴木四球に出て小林左飛に二死となり西村遊撃越前安打を放つたが平賀中飛（明）木原三遊間を拔き山脇三壘左安打に三進捕手逸球に木原本壘を衝いたが刺され、その間山脇三壘を奪ひ中根四球に出て二盜、岩瀨の二越安打に山脇生還、岩瀨この間二壘を狙つて刺さる、河野投ゴロ

第三回（中）一死後池田中越三壘打を放ち森下の投手右直球安打に生還、百合三振に二死となり津田二壘右安打に出でたが鈴木三振（明）河野四球に出たが泊畑二盜、中村四球に歩いたが泊畑[illegible]

第四回（中）小林遊越安打に出て西村の遊ゴロは不規則バウンドとなり日永の二壘間安打に小林生還、上杉投前安打に中前安打に西村生還、森下の投手背後の飛球は安打となつて日永生還、この間池田三壘を狙つて刺さる、百合遊飛失に生き中根一壘間バントを投手一壘に惡投し（代走廻口）岩瀨四球に滿壘、河野の二壘内野安打に山脇生還（日永投手となり西村右翼に入る）河野四球に廻口生還、中村の左飛に岩瀨生還、二死、中村の[illegible]を[illegible]赤木[illegible]

第五回（中）（赤木一壘に退く）岩瀨の左翼に木原右翼に廻る）三者凡退（明）山脇投手强襲安打ゴロ三壘內野安打を放ち山脇三壘を盜み岩瀨四球に滿壘、野の遊ゴロに[illegible]中村の中堅越本壘打に[illegible]

第六回（中）日永中堅左を拔く三壘打を放ち上杉の中前安打に生還池田の三飛上杉一壘に併殺を喫し森下一邪飛（明）中村三振失に生きたが赤木遊飛後鈴木の併殺さる

第七回（松井一塁に入り赤木退く）（中）三死後鈴木四球に出

第八回（中）三者凡退（明）中村三壘打後飛球は安打となり一壘二壘を奪はんとする時遊撃二壘に惡投し中村一舉生還松井三振鈴木左翼前越本壘打を放ち木原二前山脇遊撃內野安打に出て廻口二飛失に生きたが山脇三壘に刺さる

第九回（中）二死後森下四球に出で百合中堅左安打を放つたが津田の三飛に百合封殺され津田二盜に刺さる

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
明大	1	2	0	6	10	0	1	2	A	22A
全臺中（先）	0	0	1	3	0	1	0	0	0	5

全臺中　上　洲　森　白　津　鈴　小　西　日
　　　　杉　田　下　谷　田　木　林　村　水
　　　　2　6　5　7　3　1　8　4　13

大　岩野　野　河　中　泊　赤　藤　木　山　小
　　4　6　8　2　3　3　5　7　1　9　7

明大　50　19　1　13　5　13　1

臺中　38　13　0　1　7　3　7

社會事業のため八千餘圓を投出す

陳天來氏が又も美擧

不景氣のこの際誕生祝の費用を節約して社會事業のために八千餘圓の大金を投げ出したと云ふ美擧―臺北市茶商公會長陳天來氏令息陳清波君は十一日午前十時頃北署に岩田署長を訪問し兄弟と相談の結果父の還曆祝の費用を節約したものですが社會事業のために使つて下さいとて八千三百圓の寄附を申出たが右金の中

北署管內貧民救濟　千圓
臺北市聯合青年團　五百圓
孔子廟　五百圓
大稻埕青年團　五百圓
稻江義塾　百圓
萬華慈惠院　百圓
愛々寮　百圓

で計三千三百圓に上り殘り五千圓は岩田署長に一任し社會事業費に[illegible]

岩田署長は次の如く語る

陳天來氏は昨年國防獻金として金二千圓を寄附した事もあるが深刻な不景氣のこの際又も八千圓を社會事業に投出した事は全く賞讚すべき美擧である、而かもその寄附金たるや還曆祝の費用の一端を節約したとの事であるが最近本島人有志諸氏が[illegible]大がかりな誕生祝典を廢止しそれに因つて節約し得た金で社會事業に寄附すると云ふ美風が擡頭しつつある事は喜ばしい事と思つて喜んでゐる次第である、私に一任した五千圓は陳氏の希望に副ふべく各方面の有力者と研究協議の上後に殘る樣な記念事業に使ひたいと思つてゐる

市民に對する謝恩の一端

陳淸波氏語る

右に關し陳淸波君は次の如く語る

社會事業貢獻は父の年來の希望であつたのです、實際のところ父が一代で相當な働きをなす事が出來たと云ふのも全く皆さんの御蔭に負ふところが多いのですからこの際は云はば御禮に際して年來の希望であつた社會事業に對する希望を實行したと共に市民諸君に對し謝恩の一端を果したのに過ぎないのですよ

臺北市自動車課で

車掌を募集

臺北市營バスの車掌はサービスがよくなり一般に好評を博して[illegible]るるが自動車課では一層ヨリよき車掌を求めることとなり今回新たに十四、五名を採用することとなつた、われと思はん者は臺北市營自動車課に申出でられたいと

兎狩りそつくり匪賊討伐風景（中）

戰ひを前に兵隊さんが星の話

新民にて聯合特派員

此處から茫々たる野が展開した。數日前に降つた雪は地に凍てついて、兵士の步む度にギュッギュッと快よい響きを立てる。白樺々の家屋には支那旗が所々に立つてゐる。低いものは人間と見迎へられて無氣味だ。百餘の兵士は軍の位置を敵に悟られぬやうに煙草さへ喫はずに默々として黑い塊のやうに前進して行く

◇

時々支那馬のいななきは[illegible]して若し匪賊に氣付かれはせぬかとひやひやした感じを與へた

寒氣は益々強く一寸でも停止しやうものなら足の感覺などは忽ち無くなつてしまふ。かくして午前五時四十分民家屯南方千米の三叉點に達した。また夜明けには間がある。空には文字通り一點の雲もなく、透徹鏡の如く澄渡つて美しい星が輝いてゐる。蟲もなく微風もない靜謐の夜空の美しさは內地と全く比較にならぬ

◇

將校は空を仰いで北斗星を探し出し軍の位置を確かめやうと努力してゐる。兵士の間には[illegible]星の話が擧げられた。この三叉點に於て縱々夜明けを待つて攻擊準備にとりかかつた。將校は懷中電燈をパッパッと照らして地圖を調べ始めた。兵士は[illegible]ない樣にこのぐるりを取りかこんでゐる。呼吸づまる樣なシーンだ

◇

小高い岡の頂上に一將校は腹這つて敵の方を視つめてゐる。その傍には大きい支那旗が一本すつくと立つてゐる。將校は動かない。人間と旗のシルエットは夜空にくつきりと美しい線と形を跡づけてゐる。[illegible]にもある樣な風景だ。攻擊の手配が整つた頃漸く東の空は明るくなり初めた。夜明けの寒氣は殊に甚だしく恐らくは零下二十五度以上になるだらう、兵士も[illegible]足踏みして足の感覺がなくならぬやう努力した

◇

捕虜にした支那人は手袋もなく寒さに堪へかねて「助けてくれ」と泣き始めた。頰をつたはつて流れる淚は忽ち氷點となつた。手袋もない手は氷の樣に冷たくなつて支那馬に縛された手を押し付けて暖をとり寒[illegible]防いでゐるのも哀れだ。滿洲の野に生れて始めての夜明かしはつらいものだ。毛皮の外套手袋を通して寒さはひしひしとこたへる

◇

かかる折中隊長は[illegible]中尉の率ゆる重機關銃隊を左方に、進藤少尉の率ゆる一ヶ小隊右方に配置の命令を下した。停止約一時間！六時半東天は白みかかりやがて麗かしい太陽は上つた。この雪の原野には曉を告げる鷄の聲は聞けなかつた。いかめしい兵のひげは眞白な小さいつららが朝陽にきらめいてゐるのも笑へぬナンセンスだ

◇

眠い目をこすつて前方を見れば千米の彼方に樹林に包まれた部落が見える。これが匪賊の巢窟となつてゐる民家屯だ。中隊長は各效射擊距離を確認命令を下し步兵砲は梁山の東手に陣地を占めた。この部落の六百米位の小さな丘突から朝食の炊煙が白い煙がゆるやかに上つてゐる。誰れも起きてゐる樣子もない

◇

[illegible]見れば平和な村もいざ攻擊となれば無氣味な存在だ。いつビューンと彈が來るか分らない。兵士は伏せの姿勢をとり、步兵砲、迫擊砲、曲射砲は所定の位置につき隊長の命令を待つた

天機並に御機嫌を野口知事が奉伺

【高雄電話】野口高雄州知事は十一日朝天皇陛下、皇后陛下、皇太后陛下に天機並に御機嫌奉伺の電報を發した

木間廳長出府

【馬公特電十一日發】木間廳長は豫算打合のため十一日夜高雄經由出府

四十六名を遞信部整理

異動も十一日發表

遞信部に於ては十一日付を以て決定の行政整理を發表したが整理人員は判任官二十五名、雇員より判任官となり整理されたもの八名、雇員十三名、計四十六名で判任官より高等官となるもの二名は目下手續中で近く發表の筈である、行政整理に伴ふ人事異動を同日付を以て發表した

飛行機獻納の釀金打合せ

督府の局長會議

督府の局長會議は十一日午前十一時から督府公室にて開催、木下長官、各局長、內務交通兩局長、官房各課長、西澤稅關長、三宅中研所長、[illegible]出席、[illegible]五十周年記念事業として[illegible]獻納する飛行機釀金について協議したが、

發起人　となつて募集中の[illegible]は以上の他十二名とし本島在住の官民有志からの醵金で少くとも七、八萬圓見當を進めて飛行機二臺を獻納し「臺灣號」又は「新高號」と命名[illegible]帝國陸軍に獻附するもので、官吏醵金は月俸の百分一とする筈であるが商工部との關係もあるので打合せの上決定することとなつた。尙この他は小公學校生徒や家庭の人もどんな

零細な　金でも醵出して貰ひ度い意向である、次で新民報の日刊發行及び大阪大[illegible]の號外發行の許可につき木下長官、井上局長から交々說明を試み午後零時四十分散會した

支那商船と衝突驅逐艦に損傷

修理の爲馬公に歸る

【馬公特電十一日發】驅逐艦[illegible]は九日朝支那商船に衝突、[illegible]損傷修理のため歸港した[illegible]

臺北州の社會事業講習會

十四、十五の兩日臺北州社會事業協會支部の主催で社會事業に對する一般知識を普及して將來の發達に資する目的で臺北州社會事業講習會を開催する、講師は州から中村社會事業主事、[illegible]方面委員、保護事業に關する[illegible]ものでその第一回講習會は十四、十五の兩日淡水街にて開催の豫定である

模型飛行機全島競技會

十七日臺北練兵場で

臺北高等工業學校工科會主催で第一回全島模型飛行機競技會を十七日午前九時から臺北練兵場で行はれることになつた、近年盛んに歐米各國に於て飛行されてゐる模型飛行機は距離競技に於て[illegible]非常に優秀な成績を得てをり、それだけに非常に興味ある[illegible]である、尙當日は[illegible]北村小松氏などの飛行機が出場[illegible]

參加機種は

トラクター（牽引式）單葉機とし、プロペラ一個を有するものにして「パチンコ」を許さず

慰問相撲擧行の諒解を求む

新興力士團の代表陸軍省に出頭して

【東京十一日發電通】大日本新興力士團は內地興行の幕を切るため十一日興行準備委員會を開き武藏山、綾昇、[illegible]、羽後響、和歌島、大ノ里の七力士を委員にあげ午後一時から第一回委員會を開いたが、同團は近く東京市內に事務所を置き將來外地に相撲村を新設することとなつた、尙武藏山、大の里は午前八時陸軍省に出頭滿洲派遣軍慰問相撲興行に付き諒解を求めた

慰問興行は廿三日から

【東京十一日發電通】新興力士團の旗上げ興行は滿洲派遣軍慰問のため來る二十三日より五日間靖國神社境內相撲場に擧行さるることとなつた

出羽海梶之助氏役員を辭任

【東京十一日發電通】今回の角界紛擾を惹起した西方力士は全部出羽海部屋出身であるため同部屋師匠出羽海梶之助氏は十一日協會役員を辭任した

財務局長十一日上京

【基隆電話】財務局長池田藏六氏が政府委員として議會出席のため十一日の吉野丸で出發した[illegible]

三月獨笑師けふ來臺

[illegible]

少年保護の懇談會

十二日午後七時より[illegible]

少年團指導者講習會

臺北市內の各小學校に少年團を組織することを前提としてこれが指導者として必要なる理論及び實際の研究をなすべく來る二十三日[illegible]

竹東郡聯合青年團結團式

【新竹電話】新竹州竹東郡聯合青年團結團式は十一日午後十時から竹東公學校グラウンドにて擧行した[illegible]

基隆產組總會

【基隆電話】基隆郡下各地の產業組合定期總會日割は左の通り決定

▲十二日午後一時七堵信組▲十三日午後一時[illegible]信組▲十四日午前十一時金山產販組合、同日午後一時金山信組▲十五日午後一時萬里信組[illegible]

漢文臺灣日日新報

臣節決議案提出與否
野黨對議會策未定
議會解散有無兩說

十一日東京電。現內閣總辭去果。今議會有無解散。已有出說。政府批評。未可就野黨多少辭退。十一日幹部會。「內閣須盡臣節」之決議案。欲提出而決與否。其對議會根本策。似未決定。一、信解散說者。謂不敬事件。臣節決議案。而對于中橋內相彈劾案。政府亦無答辯餘地。休會再開劈頭。想必斷行解散也。一、不信解散者。休會再開議會。不可不提出事件追加豫算案。兌換停止案等急勅令承諾案。赤字公債發行法律案。政府欲求野黨諒解。而對于不敬事件。似欲避面而透其也。總之。野黨對議會策。當于十二日幹部會。十三日院內總務會。十五日前後。俟若槻總裁歸京而決定也。

安達富田兩氏
無意組俱樂部
欲求急進派自重

十一日東京電。脫民政黨之中野氏一派急進組。于休會再開議會前。以組織俱樂部。而安達、富田兩氏。此際以無須組俱樂部。闡明旗幟之必要。頗無興趣。故對于急進派。以欲極力求其自重也云。

民政新政策
產業振興安定民生
置重實行可能者

十一日東京電。民政黨。于臨休會後之議會。發表二十日大會ノ宣言政策。已開黨之態度。過日幹部會。與起草委員。特對新政策調查研究努力。更于十二日。開起草委員會。蒐集調查材料。而新政策。爲所業振興。安定國民生活。關財政經濟。取其心欲得具體案。爲見一部至有關米專賣。蠶絲國營案者。結局置重于實行可能政策而立案。

照皇室祭祀令
不敬事件御奉告

十一日東京電。關不敬事件。近將對伊勢神宮神武天皇御陵及多摩御陵。御差遣勅使奉告。殊如于賢所。陛下出御後。果行大祭式御奉告。右以皇室祭祀令第十九條之皇室或國家大事御奉告例之御祭典。

板垣關東軍參謀
參內拜謁後
與宮相侍從長懇談

十一東京電。關東軍高級參謀板垣大佐。十一日午前十時參內。拜謁天皇陛下。退下後對一木相宮川。鈴木侍從長其他側近奉仕者。就最近滿蒙大勢及事後關東軍行動並以後之方針懇談。

韓氏以稅金充軍費
聲明與中央絕緣

十一日奉天電。山東韓復渠氏。十日對張學良氏。因東北支給軍費二十萬元未滙到。以省內稅金充之。將情電達。而聲明與中央並學良絕緣云。

德若宣言不給賠款
法必封鎖經濟

十日巴里電。法國首相賠償金不給宣言。最有利害關係之法國朝野大衝動。法國以該宣言。爲不過二十五日之賠償會議前一種示威行爲而已。此宣言。若於會議正式翻覆。則法國斷然反對之。必對于規定海牙案。及麥巷條約之德國。要求經濟的制裁無疑。然不似往年之爾爾及萊因兩陀地。占領之軍事行動也。

南京政府危如風燭
三巨頭似不出廬
各員不能安然任事

十日南京電。孫科欲逃汪兆銘。蔣介石。胡漢民三巨頭出山。故至上海。方出發時。曾向其近親。謂三氏若不出廬。則不作還南京。經有悲壯覺悟。由三巨頭不能出廬現情見之。多數孫科不歸者。南京政府運命。有如風前之燈。新任各役員。亦不能安然任事云。

匪賊來襲殺中
將校○○○
關東軍司令部發表

十一日天聯合。關東軍司令部發表。十日午後。在綏中部隊。突然受匪賊約三千名猛擊。與同地我守備隊激戰後。擊退于西方。爲是我軍將校戰死一名。士卒多少負傷云。

三內親王殿下
台臨葉山

十一日東京電。照宮、孝宮、順宮三內親王殿下。十一日午前十時五十二分東京驛發。台臨葉山。

宮崎大隊
討伐匪賊

十日新民府電。十日未明。巨流河東北方部落。馬賊約五百來襲。遂行掠奪姦行。宮崎大隊。午前七時急派其一隊討伐云。

芳澤大使
會滿州要人

十日奉天電。奉天大省長臧式毅。奉天市長趙欣伯。並于沖、袁三氏。十一日午後四時。訪芳澤大使懇談。

飛行隊
翔赴錦西

十一日奉天電。爲救援古賀○隊。奉天飛行隊。○出動錦州。錦西方面。○○發。今朝七時半。出發奉天。

大藏省
更迭發表

十一日東京電。大藏省人事異動。十一日閣議決定。發令如左。

大阪稅關長　加藤榮一郎

任銀行檢查官(三等)　專賣局部長　佐々木謙一郎

任專賣局長官(一等)　名古屋稅務監督局長　佐野正次

任專賣局部長(二等)　專賣局參事　岡雅枝

任專賣局部長　東京地方專賣局長

遞信省
人事異動

十一日東京電。十一日閣議。遞信省人事異動。決定如左。

依願免本官(各通)

廣島地方遞信局長　富澤充

藤山儀一郎

郵務局長東務局長　山本直太郎

任郵務局長(一等)　廣島遞信局長

任簡易保險局長(二等)

任郵務局長(二等)　大阪遞信局長　久楚波

香西俊雄

南前陸相拜謁
參謀總長宮殿下
就對滿策具申

十一東京電。由滿蒙視察歸京南前陸相。十一日午前十時半。登參謀本部。拜謁閑院宮殿下。奉報視察結果。而就其後對滿政策諸項。具申意見。午後二時半。會見荒木陸相。同三時五十分。于非公式軍事參議會。爲同樣報告。

在滿各總領事等
與芳澤大使會于奉天
對滿重要政策協議

十日奉天電。森島奉天總領事代理。森岡奉天領事。石射吉林總領事。岡田間島總領事。米澤安東、荒川牛莊。田代長春各領事。山崎遼陽副領事等。南滿各地領事。于十日午後三時。在奉天總領事館。協議今後滿蒙對策。及近將來滿之聯盟調查委員之準備事宜。同五時起。芳澤大使亦參加。前後三時間。作重要協議云。

時　評

○木期議會。不日再開。關於解散行不行。說者區々不一。爲政府計。固不得不。然爲國步艱難之大局計。究竟如何。

○美國引不戰條約。通牒本邦。當路者怎解釋。決定回答。美國此舉。有關大局。一般國民。不能無所聚於懷也。

○南京政府。改組多日。而蔣汪胡三巨頭。猶復觀望不出。有謂拉往勸之孫氏似亦不歸。以下僚屬。無非可辨。甚之爲風前燈。豈虛許乎。

○福建省政府主席。現任者道遇遇上。而爭之者有數派。奸人乘機覬覦。省內秩序。乏人維持。欲改治安。不可得矣。

○植民地長官頻易。植民地所適滿。非新之元老僱臣上下兩院各派領袖。不易得力焉。

○臺北州協議會省行委員。關此間。前訪木下長官陳情長官反有迷惑之語。吾人亦然之。諸委員省行止此耶。其不知此耶。如或徒此敷衍。不上京運動。宗旨雖佳。手段不擇究成一種社交辭令。貽笑大衆已耳。

○全島各地產業組合。昨今漸開總會。告各從前之失册而演出醜態。眞爲產業副業振興之機關。使組合員。及一般地方民。增進福利。實識者所渴望也。

關御警衛方針
研究改正新形式
閣議令森書記官研究

十一日東京電。十一日閣議。午前十時。開于首相官邸。除高橋藏相。各閣僚出席。關不敬事件責任者懲戒處分。中橋內相開陳意見。各閣僚同。要言勿再起斯種不敬事件。而尚其手段方法。意見交換後。對御警衛方針。廢止從來形式。以樂實精爲主。研究。意見一致。決令森書記官長研究。次由荒木陸相。報告錦西事件。決定當面政務。十一時四十五分散會。

中之島市場
蓬萊米價

十一日蓬萊米三等。價七圓七十八錢。

內臺正値米山時代
跌後反騰已一段落
蓬萊當限交米充足

政局安定後。株式絲綿諸大宗商品反騰已一段落。期米大阪先限二十五圓臺復活。現値米山時代。高價不能安心買。去九日高價只二十五圓十錢。十一日早頭節九錢。後場節々低落。十節二十四圓七十六錢。六場二節七十一錢。突破七日前場旅價之二十四圓七十六錢。內地各都市。在米豐富。蓋前途高貴之人氣濃厚。識穀待價者不乏人。一限多準備交米。故月末料必一番低跌。臺北蓬萊。當限七圓十錢。迨午後一時頃。已落至零五六錢。圓糯當限九圓六十錢。中限九圓八十錢台。觀十日場外蓬萊。落十數錢。圓糯落二三十錢。一面中北部到着米日增。其降在庫兩種。各有七萬袋內外。圓糯諸地所存。雖僅二十萬袋。蓬萊則尚有百三十萬袋。除島內消費四十萬袋外。尚有九十萬袋可以移出。據曆年四告道。農家見最近米價絕頂期已過。咸欲急糶。當限納貨。只在一週間後。當賣職已入佳境期云。

太田總督
南下視察
十三日歸府

太田總督。十一日午前八時半。帶同小林秘書官。石川理蕃課長。佐藤警視前往鵝鑾鼻其他視察。是日午後四時十八分抵高雄驛。驅自動車直至壽山。投宿壽山館。翌朝八時二十八分列車出發。九時四十五分抵潮州驛。再乘自動車進恆春。視察鵝鑾鼻燈臺。捕鯨場。無線電信所。種畜場等。然後投宿四重溪。十三日午前八時半出四重溪。由上會出品優良甘蔗園。次觀老牌鳳梨栽培會社狀況。次經屏東。午後三時四十四分。由歸高雄。再入壽山館。于是夜列車歸北。高雄州知野口知事。本田警務部長。河津文書課長等隨行。

新竹郡各庄
協議會期日

新竹郡各庄。本年度歲出入豫算。案庄稅賦課標準。諮問等項。訂左開日月。開通常協議會。十四日紅毛庄。十六日六家庄。十六日舊港庄。十八日香山庄。二十一日湖口庄。二十七日新埔庄。二十八日關西庄。

本島商業二重打擊
滿洲事件又遭銀貴

▲藥商不利　本島銷售中國漢藥。一年間約有五百萬圓。自兩年來銀水跌落。貿易額已降爲三百萬圓內外。九月十八日滿洲事變以來。上海漢藥已不入口。惟香港厦門方面。自十月末始到。故歸苦荇地參苓、木草諸八珍類藥品。已昂二三成。迨十二月十三日。金再禁止。對岸銀塊驟昂。各地約起三分一以上。稻江藥郊。如乾元捷茂兩號之現金交易以外。大部分多以舊年末償還。故欠賬愈多。即損失差額愈甚也。

▲福杉不來　昨年夏秋福杉消廉時。凡四寸尺一丈二尺者。一枝一圓內外。其價雖賤。無如農村不況。銷路大減。九月十八日日華事變以來。福杉已不配到。杉行所有殘貨。則受日本杉之壓迫。買賣稀微。蓋日本杉一才只五錢。凡四寸四方。長一丈二尺者。算爲十六才。一枝只兌八十錢。視福杉低廉三四成。販福杉者。遭此二重打擊。商況已不堪設想云。

福州水戸夫妻葬儀
督府派赤堀學務課長會葬

既報在福州被慘殺之水戸訓導夫妻葬儀。訂來十三日。以民會葬。盛大舉行。督府派赤堀學務課長。代長官及教育會長。遠々參列。該課長。去十一日。乘便船與遺族。赴福州也云。

高雄市豫算
比前多萬餘
助設信組

高雄市昭和七年度歲入出豫算案。總額約五十一萬九千三十圓。較前年度增一萬一千七百二十九圓。新規事業。爲助染傳染病院費。設置田町消費市場。補助設立中小商工業者之金融機關。信川組合等云。

屏東郡蕃地
開鑿道路
豫定二月末竣工

高雄州下旗山郡北林。至屏東郡下濁水溪。延長互十四里餘之蕃地開鑿道路。其後依據柰隊員活動。漸々進步。工程屏東一邊七里六丁。旗山一邊二里八丁。豫定二月末竣功。又隊員留病者。衛生住下。元氣旺ゝ云。

圖書館週間行事
開修理法講習會

全島圖書館週間行事之簡易圖書修理法講習會。由臺北州教育會主開。去十日上午九時。開於臺北市建成小學校講堂。由中圖書館長開席。首由州教育會副會長那須州教育課長述開會辭。次有臺灣圖書館協會幹事長山中館長講話。次有修理法講師飯川英次氏致辭。然後移入講習。講習生。與校職員三十名。官公吏九名。圖書館員十一名。青年團員三名。合計五十三名。講習至十一日告終。十三十四兩日間。在臺中。十七十八兩日。在臺南開會云。

藺草不易售
得一萬圓
暫行救濟

新竹州藺草原料。爲世界不況。及受不景氣。排日貨影響。發見不易。當其除採取期。警察協會支部赤顏苦痛甚。於是鈴木警務部長。出府。與警務局交涉。得買收資金一萬圓。本年分得以救濟。現尚多究務來對策云。

中埔庄大埔
開墾耕地
四千百餘甲

嘉義郡中埔庄大埔方面。元爲番人住地。吳鳳公沒後。番情歸化。然附近有高山峻嶺。洋腸屈曲。不便於交通。現尚屬爲荒蕪。臺南州當局。爲產業振興。決定自昭和七年度起。作五個年繼續事業。開拓耕地四千一百七十甲。初年移住內臺人各若干名。內地人選擇本島退官者中。決意久居臺灣。而有希望業農。內地人耕地。一戶二十甲。島人五甲。補助家屋建築費一成五分。開墾費補助。甲當二十圓。其他道路。灌漑。排水施設補助五十圓。以上合計平均一戶補助一百八十圓。州下總經費。七千二百三十六圓云。

內地柑價慘落
移出業者不欲移出
移出品販路求諸島內

員林樁柑。初料減收四成。最近調查。以已移出內地之百五十萬顆。合蒲鮮行及島內消。並在庫品等。總計比當時所料。更減無對。然遂不景氣。柑價慘落。內地行情。現比島內更廉。一般移出業者。不敢移出。目下或將移出百餘萬顆。求售島內各地。亦未可知云。

羅東出張所
舉上棟式

既報羅東郡渙三郡下。多年懸案之地方法院羅東出張所。各年十二月。由羅東街須之內請負業者。以工事費八千餘圓。着手工事。而去九日午後三時。宜蘭太田判官。並邀招郡守、各街庄長等。多數列席。在羅東郡役所前。舉上棟式。又該出張所。豫定二月末日竣功。據一般觀測。大概四月一日起。得以開辦事務云。

修造興工
三層行溪橋

臺南高雄兩州境界。二層行溪橋梁。自去年流失以來。尚未修復。今回爲國庫事業。六七兩年度施行。臺南州於補修處。除去在水面下障礙物。去八日已清楚。其修橋梁。入札包辦。落于大野組手。本月下旬。豫定著手工事云。

宣傳趣味
講演與無電
第一日

第一回全島圖書館週間第一日。業自十一日始。臺北總督府圖書館。是早有市內小公學校生徒參觀。兒童室熱鬧。一般室。有多數讀者。靜閱圖書館週間第一日之頁。又臺北。十一日午後七時起。在鐵道旅館餘興場。開講演。演題如左。

▲圖書館之文化的價値　臺北帝大總長文學博士　幣原坦氏

▲日本關係之史料。訪之西歐　東京商大教授文學士　幸田成友氏

又午後七時二十五分。帝國圖書館長松本喜一氏。及總督府圖書館長山中氏之講演。以無線電放送。藉以宣傳圖書館趣味云。

東石檢牛日程

臺南州農會東石支會。定左記日程。檢查郡下各街庄貨付種牡牛飼養狀況。一月十三日午前十時。發竹庄役場及鹿草庄役場。十四日布袋庄役場。及太保庄役場。十五日港墘派出所。及六腳庄役場。同午後一時。朴子街役場。

臺中
始觀兵式

臺中分屯大隊依恒例。於去八日午前九時。在營庭舉觀兵式。大隊長閱兵畢。次分列。伊黑與以一場訓示。九時二十分閉式。有太田知事。暨官紳多數。

米界買派疲于奔命
賣派出動價已跌落
堂島前場雜觀

十一日大阪電。今朝株式強硬。立會時人氣頗好。然値米山時代。正米不甚好價。高價買者不能相繼。反之。賣物速行出現。東京又旅。被中東方面田中眞岡山播磨等賣米壓迫。遂破五圓次。然人氣以近將發表之昭和六年米穀年度實收。鮮米減八十萬石內外。內地米強氣按減百五十萬石乃至二百萬石。軟派按、三二十萬石乃至五十萬石減少。殊如米勢米價。有加乎三成風說。買方相當潛在。然強氣已有疲於奔命之概。反之。弱氣則謂實收減少。價既相當高騰。及出而賣之。於行情已多波瀾性也。

相苗接木
巡廻講習日程

州農會竹郡支會。爲指導柑苗接木方法。特派杜連兩囑託以外二名。爲講師。不各處柑苗園。開柑苗接木之指導巡回講習。即十三日關西庄陳保昌柑園。十四日新埔庄新埔劉阿源柑園。二十六及二十七兩日。同庄五分埔吳阿元柑園。來三十及三十一兩日。

新竹州
防火宣傳

新竹州警務部。爲防火並交通宣傳。十一日在中壢。多其人云。

社頭信組金庫僅存一圓餘
不能應庄役場及一般支取
役場莫給賞金辛金

員林郡社頭庄役場庄費總剩餘金一萬餘圓。存於社頭與信川組合。該組合庄長之叉蕭福氏所長之。昨年來。不正貸出。陷于破產。在金庫總保管金。僅一圓八十錢。對該庄役場。及一般預金者。支取不應。於是該庄役場。對諸吏員。年末賞與。及該月辛金。不能支給。又該信組役職員賞與及辛金亦皆停支云。

十二日在桃園。十四日在竹南。十五日竹東。十六日在苗栗。十七日在大湖。十九日在大溪。巡廻映寫活動寫眞。影片有魔炎四卷。愛鄉土婦二卷。乳兒之大敵二卷。其他七卷云。

潮州番社失火

潮州郡番社。去十日拂曉失火。僅燒失二棟。人畜皆無事。損害極少云。

基隆郡落盤兩則
三名即死
一名負傷

基隆郡瑞芳庄水湳洞人。高盆明。年十三。同黃天生。年二十四。同王良等。年二十八。三名。去十日下午八時十五分。在金瓜石礦山。長仁坑內二千八百尺處。作業中。忽然落盤。三名皆壓死。又北降郡萬里庄中萬里加投子細吼人雜夫。林萬富。年二十八。同日下午九時頃。在基降炭坑內。亦被落盤重傷。全治須四週間云。

謝家祝嘏

來十五日。謝尚熊君兄弟等。欲內祝其令人謝汝銓氏。還曆榮壽。聞因國家多難。請從簡單。偏以氏所著全府揚詩草。分贈吟侶。暨新誌翰墨因緣。而交遊甚廣。朋儕許堂稱觴者定多。其人云。

野球比試

來臺中之明大野球部新人一行。去九日午後二時。在臺中水源地。與全臺中野球團。比試野球。觀覽者頗多。結局以二十五對三。歸臺中軍慘敗。

地瓜霜害

臺中地方。近日間常低寒。溫度示六十左右度。栽在山園之蕃薯。有幾分被霜害云。

此力詩以贈之

末世人心道義輕。許多邪說更橫行。觀潮門下升尚足。風訪能教見至情。

大甲林少生五十初度　瑤韻　粘漱雲

旋轉双輪挾似梭。頻年愁緒漸胸多。此生知我才偏短。作客衡門慧已磨。殘步迷蹤魂易斷。光風雲起夜難過。或求嘆息何曾論。一種何妨泛綠波。

不管人情有是非。知吾趨附與相違。忽開樺帳施甘雨。更種黃花傑夕暉。[illegible]懷免俗。從游山水興忘歸。[illegible]誰能手。[illegible]名比陸機。

◎

匡時無力感頻興。半計維持苦日增。消遣情懷資酒酒。[illegible]通識見伏良朋。每嗟來轉[illegible]中鳥。轉恨食[illegible]一蠅。惆悵光陰同逝水。風塵老我命偏僧。

英美滙水　九日

英美電信　三弗四〇仙

金塊行情　九日

上海金塊　六九八兩

銀塊行情　十一日

倫敦現物　一九片八分七

同　先物　一九片一六分二五

紐育現物　三〇仙一五

同　先物　三一仙八〇

對外滙水　十一日午前十一時

入込現物　六八四五五

同　先物　六九四五

倫敦電信　二志〇片八分一

紐育同　三四弗四分一

孟買同　一三〇留比

新嘉坡同　一一八四

爪哇同　九三圓四分一

馬尼剌同　一四五圓

上海(參考)　七五圓四分三

漢口參考價　八九兩

福州同　七六圓四分三

廈門同　七六圓四分一

汕頭同　七六圓四分一

香港同　七七圓四分一

廣東同　七七圓四分一

詩壇

關渡先生令媳周播人及其子相繼去世。門生林清敦氏爲襄理諸事

漢文臺日案內

旅館

內地人經營　復旦旅館　[illegible]

雜件

婦人之友　大和屋　[illegible]

鷹牌煉乳

煉乳之王

美國出品

各處均有出售

莫購劣貨

佳

臺灣日日新報　夕刊　一月十一日

夕刊一部[illegible]

發行兼編輯人 [illegible]
發行所 臺北市榮町四丁目三十二番地 臺灣日日新報社
臺南支局　臺中支局　高雄支局　花蓮港支局
大阪支局 大阪市[illegible]
東京支局 東京市[illegible]

錦西で兵匪五千が夜襲

古賀聯隊長遂に戰死

將校以下の戰死十九名

【奉天十日發電通至急報】確實な筋への入電に依れば錦西（錦州の西南十五里）地方の兵匪討伐に向つた騎兵〇〇聯隊は九日夜半錦西で兵匪五千に包圍攻撃され聯隊長古賀傳太郎中佐以下將校四名戰死し下士兵十五名戰死、負傷二十名を出し聯隊の消息全く不明となつた

奮然敵中に斬り込む

古賀聯隊長部下將兵と共に

悲壯な最期を遂ぐ

【大連十日發電通】五千の兵匪に包圍された古賀聯隊長は悲壯な決意を爲し部下將校以下と敵中に斬り込み戰死を遂げたものであると

陸軍省著公報

【東京十一日發電通至急報】陸軍省著電 一、九日錦西西方地區に於いて我騎兵聯隊は約三千の匪徒と交戰し古賀中佐以下將校四名下士兵十五名戰死負傷二十名ありとの報告あり目下詳細調査中 一、同日步兵一部隊は錦州出發錦西に向ひ匪徒の妨害を受けたるも日沒までには到著する筈又更に一部隊を引續き增投せりと

聯隊本部に居たのは約一箇中隊

【奉天十日發電通】戰死せる古賀聯隊長は第〇師團の命令で二日奉天出發、三日錦州に入城、附近の匪を掃蕩し九日錦西方面の兵匪討伐に向ひ、九日夜は錦西附近に分宿してゐたものであるが、兵匪の夜襲を受けた時は聯隊本部に約一箇中隊居たのみである

飛行隊も討伐に出動

奉天からは兵百名急派

【奉天十日發電通】騎兵〇〇聯隊全滅の報に錦州飛行隊は十日午後二時編隊を爲し匪賊討伐に向つた

【奉天十日發電通】錦西の兵匪殲滅の爲奉天からも約百名の兵が十日夜發錦州方面に急行した

室師團は各部隊とも苦戰

何れも兵匪の逆襲を受けて

【錦州十日發電通】十日朝來錦西北方に向つて一齊匪賊討伐を開始せる室〇師團の各部隊は錦州北方及び錦西、綏中附近に於て何れも兵匪の逆襲を受け各部隊共苦戰中である尙ほ錦西の兵匪は非常に優勢で錦州奪回を策し居たるものの如し

獨立守備隊に出動命令

【奉天十日發聯合】獨立守備隊〇〇部に出動命令下り奉天驛に十三輛の列車が用意された

軍司令部緊張し

兵匪殲滅を嚴命

室師團長に對して

【奉天十日發電通】古賀騎兵聯隊全滅の報に軍司令部は極度に緊張し本庄司令官は室師團長に全力を擧げて兵匪を殲滅せよと命じた

各地の匪賊討伐

十日一齊に開始

室師團長の命令一下

【錦州十日發電通】北寧線から退却した兵匪の集團は新立屯、北鎭、北票、錦西各地に於て夫々兵力を集中し機を見て北寧沿線襲撃の企圖あるより室師團長は麾下の依田、鈴村、村井各〇隊に對し討伐命令を下し綏中駐屯の依田〇隊は錦西に向つて錦州の鈴村〇隊は北票に向つて溝帮子の村井〇隊は北鎭に向かつて又其の一部は打虎山より新立屯に向かつて附近一帶の匪賊を討伐する爲め十日朝來一齊に進撃を開始した

板垣參謀と會見

【東京十一日發電通】森書記官長は十一日午後三時東京倶樂部で板垣高級參謀と會見、滿洲事情を詳細に聽取政府の方針に付き種々打合せた

戰死した將校

【奉天十日發電通】錦西方面で全滅せる騎兵〇〇聯隊の戰死將校左の如し

騎兵中佐聯隊長 古賀傳太郎　騎兵大尉 米井三郎
騎兵中尉 野口茂三、同 石野秋藏

古賀聯隊長は

僕の同期生

惜しい勇士を失つた

仁禮聯隊長語る

錦西附近で匪賊五千の逆襲を受け壯烈な戰死をとげた〇〇師團第〇〇聯隊長古賀中佐は士官學校第十五期生で同窓には姿西關係者中金子滿洲警備司令官、木谷馬公重砲兵大隊長、仁禮第一聯隊長等があるが、悲報を齎らし、第一聯隊將校集會所に仁禮大佐を訪へば悵然として同大佐は語る

今、悲報を得て驚いてゐる〇〇聯隊は步兵聯隊とちがつて部隊も少いし、眞夜の如き兵匪に包圍されては、如何ともする術がなかつたのだらうと思ふ、古賀は士官學校時代の同期生だが、別れてからもう三十年近くもなり、最近の消息も聞かないが、たしか佐賀の出身、大變元氣な又責任感の強い男だつた、武人のつねとはいへ、まことに惜しい勇士を喪つたものだ

朝日丸より（來航）

門司發後好天氣にて風波なく海鏡の如し十二日午後一時港外著の豫定、恒任頂男、加藤直太郎、須藤金作、其他入營兵三百九十一名乘船（十一日無線電信受信）

綏中にも匪賊襲來

將校二名戰死一名負傷

【奉天十一日發聯合】關東軍司令部發表十日午後在綏中部隊は突如約三千の匪賊に襲撃を受けた、詳細不明なるも將校戰死二名、負傷一名を出した模樣である

佛國、獨逸に對して

或は經濟封鎖か

ローザンヌ會議に於ても

賠償不拂ひを宣言すれば

【パリ十日發電通】ブリューニング首相の賠償金不拂の宣言は最も利害關係を有するフランス朝野に大センセーションを惹起しつつあるが、フランス側は右宣言は二十五日のローザンヌ賠償會議を前にしての單なる示威行爲にすぎまいと解してゐる、然しながら右宣言がローザンヌ會議で正式に繰返されるやうな事があればフランスは斷然たる態度をもつて之に反對しヤング案及びヴエルサイユ條約に規定されてゐるドイツに對する經濟的制裁斷行を要求することは間違ひないと見られてゐる然し往年のルール及びラインランド地方占領の如き軍事行動に出る事はあるまいと觀測されてゐる

マック首相

聲明を發す」

賠償金不拂問題で

【ロンドン十日發聯合】マック首相はブリューニング氏の賠償金不拂聲明に關しサイモン外相、チエンバレン藏相と時餘に亙り協議の結果左の聲明をなした

ブリューニング氏の聲明は來るべきローザンヌ會議を從來にも增して重要なものとした、事態をあるがままに放置することは不可能だ、而して現下の情勢は國際諸協定に由來するものなるが故にこれを處理せんがためには國際會議の召集が是非とも必要である

その日その日

〇 錦西へ遠く出動してゐた部隊が兵匪に襲はれ聯隊長以下全滅、最近の痛恨事だ

〇 弱い相手でも不意に多數が襲來しては大變、この危險には充分注意したいもの

〇 滿洲を安住の地とするには馬賊兵匪の一掃が急で滿洲新政權も此義務を負擔すべきだ

〇 米國の九ケ國條約持ぎ出しに他の諸國は幾分氣乘り薄、獨り支那だけが有頂天

〇 米國を動かして日本に干渉させ樣などとする事が却つて如何に日本人を反撥させるかを支那は考へない

〇 陸相、御詫の程をかしこんで固い決心をする「賭けられた命」なんかといふも如何さま荒木式

〇 獨逸が愈々赤裸々になつて、獨逸の賠償以外、政治的の債務支拂ひは到底できぬと本音を吐く

〇 歐洲の事情これより大波瀾を見ずには濟むまい、世界益々多事

〇 大不敬事件につき一般臣民も謹愼してゐるとか、さうなくてはならぬこと

〇 [illegible]を明くしたといふ者がある。同じ部屋の中へ新聞で[illegible]をつけ明るいもないもんだ

人事

▲入佐台灣貯金部長　十一日內地へ
▲中村根作山氏（福州領事館長）[illegible]
▲十一日出帆の大球丸にて赴任
▲平山知事 總督府殖産局長に付奧田殖務部長と共に十一日朝桃園まで見送りをなした
▲秋山孝之輔氏（新高銀行常務） 十二日彰化より來北の筈
▲鹽澤貞二氏（臺灣商工會社監査役） 八日來北
▲小笠原貞雄氏（新高製糖工場長） 十一日來北（[illegible]）

怪女　(58)

今井泰三作
京極佳夕畫

私は「おや」と思ひました。眞ぐに岡田の眼が緊張されました。而をもたげて足の方から紙めの方向になつてゐるその方を見ますと、そこの英子が腰掛けてゐる所から少し離れて岡田が立つてゐます。無造作な五分刈頭に鼻下に髭をたくはへてゐます。太り過ぎてゐる方ではありませんが肉附きは好く、赤黑い、軍人のやうな血色の好い顏です。下顎れの混ましい顏が、背年らしい感じでした。さつきは彼の姿は見えなかつたのですが、內部の役所の方で仕事を了へて、今しがた倶樂部に廻つて來たところらしいのです。

「なにがあんまりだね？」

男にしては少し甲の高い、それでゐてさらつくやうな持ち前の聲で岡田は言ひました。英子を取り捲いた連中は、ひつそりと默りを鎮めてゐました。

英子の奴、たうとう他に無理難題で始めたのだな、と私は思ひました。

「あんまりぢやありませんか。私を欺して連れて行つて、あんな恥をしかけるなんて隨分非紳士的ぢやありませんか」

「あんな恥つてどんな事だ？言つてごらん」

「それを言はれては困るでせう。わたしは困つたつて構はないわ。わたしはけふは何もかも發表する積りで來たんですから……」

パチリと碁石を置く音がしました。室を縱貫した卓子の一方に寄せて、碁盤が置いてあるのです。そこで二人の倶樂部員が勝負を爭うてゐたのですが、その石をおろす音がハッキリと響くほど、室內は靜寂を呈してゐたものでした。英子を取巻く者も取り巻かない者も豫期もしなかつた餘興が始まりさうなので、どれもこれも聞耳を立ててゐました。

私はそんな風に進展して行く二人の風評を、一種くすぐつたいやう危懼ないやうな氣持で、默つて天井を睨ぎながら聽いてゐました。

岡田が眞ぐに感じて何かを言ふかと思つたら、否へに詰まつたのか、それとも故意にさうしたのか、返事がなかつたので、ちよいとの間あひだ氣まづい沈默がありました。と、また英子の聲でした。

「成程あなたはおつしやつた通り御馳走して下さいましたわ。お覺えてますわ、ケチャップポークとロールキャベツとそれからハヤシライスでしたわ。わざ〱わたしの爲めに洋食屋からとつて下さいましたわね。それはわたし感謝しますが、しかし……」

「フ、、」

笑ひ出す聲がはたから起つて來ました。押し殺したやうな笑ひでしたが、それが既上りに大きくなりました。そしてほかの幾つもの笑ひを誘つて、一つになつたものが一大哄笑にまでなりました。

私は岡田が窮めて收まらなくなりました。そして仰向いたままの姿勢で、英子の方には眼をやらず聲だけを彼女に送りました。

「英子さん、止したら何うです。くれ〲も止めたらぢやありませんか」

しかし英子の冷い聲が返つて來ました。

「ええ、あなたの氣持はわかつてゐます。でもあの侮辱をわたしは何うしても忘れることができないんですから……」

私は重ねては言ひませんでした。勝手にしろ！さういふ氣持でした。

「岡田、何とか言へよ」

傍聽者の聲です。

「フフン、言はして置くさ」

「言ふなつたつて言ひますわよ。でもそのお料理、わざ〱とつて下すつた御馳走と思へば感謝も出來ますが、或る意味をもつた御[illegible]だつたとすれば、わたしお禮を言ふ氣にはなれませんのよ」

たんせき
ぜんそく

權威藥龍角散

さむさが激しくなるに連れ、呼吸器疾患の諸病が猖獗を極めて來ます。其れに伴ふたんせき・ぜんそくの病ひは、たんせき夫れ自體でも健康を損傷しますけれど、最も恐ふべきは、肺炎、肋膜炎、肺結核に變症する事であります。それ故、たんせきの病氣だけは、根底から治療しなければなりません。完全に治療するには、申迄もなく迅速に服藥する事でありまして、一店一藥の研究を遂げて、斯界の權威藥と云はれてゐる「龍角散」の服用こそ最も適當な處置と斷乎として確信する次第であります。

登錄商標

龍角散

・龍角散の適應容體書
（喀痰）／たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
（喘息）／ぜんそくにてゼイゼイ息切する人
（頻咳）／せき頻に出て夜中オチオチ眠兼る人
（流感）／流行感冒より起るたんせきの人
（肺病）／肺病にて常に力なきせき出づる人
（血痰）／たん臭氣を帶び時々血の交る人
（音聲）／音聲のかれ又は咽喉の痛む人
（老人）／老人又は病人の虚勞性より出るせき
（小兒）／百日せき又はしかせきの小兒
其他如何ほど慢性頑固の呼吸器疾患のたんせきも、凡そ二週間つゞけて服用されば其效驗が顯はれ、[illegible]

本舗 東京市神田區豐島町
藤井得三郎

副作用なく　效果迅速　服用簡便

定價
二日分 二十錢
四日分 三十錢
八日分 五十錢
十八日分 一圓
四十日分 二圓
六十五日分 二圓

▽全國藥店にあり△

47-6

野黨の質問を許して
留任理由を徹底させる
解散前緊急勅令案、軍事費の協贊を得
休會明に臨む政府の作戰

【東京十日發電通】櫻田門事件に伴ふ、犬養內閣の留任は休會明け議會における野黨に好材料を與へたので前田商相は十日午後零時五十分官邸に犬養首相を訪問して對策を協議し一時二十分辭去したが政府の休會明け議會對策として考慮してゐる所は左の如くである

議會解散は避け難しとするも首相の施政方針、外相、藏相の演說直後反對黨の口を封じてまで行ふ必要はない、即ち右理由として一先づ民政黨に事件に關する質問を許し留任理由を明確に徹底せしめる

一、議會解散前に金輸出再禁止に伴ふ兌換停止緊急勅令事後承諾案の可決を求めたい

一、軍事費支出も解散に先立ち協贊を得たい

といふにある

臣節決議案を提出して
野黨は積極的に戰ふか
對議會策氣迷ひ氣味

【東京十一日發電通】現內閣が居据はつた結果今議會の解散は實現性が多くなつたとの說と反對に之が可能性乏しくなつたとの兩說が行はれるに至り、爲めに政府の態度が見透されないので、野黨としては多少氣迷ひ（氣味であり、延）いて十一日の幹部會にかても「內閣は臣節を全ふすべし」との決議案を提出して積極的に戰ふか否かの對議會根本策に就ては極まるに至らぬ模樣である、即ち

一、解散說を信ずるものは不敬事件に關する臣節決議案、小橋內相の彈劾案に對しては內閣としては全く答辯の餘地なきため休會明け劈頭解散を斷行せんと見る

一、解散を信ぜぬものは休會明議會には東北凶作追加豫算案、兌換停止緊急勅令事後承諾案、赤字公債發行法律案を提出せねばならぬ關係あり、政府は野黨の諒解を求めて不急事件に對しては頰被りで切拔けんと見てゐる

何れにしても野黨の對議會策は十一日の幹部會十三日の院內總務會更に十五日前後若槻總裁の歸京を待つて決定することとならう

匪賊打虎山へ來襲
我軍隊二時間で擊退
波藤中尉戰死死傷六名を出す

【奉天十日發電通】軍司令部發表、九日午前零時十分頃より匪賊二、三百名打虎山を襲ひ打虎山部隊は交戰約二時間にして之を擊退した、我損害は戰死步兵中尉波藤正雄、一等軍醫栗本文亨、負傷准士官一名、兵一名、傭人一名にして敵は義勇軍第三旅に屬し匪賊と正規兵と混合せるものにして遺棄せる死體相當あり

軍司令部發表

【奉天十日發電通】軍司令部發表、十日朝滿鐵線孟家屯驛西南支那部落に砲、機關銃を持てる匪賊百五十餘襲來し孟家屯から柳原部隊と警官隊出動し激戰一時間後敵數名を射殺し九時半引き返せり

鐵道破壞され軍用列車脫線
打虎山部隊卅八名を捕虜とす

【奉天十日發電通】打虎山を襲擊した匪賊は機關銃を有する有力部隊で、胡家窩棚西五の鐵路を破壞せる爲め我臨時軍用列車は午前一時胡家窩棚東北六粁の地點で脫線した

打虎山部隊の一ケ小隊は匪賊を二道子、三姿子方面より包圍的隊形を以つて討伐に向ひ賊は死體十四を遺棄して逃走した、我軍は敵三十八名を捕虜とした

打虎山方面の通信杜絕す
同地の安否氣遣はる

【新民府十一日發電】打虎山方面の通信は全く杜絕し其の後の情報來らず同地の安否氣遣はる

新民府內も極度に緊張

【新民府十日發電通】新民府附近の兵匪の跳梁に鑑み十日夕一部隊を警備の爲め奉山鐵路奉天山海關間沿線に急派し新民府內は嚴重警戒を爲し極度に緊張してゐる

本庄司令官から謝電と書狀

一月一日の新年交歡會において臺北市民を代表し皇軍に慰問電報を發したところ臺北市役所に對し「謹に新年の祝電を感謝す」との謝辭あり更に本庄司令官から今次關東軍の行動に對し各位より多大の御後援と御同情とを辱うし衷心感激に堪へず目下全軍は士氣極めて旺盛にして益々勞力任務に向つて邁進し奉公の至誠を完うせんことを期しあり竝に謹て謝意を表すとの書面を寄せて來た、又關東廳警察官に對する慰問の辭に對し關東廳長官からも謝辭があつた

預かつた一萬餘圓
拂出不能となる
社頭信組破綻に瀕し
預けた庄役場では給料不拂

臺中州員林郡社頭庄役場では庄費の總額金一萬餘圓を庄長の實父蕭氏が組合長をして居る社頭興業信用組合に預金して居たが昨年來の同組合における不當貸出問題から全く破綻の有樣となり組合金庫內の總保管金僅か金一圓八十錢と云ふ狀態で一般の貯金者に對して拂出が出來なくなつた爲め同組合の役場[illegible]新庄役場の職員に昨年年末賞與金及[illegible]月よりの俸給が支拂へぬので一大センセイションを起して居る

來臺した有島生馬氏（右は來臺中の小澤秋成畫伯 陳清汾氏宅にて）

羊二頭を屠り
酒宴を張る
脫退した西方力士
新スタートを切る

【東京十日發電通】脫退力士を叩きつけて春秋園に引揚げた新興力士團は九日午後十一時半から一同今後の結束を誓ひ萬歲を三唱した後庭園に急造された宴會場で羊二頭を屠り酒宴を張つて新らしきスタートを祝し深更まで氣勢をあげたが今後の方針に就いては角道の政策を期する爲め大綱の方針を決定した

【東京十一日發電通】脫退力士團は大日本新興力士團と稱することに決定したが十日發表された西方力士團新團體の方針竝に規定の大要は左の如きものである

一、組織　現力士團を以て民法上の組合組織となす

二、統制　本部員（大ノ里、武藏山、天龍、山錦の四名）を最高幹部とし組合を統制す

三、名稱　大日本新興力士團

四、職員　部署を分つて組合員中より之に當て別に總支配人（マネジャー）一名、書記四名、雇人三名を置き競技のため審判員五名、呼出二名、アナウンサー一名、床山二名を置く

五、競技人員　A・B・Cの三クラスに別ち A八十名、B十名、C十二名とし順位は本年一月五日發表の協會番附順に依る

六、競技方法

一、一年を二期に分ち年二回選手權爭奪戰（從來の本場所に相當）を興行し、勝負は各クラスとも總當りの一番勝負に依つて勝拔きの最高點者を次期の選手權保持者とす

一、二位より五位までを次期の選手權挑戰有資格者とす

一、有資格者の挑戰に依り臨時選手權挑戰試合を行ひ、勝者は次期における事後の選手權保持者とす（選手權保持者が敗けたる場合は一回だけ再挑戰を申込むことを得）

一、土俵入弓取は廢止し選手入場式を行ひ化粧廻しを廢止す

一、審判は主審一名、副審二名とし勝敗は主審の判定に依る物言ひは副主審協議に依り多數決に依り決す

一、興行は總てアナウンサーをして觀客に報告せしむ

一、競技場、靖國神社境內、神宮競技場、日比谷公會堂等を借り受け屋內及び溫暖期は夜間冬期の屋外競技は晝間興行とす

一、入場料、指定席は相當額とし其他は一圓乃至五十錢とす

一、地方巡業は招聘ある時に限り原則として行はず相撲常設場を開設して後進の養成に力め學校其他のコーチをも行ふ

一、組合員には生活を保障するに足る固定給を給し、役員者には退職料を與へ、引退者にはコーチャとして生活の保障をなし財政其他確立の上は養老金の規程を定む

一、收支決算は半期毎に計理士に依り公表す、興行は一月年內五回以上

而して差當りの資金は後援者より支出し來る二十三日頃第一回の旗揚興行をなし[illegible]興行とす

日本總領事館の
襲擊を企つ
上海の學生約三千
十日大デモを行ふ

【上海十日發電通】上海各大學女學校學生約三千名は十日午後一時より「[illegible]を銃殺せよ」「對日即時宣戰布告」「無氣力の國民政府打倒」のスローガンを高唱し共同租界內で大デモを形行し後七、八百名は日本總領事館襲擊を企て日本電信局よりブロードウエイに雪崩れを打つて進出したが、非常召集された工部局警察裝甲自動車隊、騎馬巡查隊の爲め阻止され總領事館は危うく危險を免れた、デモ行列はそれよりブロードウエイを北進したが、招商局倉庫附近にて警官隊と大衝突し、[illegible]以下數名重傷され、物情騷然、總領事館一帶は戒嚴中、學生デモ隊は學良の行先を大書した旗幟を引廻したが警官隊に押收された

國防南端の第一線だ
シツカリやるよ
最初にうまい果物を攻擊しやう
阿部臺灣軍司令官語る

【大阪十日發本社特電】阿部新任臺灣軍司令官を中將を八日夜訪へば臺灣は本當に初めてだ、七、八年前旅行を計畫してトランクさへ詰めた事もあつたのだが、急な轉任で遲れ馳をしてしまつてネ、帝國國防南端の第一線だ、シツカリやるヨ、此頃對岸の形勢で何かゴテゴテ騷いでゐるやうだが大したことはあるまい、臺灣の果物は甘さうだネ、先づ第一に此奴を攻擊するかナハヽヽ

南京新政府の
運命急迫か
三巨頭が出廬せず

【南京十日發電通】汪兆銘、蔣介石、胡漢民三巨頭引出のため上海に赴いた孫科は出發に際し三氏が出廬せざれば再び南京に還らずと悲壯なる決意を近親に洩らした事が判明し、三巨頭の出廬不可能なる現狀より見て孫科は歸らずと見る者多く、南京政府の運命は風前の燈の觀あり、新任の各役人連も仕事が手に付かぬ有樣である

米國の海軍演習
豫定通りに行ふ
但事態に鑑み水兵のハワイ上陸は禁止

【サナン九日發電通】アメリカ水兵がハワイで婦人を凌辱[illegible]したとてハワイ島民は極度の惡感情を起しつつあるため恒例のハワイにおける海軍冬季演習は中止されんと傳へられてゐたが海軍當局は本日例年通り演習遂行に決した然し事態に鑑み水兵の上陸は禁止されてゐる

圖書館週間の
トップを切つて
臺北で修理講習會

全島圖書館週間行事のトップを切つた簡易圖書修理法講習會は臺北州教育會の主催を以て十日午前九時より臺北市建成小學校講堂に於て開會せられた開會式には山中督府圖書館長臨席し主催者臺北州教育會副會長那須州教育課長の開會の挨拶の後榮譽圖書館協會幹事長山中督府圖書館長の講話あり次に修理法講師飯田英次氏の挨拶ありて直ちに講習を開始せるが講習生は學校職員三十名官公吏九名圖書館員十一名青年團員三名合計五十三名であるが右講習は十一日終了更に十三、十四日は臺中にて十七、十八日は臺南に於て開催さるる由

讀書週間の第一日
講演會とラヂオで
讀書趣味の宣傳
靜に頁をめくる讀書家連

第一回全島圖書館週間の第一日はいよいよ十一日に始まつた、臺北の總督府圖書館では十一日朝來市內の小公學校生徒の參觀で兒童室は色々とごつついてゐるが一般室では多數の讀者が圖書館週間第一日の頁を靜にめくつてゐた

山中館長を訪ねるといよいよ今日から一日一頁のモットーを實現させ實行して貰ふのです

となかなか上機嫌だつたがやがて「だが君、バスの中で雜誌とか書物を讀んでゐる人を見受けた事があるかね、ないだらう、ない、僕は毎日バスで往復してゐるがこれ迄一度も見かけた事はない、實際

臺灣の人は本を讀まない。いつだつたか僕が教育會館からの歸路ポケットに何かのパンフレットの這入つてゐる事を思ひ出したので取出して人力車上で讀んでゐたところ、之れが後日小喫の食卓で「流石は圖書館長だ」と話題になつて恐縮した事があるがこんな事が話題になると云ふ事は結局臺灣の人が本を讀まない事を物語るものだと思ふこれぢやー臺灣に五年も住んだら人間がすつかり荒れて了ふだらうだからウンと力を入れて本を讀まない臺灣の人に大いに

讀書癖をつけ度いと思ふ

と語つた、尚臺北では十一日午後[illegible]時から鐵道ホテル[illegible]で

[illegible]

水戶訓導夫妻の
葬儀に參列
赤堀學務課長對岸へ

一世の同情を集め痛ましい國策の犧牲になつた水戶訓導夫妻の葬儀は十三日福州に於て民會葬を以て盛大に舉行されるので督府からは長官代理として赤堀學務課長が臨席する事になり同氏は十一日出帆の大球丸で渡航した

屏東街の圖書館週間

屏東街における本十一日より[illegible]に亙る圖書館週間の記念事業はポスター掲示、宣傳ビラ配布、諸統計圖表を館內に展覽、小公學校、聯合校生徒及一般に對して講演會、座談會、映畫會、新著圖書の宣傳、學校兒童の館內參觀

[illegible]の講演會が開かれ又午後七時二十五分からはマイクを通じて[illegible]圖書館長松本[illegible]氏のメッセージ及び總督府圖書館長山中樵氏の講演がJFAKから放送される筈である

中商勝つ
長中OBと
ア式蹴球大會

[illegible]日十日に亙つて新公園に於て舉行したが中等學校に於ては決勝戰に於て臺中商業が臺北二中を[illegible]にて破り優勝、一般では長中OBが優勝した

三高女生の登山

臺北第三高女では職員生徒四百餘名が十一日午前五時校門を出發して竹子湖の奧なる竹子山に登山した

映畫ニユース公開

時　十二日午後七時より

場所　臺北新公園廣場

映畫

一、我軍盤山より錦州入城まで

一、明大招聘野球大會

一、其他喜劇數卷

臺灣日日新報社

刑務所
三日目で舞戾る
慕はしき

【基隆電話】基隆郡萬里加投[illegible]住所不定前科三犯無職林木花（三）は新竹[illegible]二十四日四年の刑を終へて出獄、十一日[illegible]の食にも困らぬ身にも[illegible]三日目の二十七日午前一時[illegible]掠らず、この不出來の際姿にゐるより刑務所入をした方がよいと[illegible]

料理獻立放送

臺北放送局では今春から放送番組中料理獻立の內容を[illegible]り各家庭の主婦によりよく喜ばれるべく[illegible]

落盤で三名卽死
基隆郡瑞芳庄の慘事

【基隆電話】基隆郡瑞芳庄水湳洞[illegible]坑夫高[illegible]明（三）同[illegible]（三）及び同王良（三）の三名は十日午後八時十五分金瓜石鑛山長仁坑[illegible]口から二千八百尺の地點で作業中落盤のため三名とも無殘の卽死を遂げた、尚瑞芳庄中萬里加[illegible]坑夫林萬[illegible]（三）も同日午後九時頃基隆炭坑內で同じく落盤のため全治四週間餘りの重傷を負ふた

新竹年末賣出
當籤者

【新竹電話】新竹驛前商店會大賣出しの抽籤は十日午前九時から新竹公會堂にて行はれ[illegible]

[illegible]

▲[illegible]しないものはない、市民よ恥を知れ（新報者）▲[illegible]

[illegible]

天氣概況（十一日）

[illegible]

各地氣溫（十一日）

[illegible]

商況
十一日

米況

正米市況（前場）

[illegible]

大阪期米

[illegible]

東京期米

[illegible]

神戶期米

[illegible]

株況

大阪短期

[illegible]

大阪長期

[illegible]

東京銀行貸株

[illegible]

感冒妙藥 バンコー

風ならキット治る

各藥店にあり

ロイマチス

神經痛・關節炎

外用藥 サロメチール

氣候の變り目毎に關節に鈍痛又は劇痛ある時…迅速に鎮痛の快感を得せしむ

發赤すれば直ちに吸收され、少しもベトつかない

一圓・五十錢 二圓半

各地藥店にあり

ヴエルカム

會葬御禮

長谷川政雄

親族　永山章次郎

殘月譜（74）

志乃田逋司作
清水三重三畫

狀首（二）

「はははは、爺。」

伺之助は笑つてやつた。

「劔道は時の運、いくら達人でも寢首は掻かれるものかも知れぬ。」

「そ、さうでせうか。」

三子ヶ爺が訊いた顔だ。

「どうした、爺、大層、眞面目な顔をするな。」

「へえ。」

「わしの頸でも掻くつもりか。」

「と、と、飛んでもない！」

三子ヶ爺が眞赤になつて否へた。

「欲しい奴には首をやるよ、はははは、事に依り、首に依る！」

いつしか、伺之助も、眞面目な顔になつて居た。

「旦那さま！」

急に氣を變へたやうに三子ヶ爺は云つた。

「醉た時は、氣をつけねばいけないものですね。」

「さうだよ。」

「こんな話は、酒には面白くありませんやうです。」

「うむ。」

「旦那さま、變なことを伺ひますが、あの——」

と云ひよどんで。

「わしが敗けて頂いた時、[illegible]さまを負ぶつて居ましたあの別嬪素敵な美人は、御知り合ひで御座いますか？」

「どんな女だつた？」

「おや？お忘れで御座いますか、それ、あの追分で出會つた女の方——」

「うむ。」

「御親戚の方で——」

「あ、あの女か。」

伺之助は吐き出すやうに云つた。

「ありや、知らぬ顔の女ぢや。」

「ほ、本當で御座いますか？」

「本當だ、しかも變な女でな。」

伺之助にも少し醉ひが廻つて來たらしい。親し氣に三子ヶ爺に話しかける。

「武藏屋とぐるになつてのう、[illegible]をしをつたわい。わしが通るのを見届けて、たすけてくれ一つ、と惡戲だ。走り寄つた時、狼狽した武藏屋の顔で、ははあ、と判つたがなあ、それ、そこが世渡りぢや、一寸武藏屋をひねつて置いて、さつさと來てしまつたが、その時妙な女だと思つたよ。」

「へえ——」

「それから俺の部屋へ、俺れを一寢かせてくれろ、と云つて來た。」

「た、旦那！」

三子ヶ爺は思はず、大きな聲を出した。

「その別嬪だ、旦那さまに惚てますぜ。」

「ふふ。」

若い、伺之助の笑ひだ。

「旦那さま！御馳走さまで御座います。」

「何かね？」

「へい、俺たわつしには惚手もなく、……」

「おい、爺、泣くな、酒癖が惡いと見えるな。」

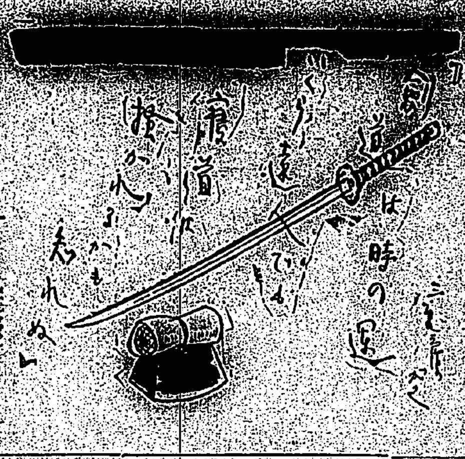
「旦那さま、もう、お寢み下さい。」

「どうしてだ？」

「醉てはいけませぬ。」

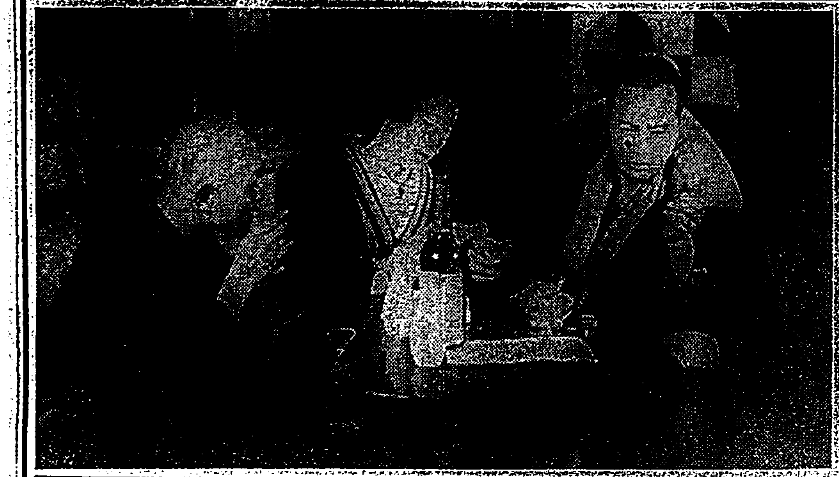
「何だ、醉てはいかぬ、ははは、醉へば女性の幻が而えるとでも申すのか、はははは。——」

伺之助は、盃又盃を重ねた。


劔道は時の運
いくら達人でも
寢首は掻かれるかも知れぬ
三重三

その手許を繕つと見て居て。

「旦那さま、あつしも、うんと醉はせて頂きます、へい、わつしは第一、女に好かれる男が大好きです！」



（寫眞は「南地囃子」の場面）

『南地囃子』

新興キネマ現代劇部特作映畫
原作脚色　山内英三、監督
印南弘、撮影　二宮[illegible]

藝妓消香…高津愛子
同峰千代…鈴川良子
同〆治…若水美智子
同艶光…歐川八重子
欣策の妹幸子…山路ふみ子
父總吉…中村正道
息欣策…森山保
消香の弟清夫…手塚榮一

主題歌「南地囃子」「南地小唄」コロンビヤレコード二六六二五

梗概 艶やかなネオンライトの街、道頓堀の灯に一つ隔て、ここは戀と情の南地の花街——消香は宗右衛門町大和屋の抱藝者、兩親のなき彼は自分の下一つで弟の清雄を學校へ通はせ、移業に似合はず、身持も固く所謂の堅れつ子であつた。

× ×

その彼女にも二世を契つた愛しい人があつた、それは貿易商岩貝欣策である。忍ぶ戀路も狹い花街、道頓堀の水一筋に何時か戀の花も咲いて、だれ言ふとなく二世三世、今では彼と彼女の仲は晴れて人も羨む夫婦となつてゐた。しかしその樂しさも束の間消香との戀は物堅い父に知れ、欣策は住み馴れた家を勘當されなければならなかつた。消香に引取られた。消香と欣策を抱へて消香の手元は次第に苦しくなつた。然し消香は仲のいい朋輩の峰千代や〆治に勵まされるのを力に、雄々しく二人の世話をした。

× ×

ある夜消香は欣策の妹幸子の座敷に呼ばれた、幸子が娘の身の恥かしさを忘れて茶屋へ來たのは消香に兄と別れて貰ひたい爲めであつた、欣策が家を出てから父は病床についたきり、口では嚴しい勘當を言ひ乍らも欣策に會ひたさは幸子の目に餘つた。加へて欣策には徴兵の召集令狀が來て居た——幸子の話を聞いて消香は悲しい決心をしなければならなかつた。

× ×

死んでも別れないと誓つた二人であつたが、世間の義理には勝てず、消香は欣策に愛を忍んで絶縁狀を出した。その心を知らず欣策は消香の變心を怒つた。欣策ばかりか、それまで二人の仲に何くれとなく力になつてゐた艶光までが消香の態度を輕蔑の中で罵つた。なか消香はじつと堪へた。何時か解る、さう思つて、口惜しがる峰千代や〆治を宥めた。

× ×

妹に連れられて家に歸つた欣策が幸子から消香の本心を聞いて大和屋に駈けつけた頃、消香は不意の火災にあつて人事不省して[illegible]下に立つた欣策の顔も知らない彼女だつた。召集の前に一言なりとやと駈けつけた欣策はその消香を見て、涙も出ない心持だつた。召集の時が迫つて欣策が隊へ駈けつけた頃、消香は意識づいた。そして死に瀕しながらも欣策の出發を送る可く朋輩に援けられ、今や出發せんとする汽車に駈けつけ、別れて幾瞬間二人は始めて固く相抱いたのであつた（終）

臺日歌壇

〆切[illegible]、句數無制限、何れも投出し得、宛名は本欄係

△喪家ながらも浮世の波を逆く賑て聞く新世帶　臺東　吐月

△川と云ふ字の秋にひびく春は長閑な鶏の聲　臺北　鷹山

△鶏も御題に入る嬉しさに夜明け揃うて高く鳴く　臺北　心一

△鶏の一聲朗な鶏の[illegible]にも立つ月の御題し　臺北　秋泉

◎松の露臺に勝ち誇つて勝つた熊を祝ふ[illegible]　臺北　松谿

（評）この措辭の妙は格別なり　選者　貽

◇鶏の曉往の〜臼く響ひひろがる鶏の聲

新刊紹介

△東京パック（新年號）諏訪三郎、北村秀雄、岩原六郎、井東憲、中村進治郎、福田清人の漫文及び池田永一路、下川凹天、須山計一、前田[illegible]生、安東英一、芝龍一等の漫畫は何れも諷刺とユーモアに富むものである（二十錢）〔東京府巣鴨町宮下一六六三番地東京パック社〕

△愛誦（新年號）詩話（三木露風）詩の新人に示む（福田正夫）詩壇に對する直言（井上康文）現實を飛躍せよ（[illegible]）一般自由詩論（[illegible]）詩壇人閑記（[illegible]）現代の佛蘭西詩壇（[illegible]）古典に現はれた戀愛の考察（大沼[illegible]）その他詩篇（四十錢）〔東京市小石川區江戸川町十八番地交蘭社〕

△佛街（創刊號）本誌は臺北佛教青年會の機關誌で芝原會長の「人格の完成」日野主事の「創刊を祝して」その他會員の投稿を掲載してゐる（非賣品）〔臺北市新起町本願寺別院臺北佛教青年會〕

△少年倶樂部（新年號）山を守る兄弟（大佛次郎）仰げ桑光（三上於菟吉）地底の都（野村胡堂）風俊栗毛（土師清二）江戸城危し（子母澤寛）亞細亞の嵐（山中峯太郎）擧の兵曹（佐藤紅緑）その他に東郷三笠の大模型、北極探險大雙六、熱狂大野球盤、日本一大寫眞帖、少年笑話讀本、[illegible]之助の六大附録がある（六十錢）〔東京市本郷區駒込坂下町四八講談社〕

△若草（新年號）春を待つもの（北原白秋）[illegible]（前田夕暮）手紙斷片（竹久夢二）創作では川端、大木、[illegible]、中河、龍膽寺等が執筆してゐる（三十五錢）〔東京市日本橋區本銀町三丁目寶文館〕

臺日案內

料金 [illegible]

書籍　叶見書店　[illegible]臺北市本町[illegible]

藥種商　エナモル　各地有名藥店にあり　[illegible]

醫院　小林醫院　[illegible]

內地土産　ボンカン・ザボン　桐田商會　[illegible]

寫眞　寫眞機　[illegible]

パテー反轉現像　[illegible]

活動寫眞は（電話四二二八）[illegible]

ラヂオ器械　ナナオラ　ミゼツト受信機　大特價廿五圓也　中川章輔商會臺北支店　電話二四六番

電器機具　中山電氣商會　[illegible]

樂器　山葉オルガン　[illegible]日本樂器會社

雜件

特許商標　辨理士　岸喜鑑　事務所　[illegible]

塵紙障子紙　栗田商行　臺北市[illegible]

藥掛赤瓦大勉強　[illegible]城

仕事　[illegible]　博信社

資生堂石鹸
クリームのやうな泡立ちも
しつとりとした芳香

しのぶれど
色に出にけり
トツカピンと
このみしやと
人のとふまで

農林種苗便覽
無代進呈
日本種苗合資會社
東京淀橋町柏木
種子五拾錢以上註文には多角形農業と題する百六拾頁の良書進呈

月刊 農村の日本　[illegible]
農業講義　[illegible]
副業講義　[illegible]
何れも內容見本御申越次第進呈　東京西大久保一六九[illegible]發行所

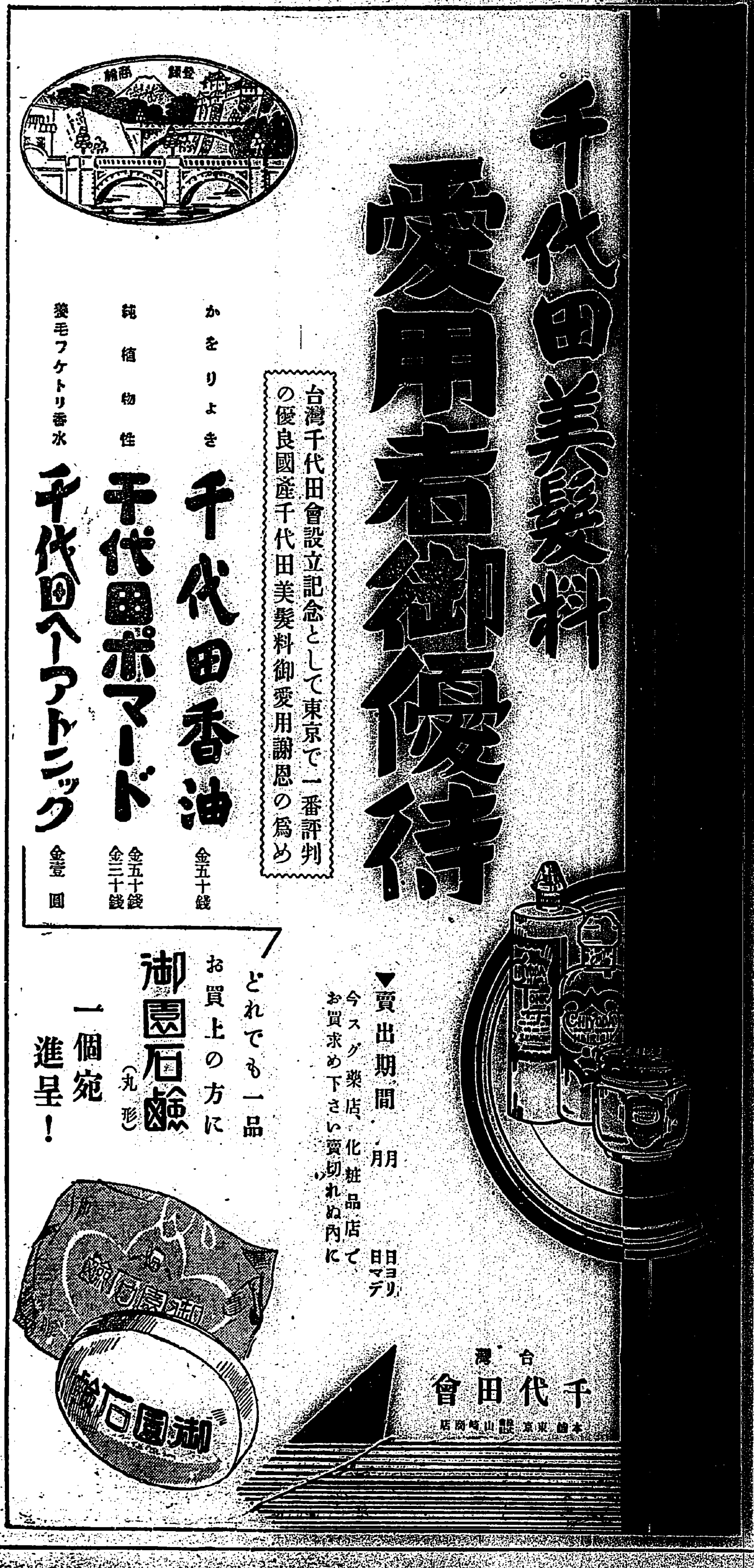
特許専賣
脚氣と榮養にアベリー
全國著名藥店に販賣す　詳細說明書進呈
粉末アベリー
液狀アベリー
錠劑アベリー
注射用アベリー
製造發賣元　第一製藥株式會社　[illegible]

實用的
三ツ車印タオル
發賣元　大阪　田中商會

一、卓球ボール
荷者　臺日運動用品部

タバコのみのはみがき
スモカ

スモカは主として喫煙家の齒磨です故にスモカを使へば齒の黑いヤニがちき取れますそして喫煙家ならずとも誰もの齒を純な白さに輝かしますスモカは過度の喫煙から來る口中の荒れ！臭ひ！食慾の不進！それを防いで口腔を常に正しい狀態に置きますスモカの粉末には適度の潤ひを與へてありますそれは無駄な散亂を防ぐためです一人一罐の使用量は約一ケ月強それ以上の消費は濫費です



千代田美髪料
愛用者御優待
台灣千代田會設立記念として東京で一番評判の優良國產千代田美髪料御愛用謝恩の爲め
かをりよき　千代田香油　金五十錢
純植物性　千代田ポマード　金五十錢　金三十錢
養毛フケトリ香水　千代田ヘーアトニック　金壹圓
どれでも一品お買上の方に
御園石鹸（丸形）
一個宛進呈！
▼賣出期間　月　日ヨリ　月　日マデ
今スグ藥店、化粧品店でお買求め下さい賣切れぬ內に
台灣千代田會
本舗　東京　山崎商店

漢文臺灣日日新報

兵匪五千攻騎兵聯隊
聯隊消息俱不明

十日奉天午急報。據確實方面入電。騎兵〇〇聯隊。向錦西錦州西南十五里地方討伐兵匪。九日夜半。在錦西被兵匪五千包圍攻擊。下士兵十五名戰死負傷二十。聯隊消息俱不明。

步兵聯隊急派錦西
又一部隊繼續增援
陸軍省著電

十一日東京至急報。陸軍省著電。一、九日錦西西方地區。我騎兵聯隊。與匪徒約二千交戰。古賀中佐以下將校四名。下士兵十五名戰死。負傷三十名。目下詳細調查中。一、同日步兵一部隊。由錦州出發向錦西。受匪徒妨害。然至日沒時合到著。又一部隊。繼續增援。

室師團各部隊
遭匪逆襲俱苦戰中

十日錦州電。十日朝來。室〇師團各部隊齊向錦西北方討伐匪賊。錦州北方及錦西、綏中附近。遭兵匪逆襲。各部隊俱苦戰中。

敵兵匪來襲時
聯隊本部僅一中隊

十日奉天電。故古賀聯隊長。于室師團命令之下。二日奉天出發。三日入錦州。掃蕩附近之敵。九日向錦西方面。討伐兵匪。九日夜分宿錦西附近。受敵兵匪來襲時。聯隊本部。僅有一箇中隊而已。

司令官命室師團長
殲滅兵匪
軍司令部極度緊張

十日奉天電。古賀騎兵聯隊全滅報到。軍司令部極度緊張。本庄司令官。命室師團長。乘全力剿滅兵匪。

軍用列車脫線
打虎山部隊
捕虜三十八名

十日奉天電。襲擊打虎山匪賊。乃有機關銃之有力部隊因破壞胡家堡附近鐵道。我臨時軍用列車。午前一時。在胡家堡東北六杆地點脫線。打虎山部隊一箇小隊。從三臺子、三臺子方面。以包圍的隊形。討伐匪賊。賊棄死體十四而逃。我軍捕虜敵三十八名。

奉天兵百名
急派錦州

十一日奉天電。奉天約有百名之兵。十日夜急赴錦州方面。欲剿錦西兵匪。

騎兵〇〇聯隊
戰死將校

十日奉天電。在錦西方面全滅之騎兵〇〇部隊。戰死將校如左。

騎兵中佐聯隊長　古賀傳太郎
騎兵大尉　米井三師
騎兵中尉　野口茂三
同　石野秋藏

室師團十日命其麾下
一齊討伐各地匪賊

十日錦州電。兵匪集團。退自北寧線。新立屯。北鎮。北票。錦西各地。各集中力。相機謀襲擊北寧沿線。室師團長對麾下。依田。嘉村。村井各〇團下令討伐。綏中駐屯依田〇團向錦西。錦州嘉村〇團向北票。溝帮子村井〇團向北鎮。又其一部。自打虎山向新立屯。討伐附近一帶〇賊。十日朝來。一齊開始進擊。

古賀聯隊長
進入敵中
遂致戰死

十日大連電。被兵匪五千包圍之古賀聯隊長。以悲壯決意。與部下將校以下進入敵中。遂致戰死云。

錦州飛行隊
出動討伐

十日奉天電。騎兵〇〇聯隊全滅報到錦州飛行隊。十日午後二時。編隊前往討伐匪賊。

打虎山方面
消息全無
安否可慮

十日新民府電。打虎山方面通信俱杜絕。此後情報未來。同地安否可慮。

森官長
晤板垣參謀

十一日東京電。森官長。十日午後三時。在東京俱樂部。會見板垣高級參謀。詳細聽取滿洲事情就政府方針。種々磋商。

湯地司令官
由閩歸澎

十日馬公特電。湯地要港部司令官。偕松永先任參謀一行。近到福州。視察警備狀況。十日下午六時。乘驅逐艦竹號。歸馬公云。

中央執行委員會
審議對美回答方針
孫科氏急赴上海

九日南京電。緊急中央執行委員會。至今朝未明。對美回答方針。繼續審議決定。廻送陳友仁氏。擬于本日中起草終了。發送美國。行政委員長孫科氏。將此會議結果今朝急行上海。蓋爲報告王兆銘、鄒魯、馮玉祥諸氏。米國發動。國府諸要人速。大爲得力。擬乘此機。漸次集全世界同情。

荒木陸相留任內意
在處時局奉答優詔
俟告一段落然後乞骸骨

十日東京電。荒木陸相之留任。陸軍部內。不無出于意外。殊如不素深信仰陸相之少壯將校方面。有相當大反響。然陸相于翻前日之決意者。另行痛感時局重大性。對「時局重大之際宜留任」之特別優詔。深感非常性。二、一時奉從優諚。進而打開此重大難局。奉報陛下宸襟。然後掛冠。乃臣下應執之途。爲是陸相甘受世人之非難。對時局解決。勇往邁進。鞭撻內閣。身以賭身命。俟告一段落。則乞骸骨。蓋陸相之留任。單爲時期問題。

匪賊優勢謀奪錦州

十日奉天電。錦西兵匪非常優勢。謀奪回錦州。

新民府內嚴戒
警備鐵道極度緊張

十日新民府電。新民府駐屯我宮崎大隊。鑑于打虎山甚近兵匪猖獗。十日夕。一部隊爲警備鐵道。急派于奉山鐵路奉天、山海關間沿線。新民府內。嚴重警戒。極度緊張。

教化聯合會
以次設立
意外好影響

前頃以州訓令發布之郡街庄教化聯合會。及郡男女聯合青年團。組織所與磋商會。去七日午後一時。開于淡水郡。同八日。開于新莊。招集郡下街庄長助役、小公學校長並男女青年團長。種々磋商。首由各郡守敍禮。次那須州教育課長。說明訓令趣旨。次橫尾社會教育係長。就實施具體法說明。各熱心質疑應答討論後。新莊郡訂來二月十一日佳辰。舉行郡教化聯合會及郡男女聯合青年團發會式及發團式。即時著手準備。而淡水郡。亦按于最近發會及發團。又文山郡。于九日午後一時開會。那須課長橫尾係長臨場。今也時局適屆國民總動員之下。而値國民精神作興之際。此次之發布訓令。極其適宜。故各地相競。急舉發會或發團式。而州當局。亦甚有意外反響云。

臺灣軍軍醫
野外作業

臺灣軍々醫部。豫定本月中旬。施行同軍醫分團野外作業。于能高郡埔里及霧社方面。一行遠藤部長以下十五名。日程豫定十九日。及二十一日。泊于埔里。二十日泊于霧社云。

煙酒賣出成績略佳
雖農村不況收入稍減
然因景品賣出減率防止

專賣局。値此赤字時代。力防減收。中瀨局長。對此方面。自就任以來。研究種々對策。客夏煙酒賣捌人更新之時。亦不只置重功勞者。拔擢善於活動之新人。且本於全島賣捌人希望。付景品賣出。大舉佳績。但因本年財界。世界的不況。而又爲產業界。亦受大打擊。地方農民節約。專賣品之賣出。影響不少。迨內閣更迭。政策轉換。米價局騰。且迫於舊年關係。煙酒賣出益良。而十二月中。因內地人迎年關係。市街地賣出。優于常年。然因農村不況。由總體觀之。仍屬赤字。而其赤字程度。若酒向來減率一、一六成者。減爲〇、七成強。賣出約增加五分。在煙較前年同月。不過減率〇、八九成。是蓋賣捌人之努力。與付景品賣出之效果也云。

文山郡各庄
協議會日期

文山郡各庄爲議來年度豫算。訂開協議會。其日期如下。坪林庄十四日。石碇庄十六日。深坑庄十八日。新店庄二十一日。郡守以下。各當局者。均擬臨場云。

本島貿易
輸移出入均減

據稅關調查。客臘十二月中。本島貿易成績。依然不振。輸出百十七萬五千二百七十八圓。輸入二百九十三萬八千四百三十一圓。移出二千三百十萬一千九百四十一圓。移入九百五十萬八千百十三圓。同年一月以降累計額。比較前年之增減如左。（單位圓）

	昭和六年中	
輸出	一九、〇四〇、七九九	減 [illegible]
輸入	[illegible]	減 [illegible]
計	[illegible]	[illegible]
移出	二〇一、四四〇、一〇七	減 [illegible]
移入	一〇四、一七六、五〇七	減 [illegible]
計	[illegible]	減 [illegible]

右輸移出入各項均減。而內外貿易總額三億六千六百四十九萬四千九百八十九圓。較前年昭和五年之四億九百七十萬圓。減少四千三百二十萬圓。更比較昭和四年之四億七千六百七十萬圓。激減一億一千萬圓以上。其原因。係在內外經濟界一般不況。及物價下落。又由貿易減退率觀之。內地貿易比前年僅減八分。外國貿易。則激減三成五分。自昭和六年下期。因日華關係惡化。對華貿易之衰退。亦其原因之一也。

北市小公校
募集學童
來二十日起

臺北市內小公學校。對來四月新學期。訂來二十日至二月末日。募集學齡兒童。本期募集學童。雖無制限。而學級決定增加十六學級。現經係員籌備一切事宜。募集內容。容後發表云。

上海大學男女三千
一大示威行列
謀襲日本領事館

十日上海電。上海各大學女學校學生約三千名。十日午後一時。高唱「銃殺學良」「對日即時宣戰布告」「打倒無氣力國民政府」共同租界內。舉示威行列後。七八百名。謀襲日本總領事館。從日本電信局。進出街路。被非常召集之工部局警察裝甲自動車隊騎馬巡查隊阻止。要領事館幸脫危難。而示威更北進。在招商局倉庫附近與警官隊大衝突。糾察隊長以下數名逮捕。物情騷然。總領事館一帶嚴戒中。又示威隊。扛大書學良去處之招牌、幸被警官隊押收。

草屯新莊
農倉檢米

臺中草屯。臺北州新莊農業倉庫。因制度改正。廢止米穀檢查所之指定。凡欲受檢者。新莊須搬出臺北。草屯搬出臺中受檢。有此不便。若不合格。須再運回。附近米產業發達不少。米穀檢查所。有鑑于此。近以兩者爲檢查所指定倉庫。行出張檢查。地方人士甚喜。

高雄港
移出米
百十二萬袋

昭和六年中。高雄港移出米。百二十五萬一千三百九十二袋。然上半期。一袋百五十斤入者。下半期改爲百斤入。是故若換算百五十斤入。則有百十二萬袋。較之前年。增加四十二萬二千餘袋。又昨年中白米移出額八千六百五十六袋。不算入該移出數之內云。

澎婦子女失蹤續報
十歲子幸無事
惟女餓死屍遭鼠食

木籍澎湖廳白砂庄吉貝人。現住高雄市鹽埕町五丁目二十一番地。戶主謝溫暑之髮妻某。竝二子。長男謝文武。年十。四女謝氏春花。年六。母子三人。由澎湖來船。欲來高雄。尋訪親夫。去十二月二十五日午前七時頃上陸。爲母之不愼。忽然不見二子。雖報官搜查。蹤跡全無。然聞二子自上陸分散後。相率流入大林埔方面。後二子。在莿蔥腳甘蔗畑中渡宿。翌朝文武。引率花髮母。爲飢餓過甚。寸步難行。獨文武到莿蔥腳。告知村夫。欲再往園中。則已迷道。月七日午後四時頃。被採蔗人夫發見屍體。立報於官。去八日午後四時。州警察醫太田。警察課宮城司法主任。河野許英兩刑事。急赴現場。解剖結果。認非他殺。惟兩足已被鼠兒食碎云。

中央卸市
場外買賣

臺北中央卸市場。設立後市人仍在場外買賣。兩年前雖曾阻止某商。不許其買賣。後商人仰正式裁判。竟得勝訴。故愈難禁絕之。目下稻江有魚問屋陳其昌。三泰商行。林長委等。蔬果問屋有泰芳北他二三處。恰如場外之買賣。又一昨年四月。卸市青物部設立以來。生產者多在稻艋各近郊買賣。警官雖出爲管束。究難絕迹。據卸賣市場所查。市內野菜場外買賣主要地十一處。每朝二時開。約費二百圓乃至五百圓。就中仁濟院。大橋。永樂町各附近。賣者最多云。

屏東聯合大賣
抽籤發表

屏東歲暮聯合大賣出會。於去三十一日告終。成績頗佳。于十日午前十時。假屏東公共館。發表抽籤結局。二十組共通。一等當籤。爲五三九七號。二等即一二五九號。及二三九四號。其下至六等省略。發表後。乃開懇親宴。於第一樓旗亭。至二時頃散會。

時局關係
食品騰昂

客臘十三日。金輸出再禁止以來。中國滿水皆漲。物價隨而念起。大宗商品之米穀。綿絲。豆粕。雜穀固勿論。即日常食料品。亦皆昂騰二三成。其有獎勵五六成者。試舉如左。

▲冬粉原百斤二十二圓。今三十二圓。

▲木耳原百斤九十餘圓。今百十數圓。

▲三羊麥粉。原二圓二十錢。今二圓九十五錢。

▲白絞油七八月間百斤十四圓二十五錢。今十六圓餘。

▲花生油七八月十三圓八十錢。今十五圓餘。

▲烏產花生油原十六圓餘。今十七圓餘。

厦門許可日貨販賣
福州學生不滿省府措置

十日馬公特電。馬公要港部。接厦門排日情報如左。一、抗日會。因商人迫于舊年末。猛烈反對。處分封印日貨許可明記賣出日貨額。即許販賣。將情通告。俾防日貨侵入而已。一、八日自福州到厦學生等。面會張成法。詳細述福州事件。詰省政府。對日本要求。不加一言批駁。全部承認。福州學生。頗爲不滿云々。

花蓮廳教育係
實習品評會

花蓮港廳教育係。按本月中。擇適當時期。開昭和六年度小公學校。實習地現地品評會。其計畫如下。小學校一邊。即吉野小學校。公學校一邊。玉里第一公學校。大庄。太巴塱。德々。瑞穗。鳳林。玉里第二。觀音山。貓公。月眉等凡十校。又審查員。關野技師。長野視學。田村農業補習教諭。審查事項。一、學校園之計畫及實際。二、農業實習地計畫及實際等云。

張學良以下軍官會議
六省兩市爲統治區
並設太原分會

九日天津電。昨日順承王府。張學良以下北方將領開會議。就北平政務委員會權限並統治區域協議結果。以遼寧、吉林、黑龍、熱河、河北、察哈爾六省。北平天津兩市。爲統治區域。別設閻錫山氏爲首班之太原分會。統轄山西、綏遠二省。而合東北四省。爲統治範圍者。不過爲對內宣傳

羅山信組總代會
配當七分

嘉義羅山信用組合第十一回通常總代會。十日午前十時半。在組合會議室開議。嘉義內海商工主任臨席。其他來賓代議員七十名中。五十七名出席。主事鍾家成氏述開會辭。組合長陳際唐氏敍禮。報告組合經過狀況。主事補蔡新茂氏。報告事業及財產目錄。監事林育奇氏。報告監查狀況。以所案審議本年度利金年率配當七分。而監事及信用評定委員滿任改選。然監事重任。評定委員。因住所移居關係。一任組合長指名選任云。

陳天來氏
六旬內祝宴
兼作慈善事

臺北茶商公會長陳天來氏。本年花甲初週。島內外交遊之士。自客臘以來。胥謀慶祝。然氏以國家時事多艱。爲臣子所當遠慮。一切謝絕。只訂來十二日起。一週間內。連夜在其港町私第。開內祝宴。招待各界知友。約千餘名。稱觴共飲。但木下長官。先期賜以壽詞。有「大德者。必得其壽」之語。而其子若孫。在東京。及三巴里。厦門者。早已歸北。全家二十四人。寫眞二圓[illegible]。附且荷省村當局費用。加味社會政策。作一有意義紀念事業云。

鳳郡各信組
總會日程

高雄州鳳山郡下。各信用組合定期總會。日程如下。昭和七年正月十四日。大寮信組。同十七日。紅毛港信組。同二十二日。仁武信組。同二十五日林園信組。同二十八日鳳山信組。同三十日大樹信組。

員郡下產組
總代會日程

臺中州員林郡下。除永靖信用組合以外。各產業組合總代會日程。決定如左。溪湖信組十三日。坡心信組十四日。二水信組十五日。田中信組十六日。埤頭信組十七日。大村信組十九日。社頭信組二十日。[illegible]。二十三日。員林信組二十四日。

越壁窃入人家行窃
睡者微動以槌擊之
使負人事不省重傷

岡山郡岡山人黃修德。年二十有五。去七日夜分二時頃。乘當地人林通水不在中。由其隣家越壁。入通水房中。欲窃取金項。會通水之妻蔡氏某。熟睡中翻身微動。一時恐被發覺。乃執槌擊其頭部。使負人事不省重傷。修德即從逃遁。過後被害者覺。忽捫血流染指。始知被盜所傷。翌日當局接報。即召出黃修德爲被疑者。一訊自供。八日下午二時。則松司法主任。隨林海丁通譯。偕陳刑事到現場檢查。犯人現拘留中。

萬華春宴
知事部長蒞會

臺北西區新年宴會。萬華內臺人士約百名。去十日午後六時半。依例在龍山寺前殿開催。邀請州市兩署其他官員蒞席。酒數巡。大粟岩氏致辭。蔡彬淮氏舉杯。與會衆唱和兩陛下萬歲。平山知事道謝。佐々木市助役舉杯祝西區萬歲。盡歡至七時四十分散會。

臺南聯隊
入營兵
十二日抵南

臺南聯隊之今期入營兵五十一名。搭來十二日下午二時三十分列車。抵臺南驛。又入營于馬公重砲兵大隊之初年兵。百六十名。於同日午前七時五分。又入隊于屏東飛行聯隊。新兵百四十名。於來十五日午前七時五分。各通過于臺南驛云。

明大對鐵團
最後比試
明大仍勝利

明大野球部。自渡臺以來。以破竹之勢。擊滅本島球界。其最後大比試。十日午後一時五十三分。再開於圓山球場。是日明大軍精銳球手入場。而臺北鐵團。以雪辱。誓以必勝之力對待。由鐵團先攻。前後經過九回。竟以十一對三之差。仍歸明大大勝利云。

明大選手
十二日向臺中

明大野球部正選手。與臺中團之比試。十二日在臺中舉行。因是岡田監督。率選手十九名。[illegible]。天知橫澤兩番[illegible]。早八時半臺北驛發列車。[illegible]。湯川[illegible]同行云。

臺南灣裡間
道路改修
工費萬餘圓

臺南灣裡間道路。因牛車交通頻繁。雨期積水。難于往來。晴天則塵埃散布。地方民。久已仰望補修。州當局已決定七年度。以工費一萬三千六百圓。著手改修。不久定見興工云。

女賊被拘
竊取外套一領

七星郡北投庄四百四十六番地林氏對。年二十七。去十日午前十一時。偕同地人林氏梅。年十五。林氏換。年三十。高氏美玉。九歲。陳用。年三十五。一同來北。往太平町三丁目露店。竊取內衫四領。被店主發見。同情放之去。同三十分。再由永樂町三丁目林瑞記店中。竊取兒童外套一領。被店員捕交警察。轉送入北署。現正査究偵中云。

戲弄爆彈
重輕傷數名
一名危篤

嘉義市南門町八丁目五〇陳火旺長男陳成龍。年二十一。去九日午後四時頃。在嘉義郡民雄庄民雄某家。戲弄爆彈。突然爆發。腹部頭部。全身重傷。而右手皮肉俱去。僅留一母指。狀極淒慘。現入市內回生醫院治療。生命危篤。此外重輕傷數名。當局正查爆彈來處及原因云。

中壢新屋秧苗
爲霜凍凋不少

在中壢郡新屋庄一帶秧田。三日以來。溫度頗降。且連日降霜。致客臘播下萌芽之秧針。枯凍變黃不少。於是農家正待陽和之天。欲再下秧補缺。

紅頭船二隻
滿載什貨
爲浪擱坐

臺南市安平人陳利吉。所有紅頭船二隻。去九日下午二時頃。及同五時頃。各乘船員六名。滿載雜貨。入于安平。駛至港口南北方。各被激浪。打上擱坐。一時瀕危。幸得避難船湖丸。出動救助。皆得離礁。損害甚多。目下調查中云。

母也不良
不顧病中事情
將女再許他人

高雄州鳳山郡仁武庄仁武人。劉大樹之妹劉氏金變。年二十二。體態妖嬌。維新女也。自數日前。私與同庄人林萬和。問山誓海。未幾金變身得重病。女母即託某人。向萬和正式求婚。順命萬和日夜奉藥於金變。然金變喜有得意人奉藥。未幾病癒。兩人更加親熱。日夜卿々我々。難見分離。然女母心懷不良。私將金變再許婚于同庄三奶理人。金變事前知覺。決不肯改婚。日夜啼淚。聲徹戶外。庄民皆責女母不是云。

羅東

學級增減

羅東街管內。就學兒童年々增加。現在羅東公學校。有十四學級。而女子公學。亦有八學級。以現在學級。收容本年四月初入學兒童。深感不足。故當局內定羅東公學校。增加二學級。女公亦增一學級。而小學校減一學級云。

代購肥料

臺北州農會羅東郡支會。爲圖農家之便。代理購入晚冬用肥料。種類有大豆粕。過燐酸石灰。調合肥料。及硫酸安母尼亞等。定本月末日。[illegible]者要保證人同伴。及攜帶印章。向各街庄役場申請之也。

新竹

鑿指定路

州下。目下急速。開鑿之指定道路者有三。即苗栗公司寮間三里半。桃園大園間三里十八町。中壢觀音間三里。按三月末一齊告竣。

施設護岸

新竹水利組合。爲防鳳山溪洪水。浸入隆恩圳。破壞圳路。投施設工費。九千五百五十五圓。洛札于新竹請負業者之楊天賜。經于客臘二十八日興工。施設延長三百二十間之長源圳護岸工事。按本年三月末竣工。

證書授與

新竹州第七回拓殖講習會。十一日午前十一時起。在香山坑附屬相關。對修業者六十七名。舉證書授與式。當日島田課長。先報告經過。及授與證書。併訓示。繼則石塚課長告辭。終由修業者總代答辭舉式。

會事

▲大溪郡龍潭國語講習所。入所男女計共百名。去十日舉第三回開所式。按來三月五日。舉修業式。

▲新營郡番社庄六重溪芭蕉生產者百餘名。十日午前十一時頃。在該所新築芭蕉市場。舉行芭蕉祭。臺南州青果同業組合西村副組長。及同拓殖會社長北村鷹彌氏臨席。

▲嘉義郡役所。因米突法宣傳。十日午前十一時。聘山口度量衡所長。在公會堂。開講話會。一般婦人多往聽。而十、十二兩夜。且開映活動寫眞會。使一般市民參觀。

人事

▲久在如水社附屬萬華醫院以親切得一般歡迎之王式玉氏。此回辭職。自十一日起在祖廟前自宅。開業懸壺醫院。氏臺北醫專出身者。夙於醫道造詣良深云。

▲新竹市西門陳福全氏令堂。去八日夜病逝。享壽六十有七。擇來十二日午後一時。舉行葬式。

▲嘉義市協議會員莊啟鏞氏令郎俊明君。由張玉氏執柯。與市內洪寶玉氏長女碧變孃締婚。定來十八日舉式。同夜假公會堂披露。

▲國報館長中倉根武多氏。日前來臺。十一日復渡福州。

▲萬華故吳癸卿氏本葬儀。訂來十七日午前九時。在新富町私宅舉行。